

鳥取県の政策に関する県民意識調査
結果報告書
(令和7年6月調査)

令和7年 10 月



目 次

	ページ
【 調査の概要 】	
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
3 資料のみかた.....	1
4 回収状況と信頼区間.....	2
5 回答者の情報.....	3
【 結果の概要 】	
結果の概要.....	6
【 調査結果 】	
I 鳥取県の住みやすさについて.....	9
問 1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか.....	9
問 2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください.....	11
問 3 あなたは鳥取県での暮らしについてどう思いますか.....	13
問 4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか.....	15
問 5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか.....	17
II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について.....	19
1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる.....	19
問 6-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度.....	19
問 6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度.....	22
2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む.....	24
問 6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度.....	24
問 6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度.....	27
3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ.....	29
問 6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度.....	29
問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度.....	32
4 男女共同参画社会づくり.....	34
問 7 男女に関する役割についてどう思いますか.....	34
問 8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思 いますか.....	35
問 9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思 いますか.....	37
III 重点施策への関心・認識.....	39
問 10 性別に関するアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)についてどう思いますか.....	39
問 11 ご自身の中に、「男だから」「女だから」といった性別による役割分担意識があると思 いますか.....	40

問 12	ご自身の中にある性別役割分担意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたものだと思いますか.....	42
問 13	「男だから」「女だから」といった性別による生きづらさ(「暮らしづらさ」、「働きづらさ」、「仕事と家庭の両立しづらさ」など)を感じたことがありますか.....	44
問 14	それはどんなできごとでしたか.....	46
問 15	どうすれば性別役割分担意識による生きづらさが解消されると思いますか.....	46

【 自由記載 】	(問5、問8、問9、問 12、問 14、問 15 の回答を含む自由記載)	48
-----------------	--	----

【 資料 】

調査票	54
集計結果.....	65

【 調 査 の 概 要 】

1 調査の目的

鳥取県は、都会にはない鳥取県の強みを活かし、県民の皆様とともに様々な地方創生の取組を進めています。

これからも、県民の皆様が住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう現在の状況や今後の要望など、率直なご意見をお伺いするため調査を行ったものです。

2 調査の概要

- (1)調査対象 鳥取県内在住の18歳以上75歳未満の者 3,000名
- (2)抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出法
- (3)調査時期 令和7年6月
- (4)調査方法 (2)により抽出した者に対し、郵送により調査票を送付して、回答は郵送またはインターネットにより受付した。なお、調査票の提出は無記名とした。
- (5)有効回答数 1,596名
- (6)回収率 53.2% (1,596/3,000)
・郵送回答:854(53.5%)・インターネット回答:742(46.5%)
- (7)回答者の属性 性別:男性648人(40.6%)、女性898人(56.3%)
その他・回答したくない36人(2.3%)、無回答14人(0.9%)
年齢:18~19歳(2.6%)、20~29歳(10.7%)、30~39歳(11.2%)、
40~49歳(17.7%)、50~59歳(19.3%)、60~69歳(23.2%)、
70歳以上(15.2%)、無回答(0.2%)

3 資料のみかた

(1) 比率(%:パーセント)の表示について

原則として、各設問の無回答を含む集計対象総数(副設問では設問該当対象数)に対する百分率(%)を表している。複数回答を求める設問では、百分率の合計は100%を超える。

また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。このため、百分率の合計が100%とならず、端数が生じたものがある。

(2)「無回答」の取り扱いについて

以下については「無回答」として取り扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・指定回答数以上を回答している場合 例)単数回答の設問に複数回答を行っている場合など

(3)クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18~19歳」標本の取り扱いについて

クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18~19歳」は標本数が少ないため、他の性別又は年代と比較・分析する場合は除外することとした。

4 回収状況と信頼区間

(1) 必要標本数について

今回の調査においては、18歳以上75歳未満の鳥取県推計人口 345,986 人(令和6年10月1日時点)から無作為に3,000人を抽出し、調査の依頼を行った。そのうち有効回答数は1,596人であり、回収率は53.2%であった。

まず、標本数の設定については、次の式によって与えられる。

$$A = \frac{N}{\left[\frac{\varepsilon}{X(\alpha)}\right]^2 \cdot \frac{N-1}{\sigma^2} + 1}$$

- A = 必要標本数
- α = 推定を誤る確率
- $X(\alpha)$ = 正規分布の性質から与えられる値(1.96)
- N = 母集団の大きさ(満18歳以上75歳未満の県民)
- σ^2 = 母分散
- ε = 精度

本調査では、信頼度を95%として計算を行った。この場合、 $X(\alpha)$ は、1.96であり、母集団の大きさは345,986人。精度を仮に3%、母比率を50%とし、それぞれ代入して計算すると、以下のとおりとなる。

$$A = \frac{345,986}{\left[\frac{3}{1.96}\right]^2 \cdot \frac{345,985}{50 \times 50} + 1} = 1063.83$$

よって、今回の調査において必要な最小標本数は1,063人であり、有効回答1,596人はこの条件を満たしているといえる。

(2) 標本誤差について

有効回答票の標本誤差を次の式によって計算した。

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{N-n}{N-1}\right] \cdot \frac{Q(1-Q)}{n}}$$

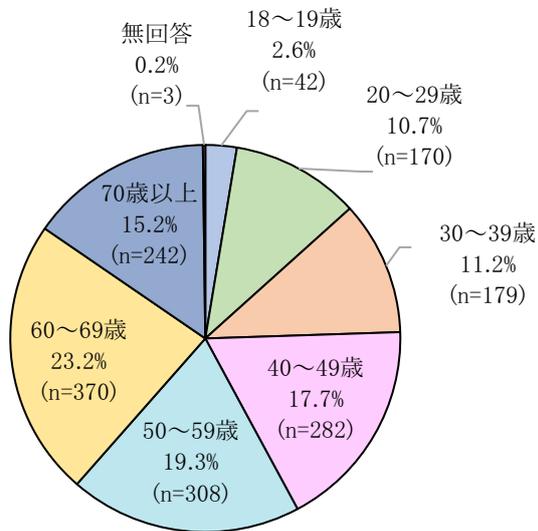
- B = 標本誤差
- N = 母集団の大きさ(満18歳以上75歳未満の県民)
- n = 回答者総数(1,596人)
- Q = 母比率(0.5とする)

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{344,390}{354,985}\right] \cdot \frac{0.5(1-0.5)}{1,596}} = \pm 2.45$$

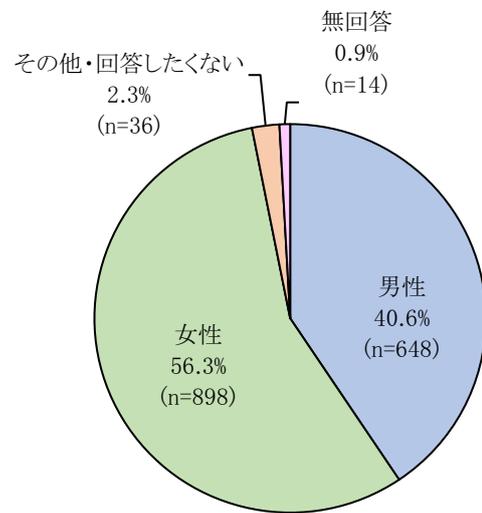
すなわち、標本誤差は $\pm 2.45\%$ しかないといえる。

5 回答者の情報

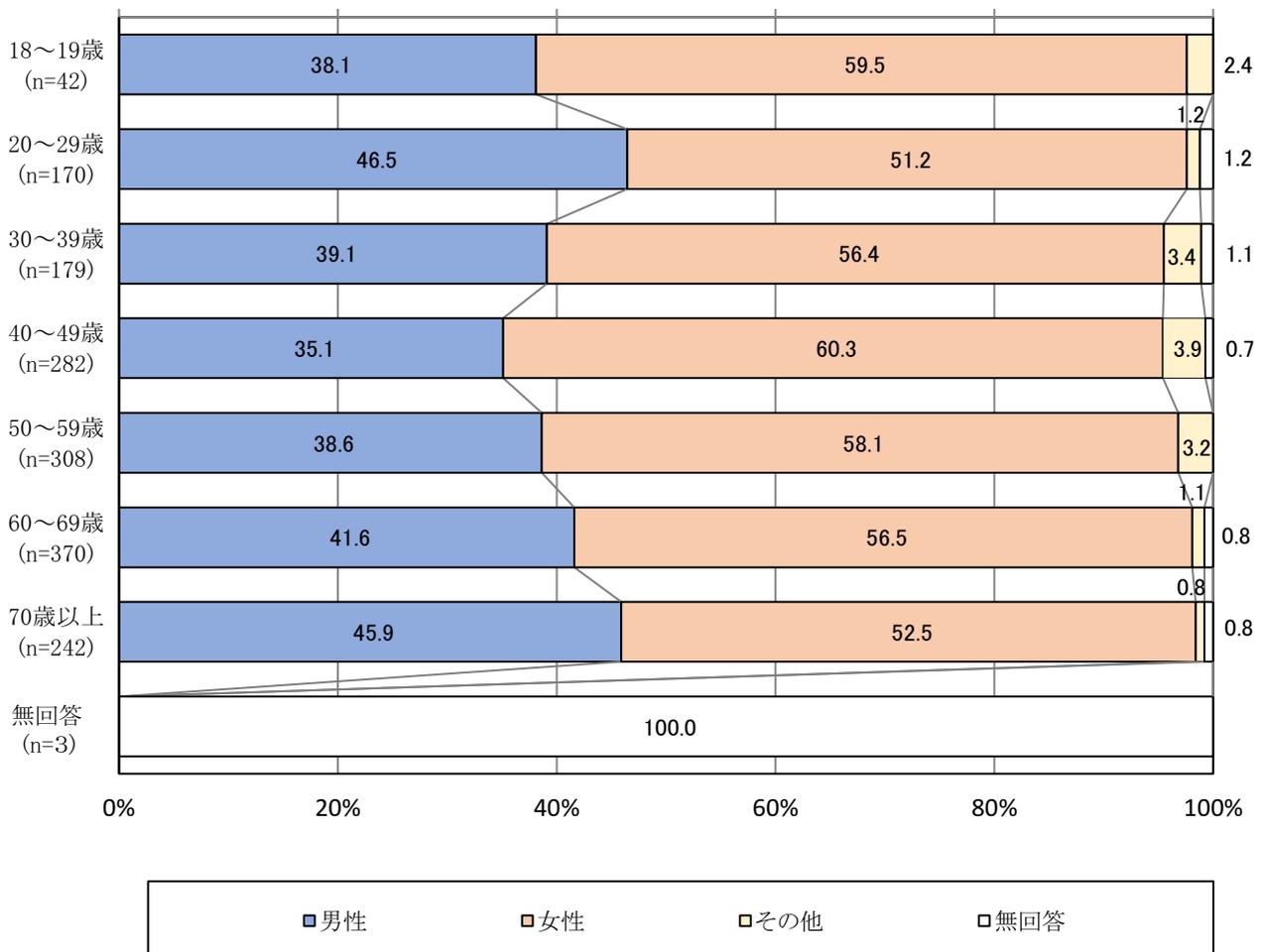
(1) 年代



(2) 性別



(3) 性別 × 年代



<市町村別調査対象者数>

区 分		人 口			抽 出 数		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計
東 部 地 区	鳥取市	60,835	60,635	121,470	528	526	1,054
	岩美町	3,360	3,303	6,663	29	29	58
	若桜町	775	725	1,500	7	6	13
	智頭町	1,832	1,817	3,649	16	16	32
	八頭町	4,732	4,840	9,572	41	42	83
	(小計)	71,534	71,320	142,854	621	619	1,240
中 部 地 区	倉吉市	13,650	14,399	28,049	118	125	243
	三朝町	1,800	1,712	3,512	16	15	31
	湯梨浜町	4,941	5,068	10,009	43	44	87
	琴浦町	4,738	4,854	9,592	41	42	83
	北栄町	4,291	4,409	8,700	37	38	75
	(小計)	29,420	30,442	59,862	255	264	519
西 部 地 区	米子市	45,756	47,886	93,642	397	415	812
	境港市	10,431	10,365	20,796	90	90	180
	日吉津村	1,132	1,208	2,340	10	10	20
	大山町	4,496	4,399	8,895	39	38	77
	南部町	3,170	3,173	6,343	27	28	55
	伯耆町	3,122	3,113	6,235	27	27	54
	日南町	1,168	948	2,116	10	8	18
	日野町	763	723	1,486	7	6	13
	江府町	712	705	1,417	6	6	12
	(小計)	70,750	72,520	143,270	613	628	1,241
合 計		171,704	174,282	345,986	1,489	1,511	3,000

※人口は鳥取県統計課「鳥取県の推計人口」より、令和6年10月1日時点の18歳以上75歳未満の推計人口を用いた。

<回答者の情報>

【性別】

区分	件数	割合(%)
男性	648	40.6
女性	898	56.3
その他 ・回答した くない	36	2.3
無回答	14	0.9
計	1,596	100

【年代】

区分	件数	割合(%)
18～19歳	42	2.6
20～29歳	170	10.7
30～39歳	179	11.2
40～49歳	282	17.7
50～59歳	308	19.3
60～69歳	370	23.2
70歳以上	242	15.2
無回答	3	0.2
計	1,596	100

【職業】

区分	件数	割合(%)
会社員 (公務員含む)	735	46.1
自営業 (家族従業者含む)	141	8.8
パート ・ アルバイト	281	17.6
学生	73	4.6
専業主婦 ・主夫	120	7.5
無職	232	14.5
無回答	14	0.9
計	1,596	100

【住まい】

区分	件数	割合(%)
鳥取市	569	35.7
米子市	410	25.7
倉吉市	124	7.8
境港市	98	6.1
岩美町	29	1.8
若桜町	6	0.4
智頭町	20	1.3
八頭町	52	3.3
三朝町	15	0.9
湯梨浜町	43	2.7
琴浦町	39	2.4
北栄町	47	2.9
日吉津村	15	0.9
大山町	37	2.3
南部町	28	1.8
伯耆町	30	1.9
日南町	12	0.8
日野町	7	0.4
江府町	9	0.6
無回答	6	0.4
計	1,596	100

【 結 果 の 概 要 】

I 鳥取県の住みやすさについて

- 鳥取県に対する愛着や誇りは、約7割の人が「感じている」又は「少し感じている」と答えている。
- 今暮らしている地域について、約6割の人が「住みやすい」と答えている。
- 鳥取県に暮らしていて、豊かな自然環境に恵まれていると思う人は約9割と圧倒的に多く、また5割以上の人が治安が良い、住民が親切であると答えている。
- 生活するにあたっての公共交通機関の状況について、約6割の人が「整っていない」と思っている。
- 鳥取県での暮らしの幸せの程度について、約9割の人が「普通」から「とても幸せ」と答えている。
- 幸福度の判断で重視することについて、約7割の人が「自身の健康の状況」「家計の状況」と答えている。

II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

【豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる】

- 「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」「文化・アートのまちづくりの取組」「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」に満足を感じている割合が多い。なお、すべての項目において、満足を感じている割合が不満を感じている割合を上回っている。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が、今後優先すべき項目の上位を占めている。

【人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む】

- 「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」「地域の健康と安心を守る取組」に満足を感じている割合が多い。一方で、「中山間地の生活や社会機能を守る取組」「若い力が輝く協働のまちづくりの取組」「危機を乗り越え、地域を元気にする取組」に不満を感じている割合が多い。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「若い力が輝く協働のまちづくりの取組」「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」が、今後優先すべき項目の上位を占めている。

【幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ】

- 「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「防災・減災対策の強化」に満足を感じている割合が多い。一方で、「県内産業の持続的発展をめざす取組」「県内産業を支える人づくりの推進」に不満を感じている割合が多い。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「県内産業の持続的発展をめざす取組」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「県内産業を支える人づくりの推進」が、今後優先すべき項目の上位を占めている。

【男女共同参画社会づくり】

- 男女に関する役割などについて、約8割の人が「現実として家事や子育てが女性の役割となっていると思う」、約7割の人が「現実として介護が女性の役割となっていると思う」と答えている。
- 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために行政が行うべき施策について、約6割の人が「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」と答えている。
- 男女共同参画社会を実現するために行政が特に力をいれるべきことについて、約6割の人が「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備」、約5割の人が「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」、約4割の人が「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」と答えている。

Ⅲ 重点施策への関心・認識

【性別に関するアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)について】

- 性別に関するアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)について、「そう思う」との回答は「女性のリーダーが増えることは社会にとってよいことだ」が約7割、「家事・育児は、やはり女性が向いていると思う」が約5割となっている。
- 性別による役割分担意識について、「ある」は約半数、「ない」は約3割となっている。
- 性別役割分担意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたものかについて、「家族(親、きょうだい、パートナー)や友人・知人」が最も高く約8割、次いで「職場」が約3割、「学校」が約2割となっている。
- 性別による生きづらさ(「暮らしづらさ」、「働きづらさ」、「仕事と家庭の両立しづらさ」など)を感じたことがあるかについて、「ある」が約3割、「ない」が約5割となっている。
- どうすれば性別役割分担意識による生きづらさが解消されるかについて、「家庭と仕事を両立しやすい環境」「性別に関係なく、自分の能力や個性を最大限に発揮できる社会を目指す意識づくり」が約6割、「男性がすべき、女性がすべき」といった性別役割分担意識に基づく慣習やしきたりの見直しが約5割となっている。

【 調 査 結 果 】

I 鳥取県の住みやすさについて

問1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(〇は1つ)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約7割～

鳥取県に対する愛着や誇りは、「感じている」が44.8%、「少し感じている」が23.4%と、愛着や誇りを感じている人が68.2%となっている。一方、「あまり感じていない」が4.3%、「感じていない」が1.8%で、愛着や誇りを感じていない人は6.1%と1割に満たない。

令和元年度-7年度を比較してみると、「感じている」「少し感じている」の合計は令和2年度が74.7%と最も割合が高く、それ以降は減少しており、令和5年度からは横ばいとなっている。

年代別でみると、愛着や誇りを「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、70歳代以上が最も高くなっている。

性・年代別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、男性は20歳代と60歳代が高く、女性では40歳代と70歳以上が高くなっている。

地域別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べて高くなっている。

図1 鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(n=1,596)

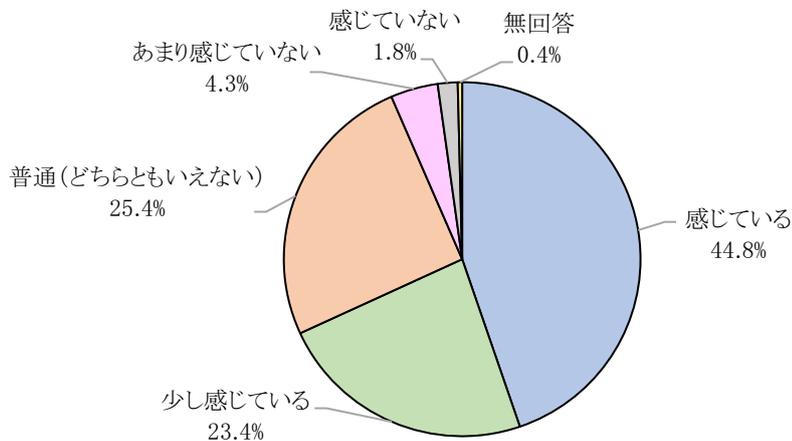
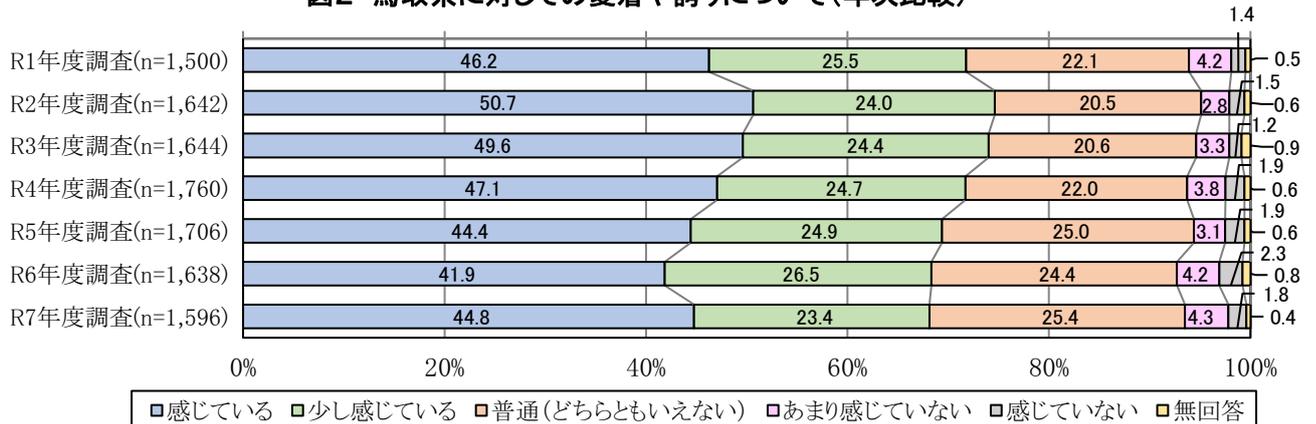


図2 鳥取県に対しての愛着や誇りについて(年次比較)



問2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(〇は1つ)

～「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせると約6割の人が住みやすいと回答～

今暮らしている地域の住みやすさは、「とても住みやすい」が19.5%、「どちらかという住みやすい」が43.7%で、住みやすいと答えている人が合わせて63.2%となっている。

一方、「どちらかという住みにくい」が8.7%、「住みにくい」が2.4%で、住みにくいと答えている人は合わせて11.1%となっている。

令和元年度-7年度を比較してみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」の合計は、令和2年度の70.7%が最も割合が高く、それ以降は減少傾向となっているが、令和7年度は前年度と比べると僅かに増加している。

年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、50歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、男性は50歳代以上で高く、女性は20歳代、40～50歳代が高くなっている。

地域別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べ高くなっている。

図4 今暮らしている地域の住みやすさ(n=1,596)

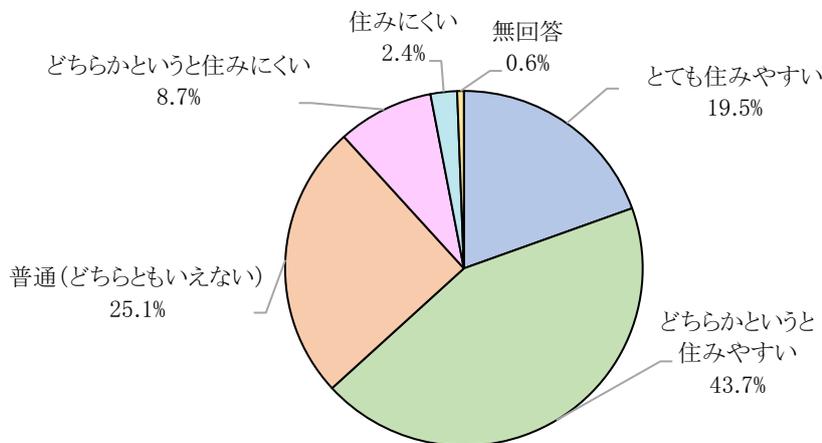


図5 今暮らしている地域の住みやすさ(年次比較)

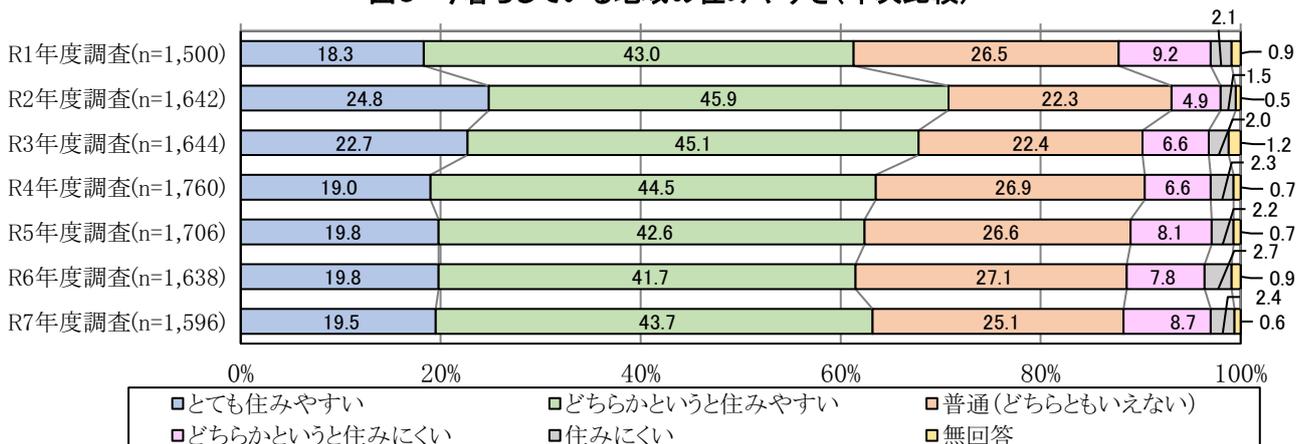
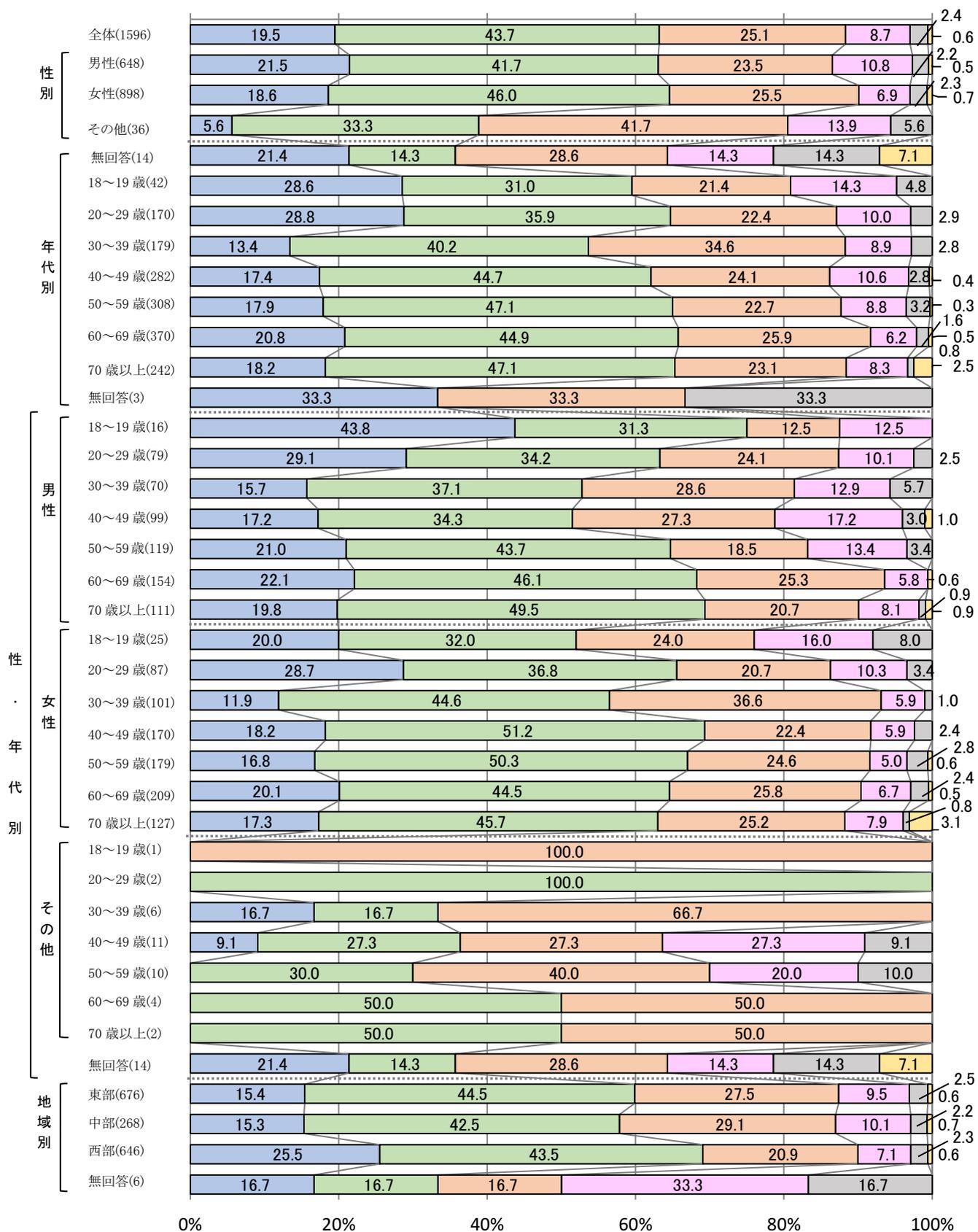


図6 今暮らしている地域の住みやすさ(性別・年代・地域別)



□とても住みやすい □どちらかという住みやすい □どちらともいえない □どちらかという住みにくい □住みにくい □無回答

問3 鳥取県に暮らしていて、次の項目（設問）についてどう思われますか。
項目ごとにいずれかに○を記入してください。

～「豊かな自然環境に恵まれている」と思う人が約9割～

鳥取県に暮らしていてよく感じる（そう思う）項目は、上位項目では「豊かな自然環境に恵まれている」が90.4%と最も割合が高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が65.1%、「住んでいる住民（県民）が親切である」が56.8%、「地域での人と人とのつながりがある」が50.1%と続き、自然環境、治安、人とのつながりを鳥取県に暮らす良い面として答えている。

一方、鳥取県に暮らしていて良いと感じない（そう思わない）項目は、上位項目では「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」が61.3%で最も割合が高く、次いで「医療や介護の体制が充実している」、「ストレスなく日常生活を送ることができる」が16.6%となっている。

令和元年度～7年度を比較してみると、「豊かな自然環境に恵まれている」は、よく感じる（そう思う）との回答が全ての年度で約9割、「住んでいる住民（県民）が親切である」は全ての年度で5割台、「地域の治安が良いと感じている」は全ての年度で6割台となっている。また「住んでいる住民（県民）が親切である」については、前年度より3ポイント程度増加している。

図7 鳥取県の暮らしについて (n=1,596)

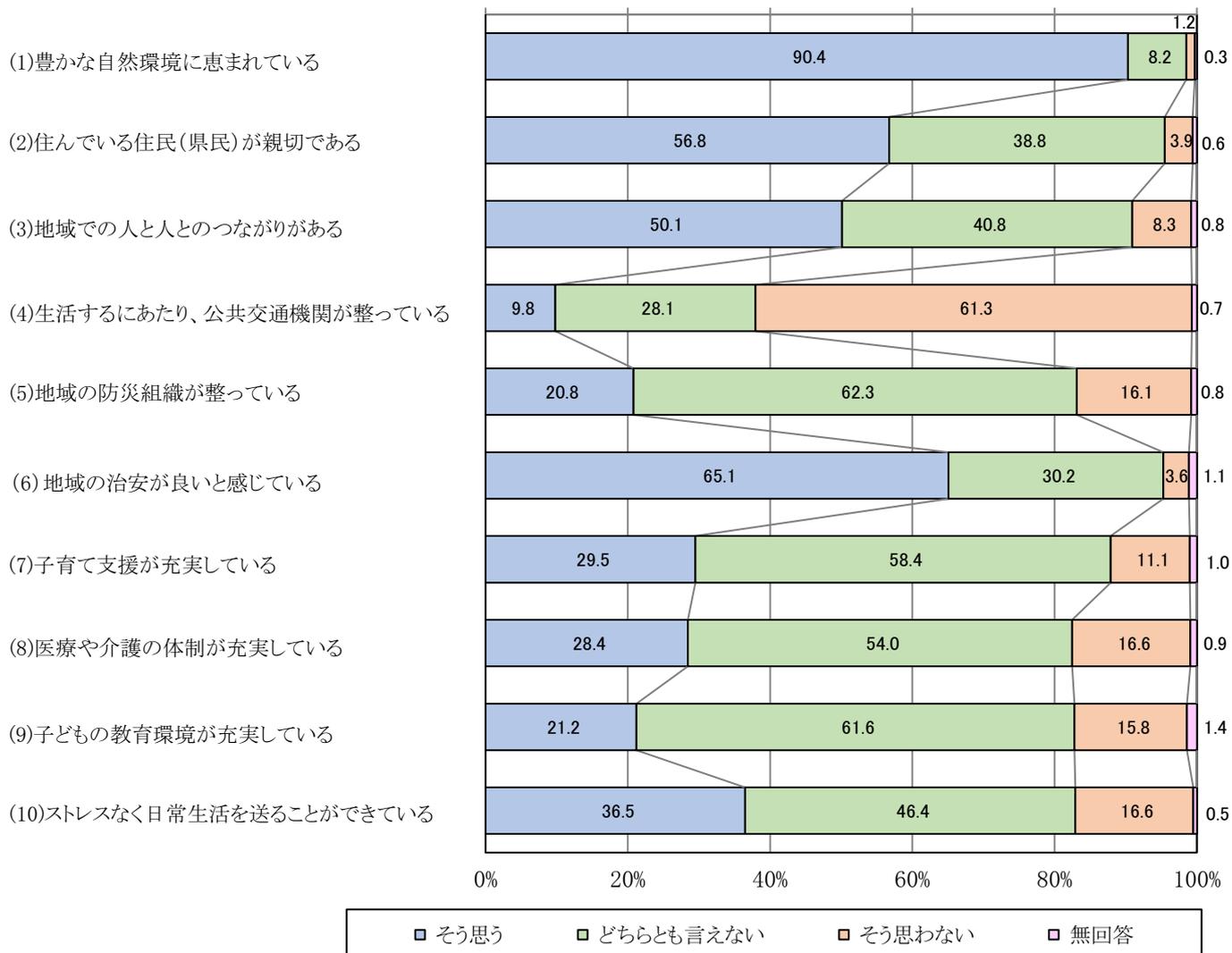
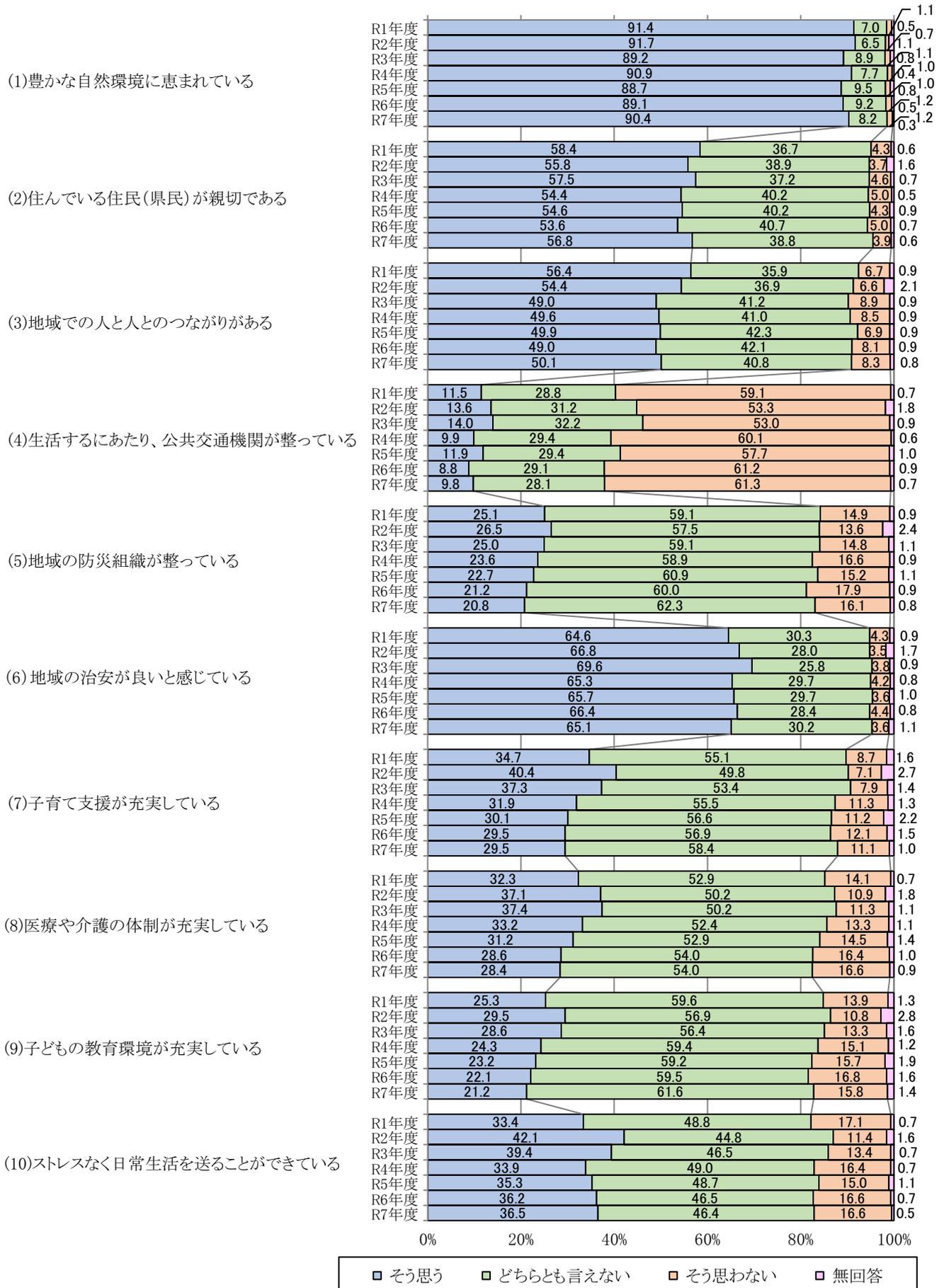


図8 鳥取県の暮らしについて(年次比較)



問4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか。

～5点「普通」から10点「とても幸せ」が約9割～

幸福度について10点満点で質問したところ、5点「普通」が27.3%と最も割合が高く、8点
20.9%、7点19.2%、6点11.6%と続き、5点「普通」以上と回答した割合は89.4%となっ
ている。

性・年代別でみると、幸福度5点以上は男性の20歳代と60歳代、女性の30歳代で高くなっ
ている。一方、男性の30歳代と女性の40歳代は他の年代と比べて低くなっている。

図9 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか（年次比較）

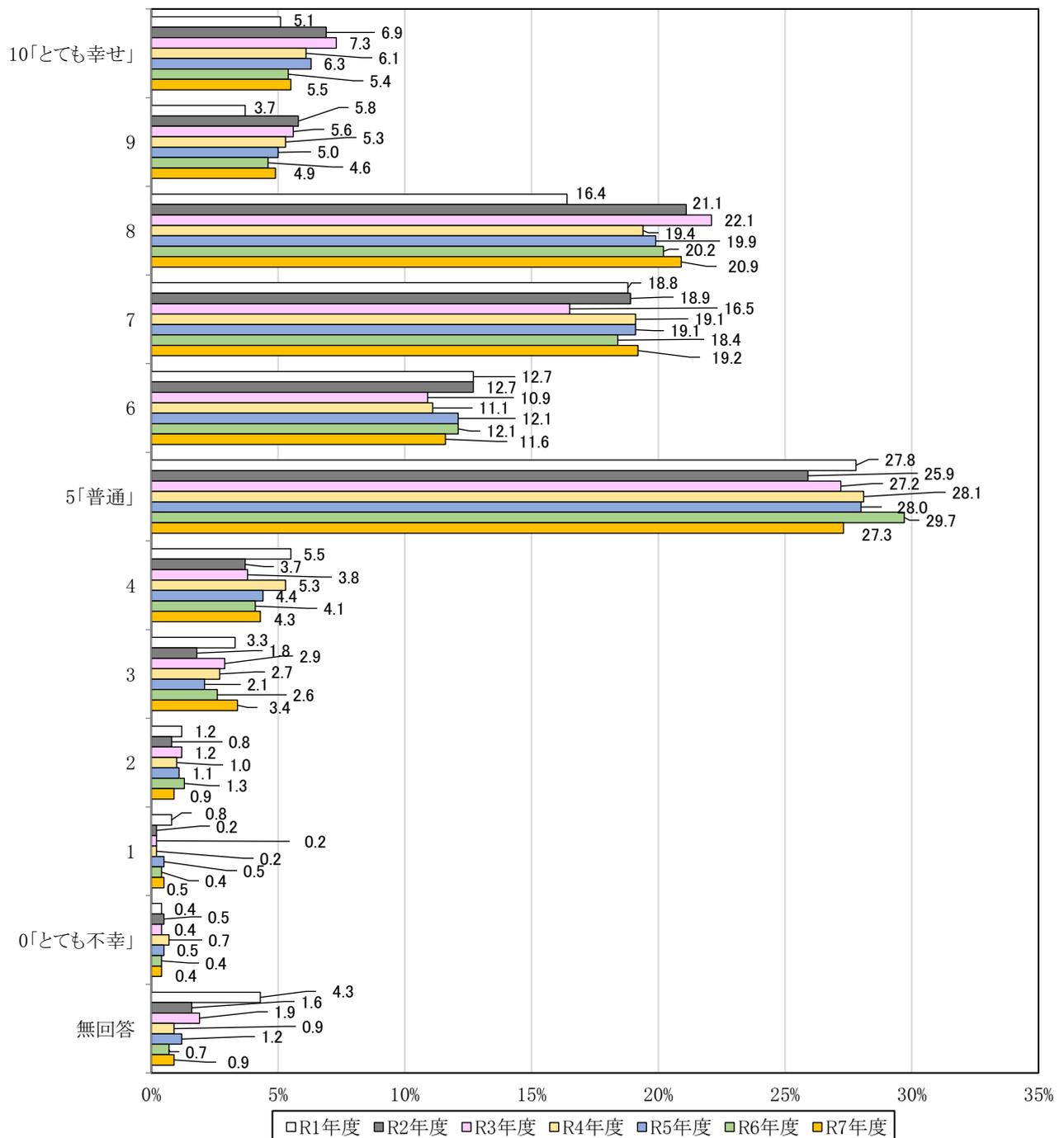
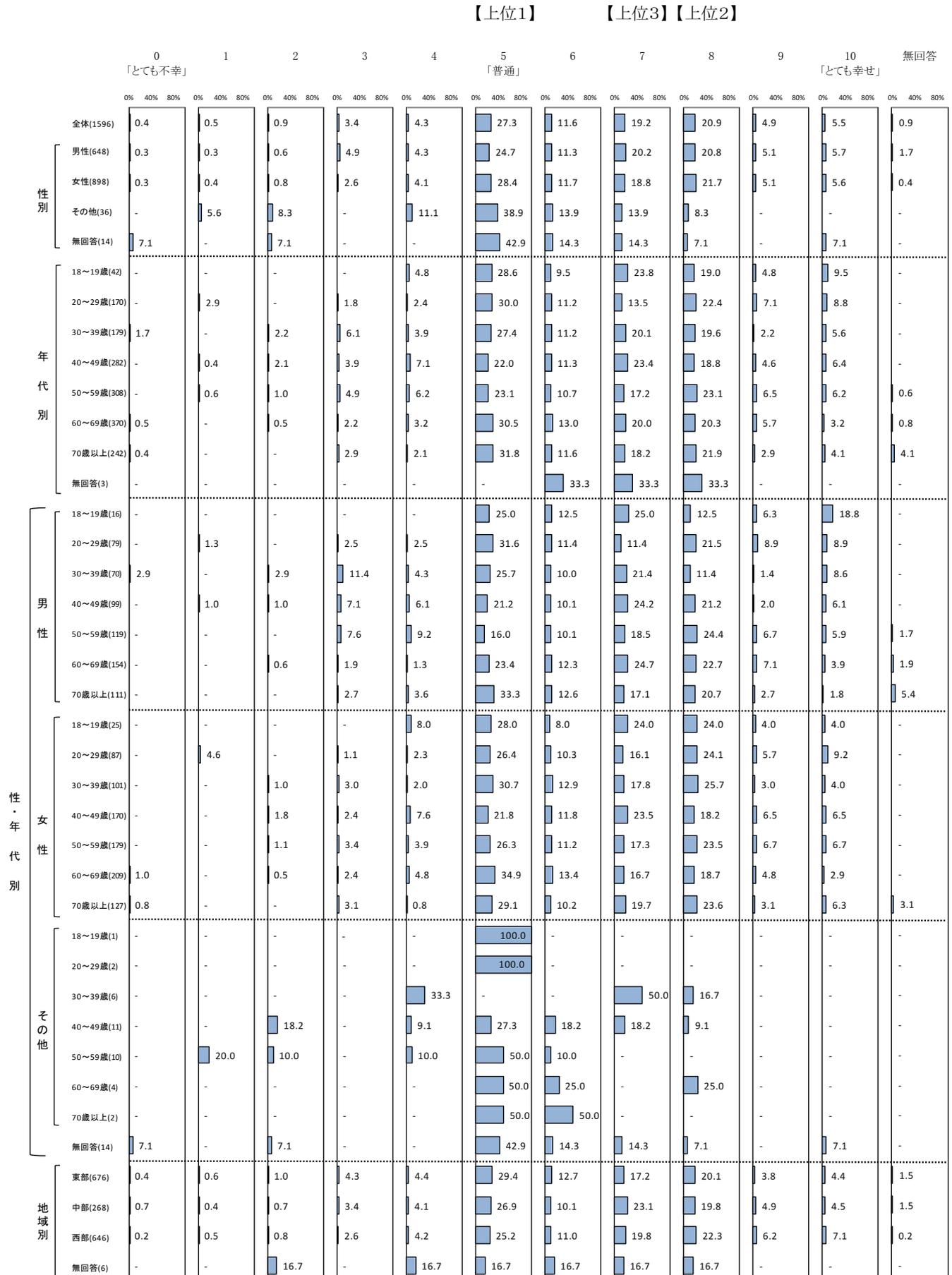


図 10 鳥取県に暮らしていて、「幸せ」ですか(性別・年代別・地域別)



問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(〇はいくつでも)

～「自身の健康の状況」「家計の状況」「家族関係」を重視～

幸福度を判断するときに重視することは、「自身の健康の状況」が70.6%と最も割合が高く、次いで「家計の状況」が70.4%、「家族関係」が59.3%、「精神的なゆとり」が59.0%となっている。

令和元年度-7年度を比較してみると、上位3項目は常に「自身の健康の状況」、「家計の状況」、「家族関係」となっている。

年代別でみると、「自身の健康の状況」は50歳代以上、「家計の状況」は30歳代以上、「家族関係」「精神的なゆとり」は30～50歳代、「自由な時間(充実した余暇)」「趣味などのいきがい」「友人関係」は30歳代以下が高くなっている。

性・年代別でみると、「自身の健康の状況」は女性の50歳代以上、「家計の状況」は女性の30～40歳代が高くなっている。

図11 「幸福度」の判断で重視することは (年次比較)

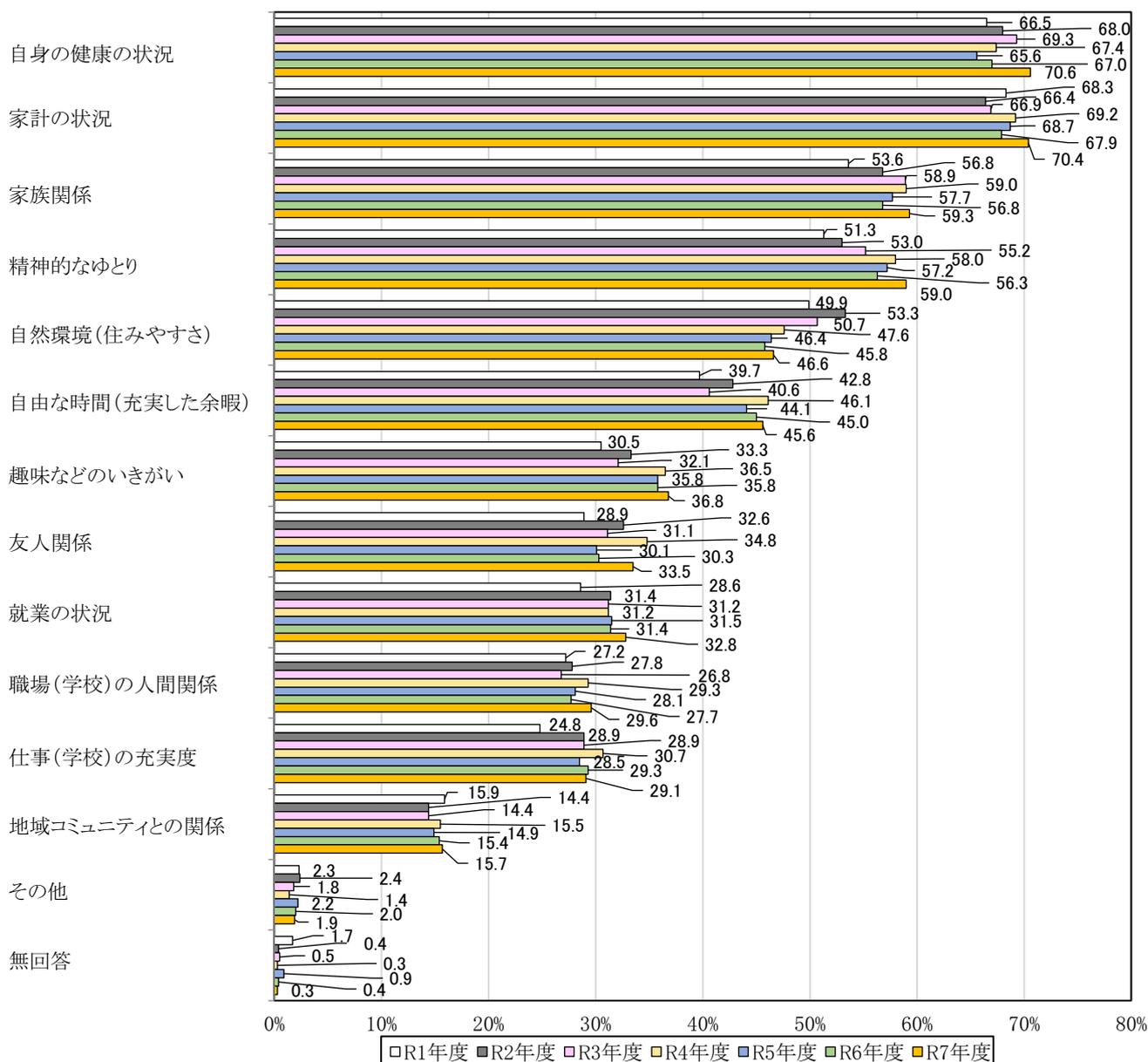
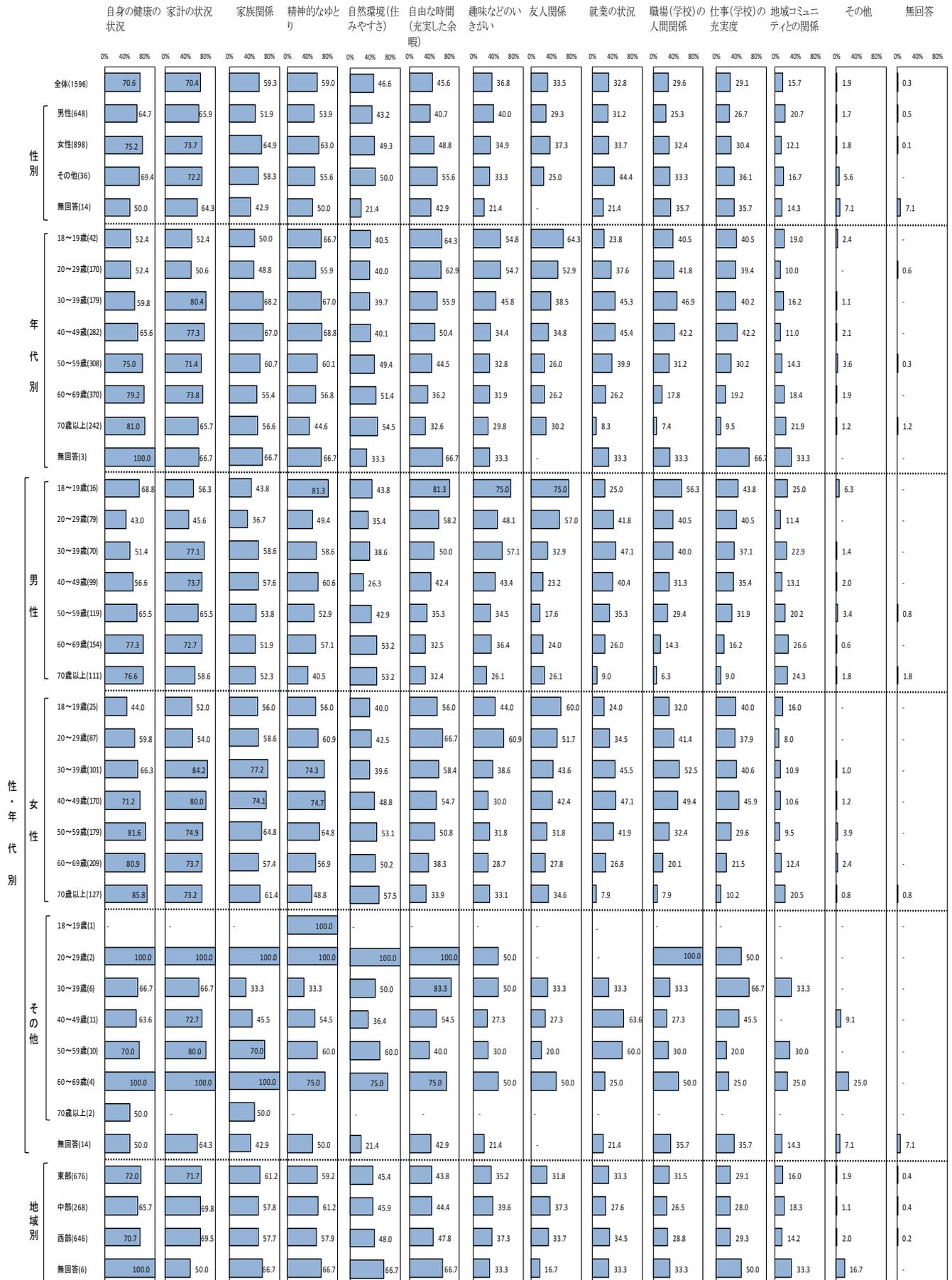


図 12 「幸福度」の判断で重視すること(性別・年代別・地域別)

【上位1】【上位2】【上位3】



II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

問6 鳥取県の施策等について、あなたの満足度をお聞きますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1～5のいずれかの数字に○をしてください。)

※「5」は満足、「1」は不満

問 6-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

～「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」の満足度が高い～

「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が38.6%と最も割合が高く、次いで「文化・アートのまちづくりの取組」が29.5%、「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」が28.3%と続いている。

前回調査と比較してみると、「文化・アートのまちづくりの取組」の満足度が6.0ポイント、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が2.1ポイント、「スポーツ活動の振興や交流を拓げる取組」が2.0ポイント増加している。

図13 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度 (n=1,596)

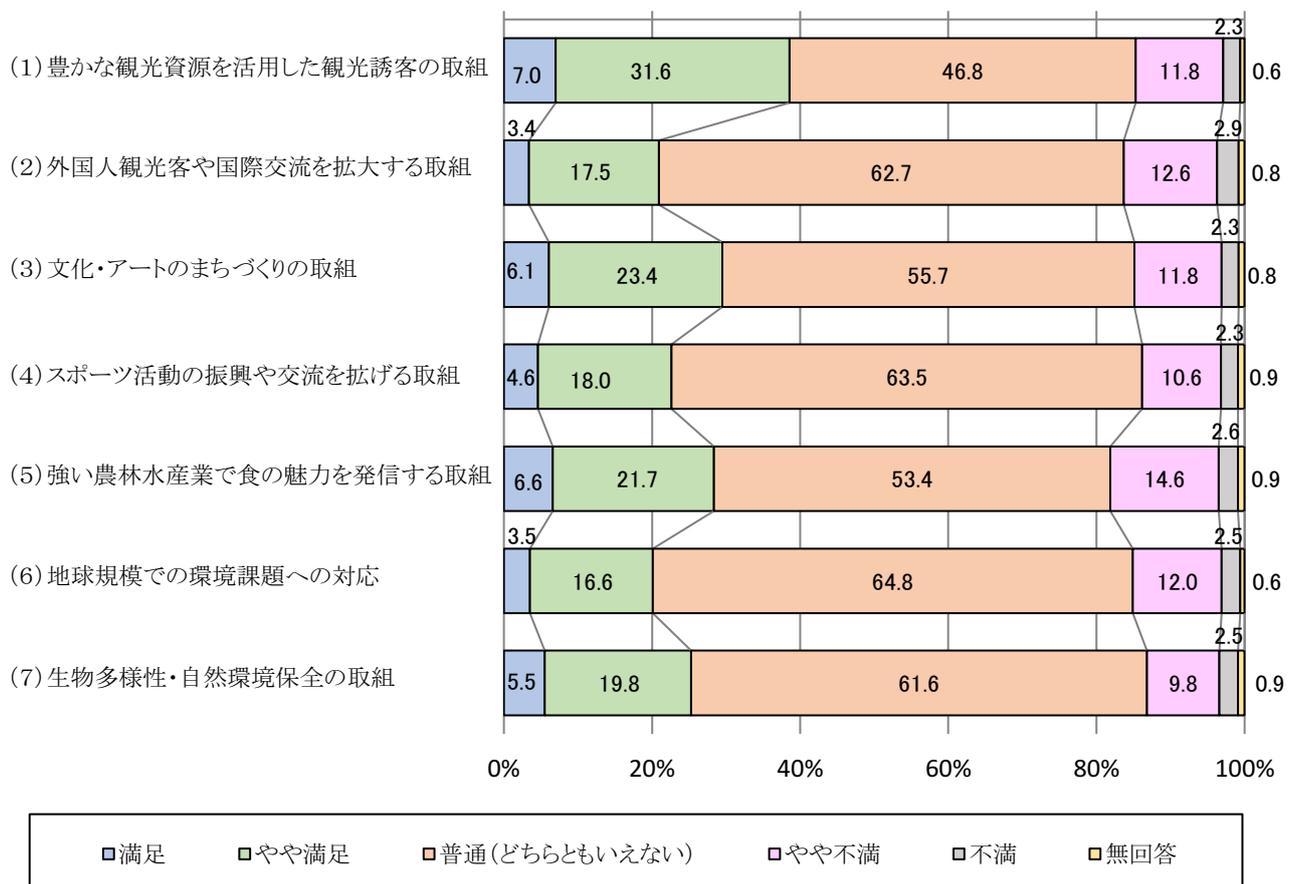
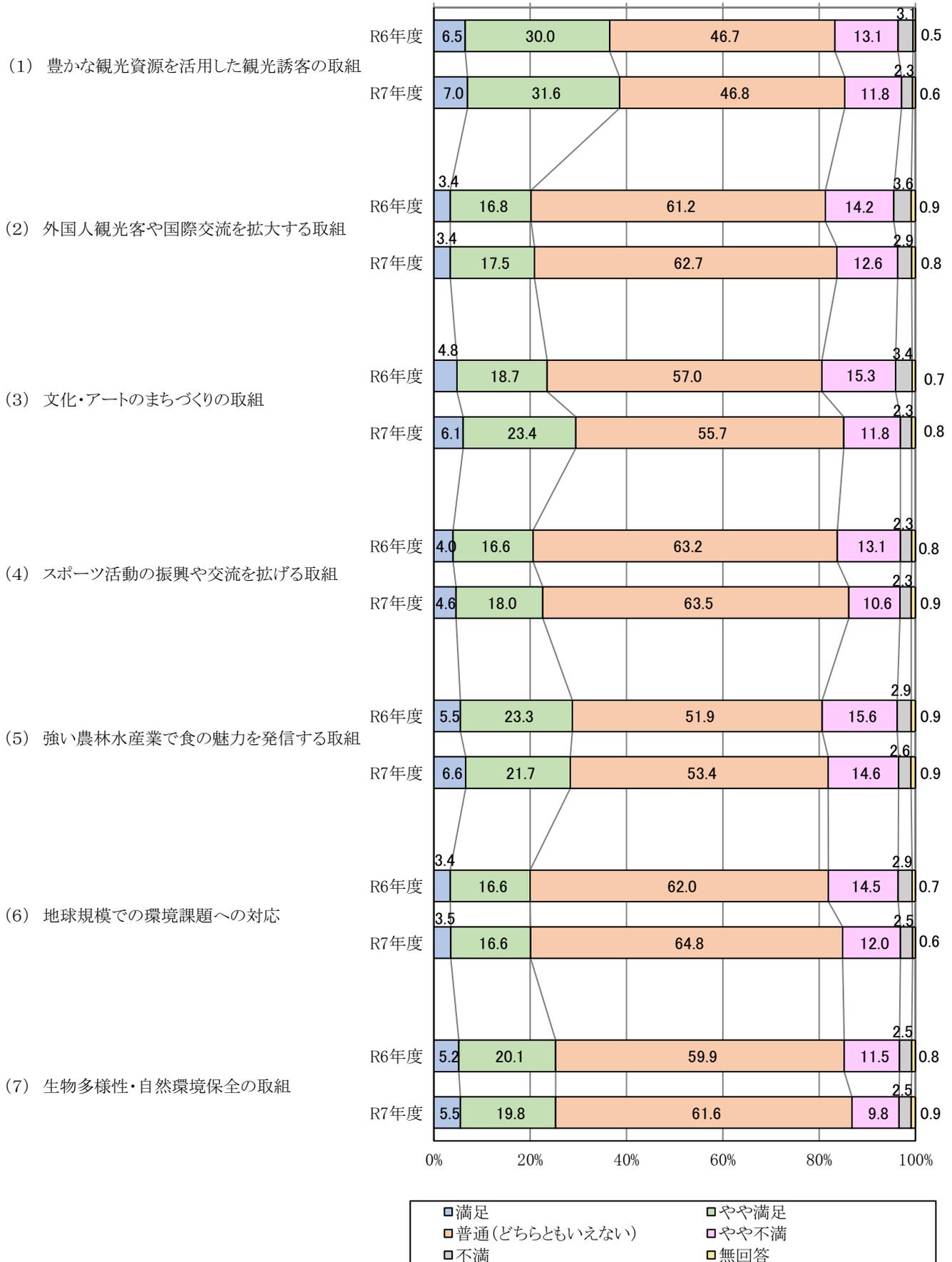


図 14 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度(年次比較)



●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

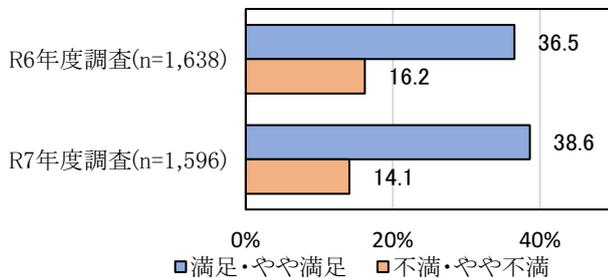
(3) 文化・アートのまちづくりの取組	【+6.0】
(1) 豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組	【+2.1】
(4) スポーツ活動の振興や交流を拓げる取組	【+2.0】
(2) 外国人観光客や国際交流を拡大する取組	【+0.7】
(6) 地球規模での環境課題への対応	【+0.1】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

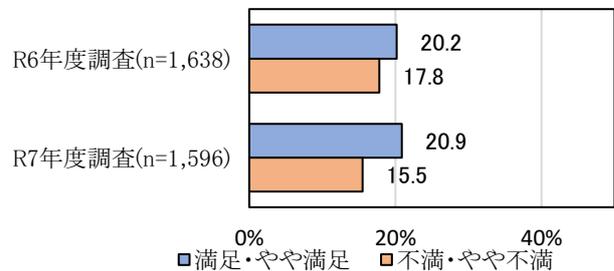
前年度より上がった項目は無し

●満足度・不満足度の比較

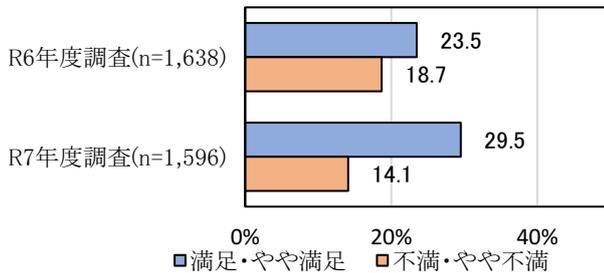
(1) 豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組



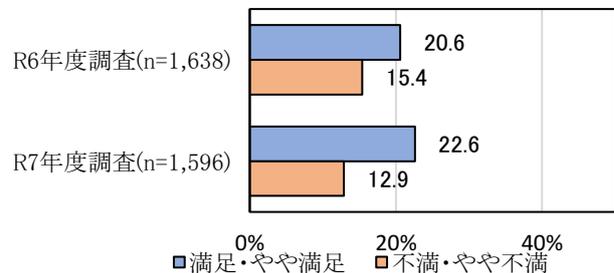
(2) 外国人観光客や国際交流を拡大する取組



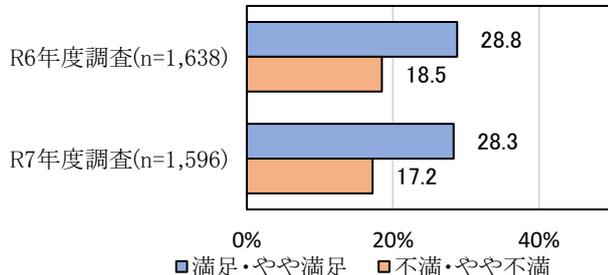
(3) 文化・アートのまちづくりの取組



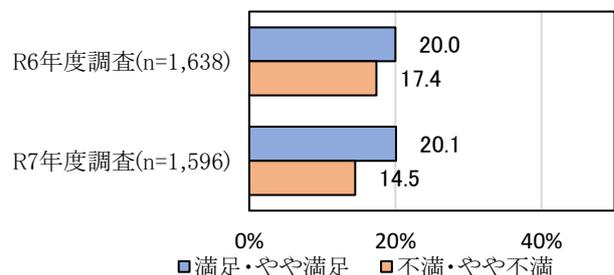
(4) スポーツ活動の振興や交流を拓げる取組



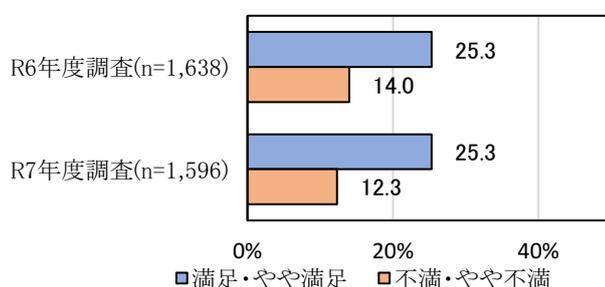
(5) 強い農林水産業で食の魅力を発信する取組



(6) 地球規模での環境課題への対応



(7) 生物多様性・自然環境保全の取組



問 6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」が64.3%と最も高く、次いで「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が62.4%、「生物多様性・自然環境保全の取組」が45.7%と続いている。

前回調査と比較してみると、「スポーツ活動の振興や交流を拓げる取組」「生物多様性・自然環境保全の取組」が約3ポイント増加している。

年代別でみると、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」「外国人観光客や国際交流を拡大する取組」「文化・アートのまちづくりの取組」は20歳代で高く、「地球規模での環境課題への対応」「生物多様性・自然環境保全の取組」は60歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」は男性の30歳代、60歳代以上で高く、「地球規模での環境課題への対応」は女性の60歳代以上で高くなっている。

図15 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」項目のうち今後優先すべき(重要度の高い)項目 (年次比較)

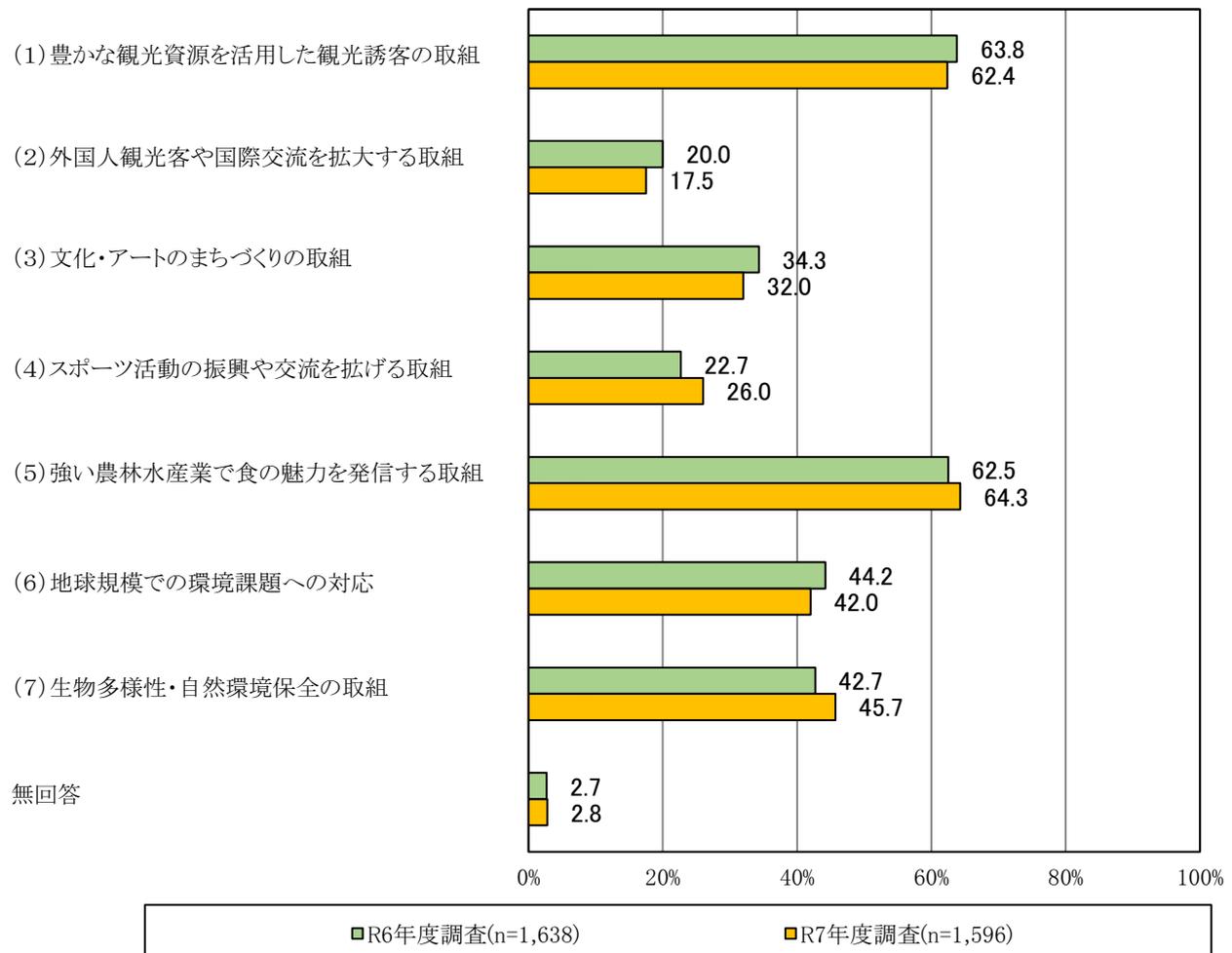
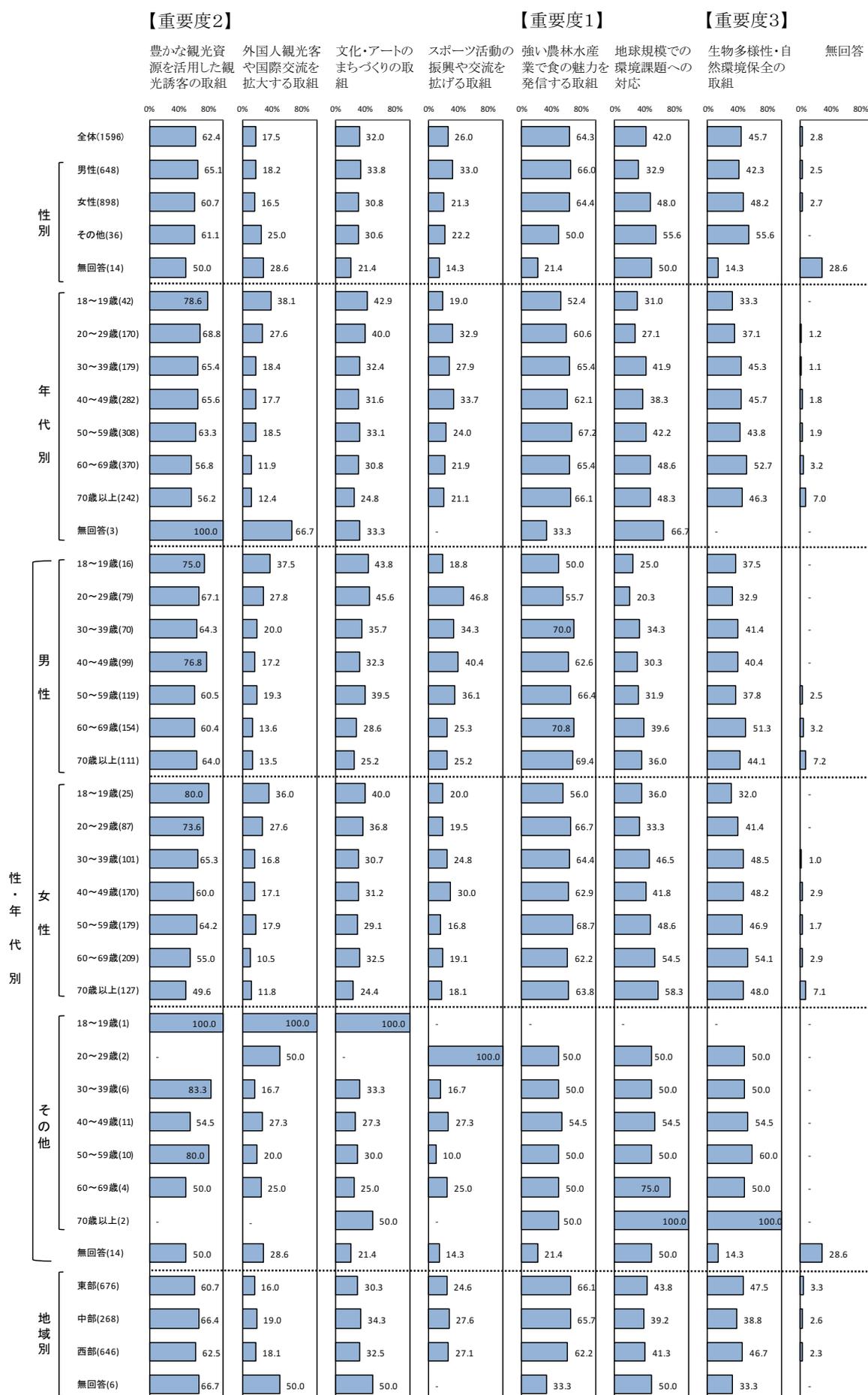


図 16 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

問 6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

～「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」の満足度が高い～

「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」の取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」が 26.3%と最も高く、次いで「地域の健康と安心を守る取組」が 21.5%、「智をひらく豊かな学びの取組」が 17.2%となっている。

一方、不満(不満・やや不満の合計)については、「中山間地の生活や社会機能を守る取組」が 39.8%と最も高く、約4割が不満を感じており、「若い力が輝く協働のまちづくりの取組」「危機を乗り越え、地域を元気にする取組」については約3割が不満を感じている。

前回調査と比較してみると、「誰もが尊重される共生社会の取組」の満足度が僅かに増加しており、その他の項目は横ばいとなっている。

図17 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度 (n=1,596)

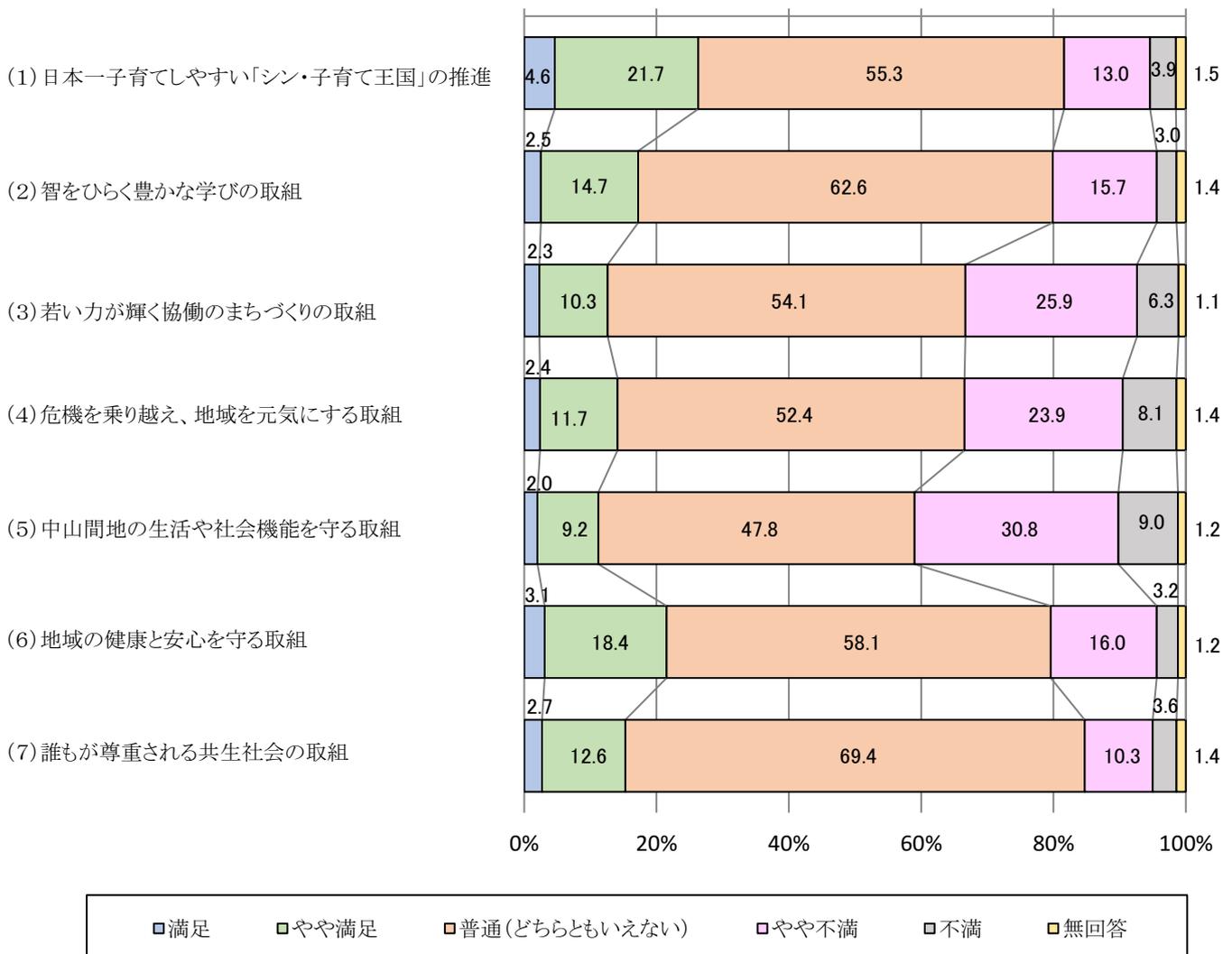
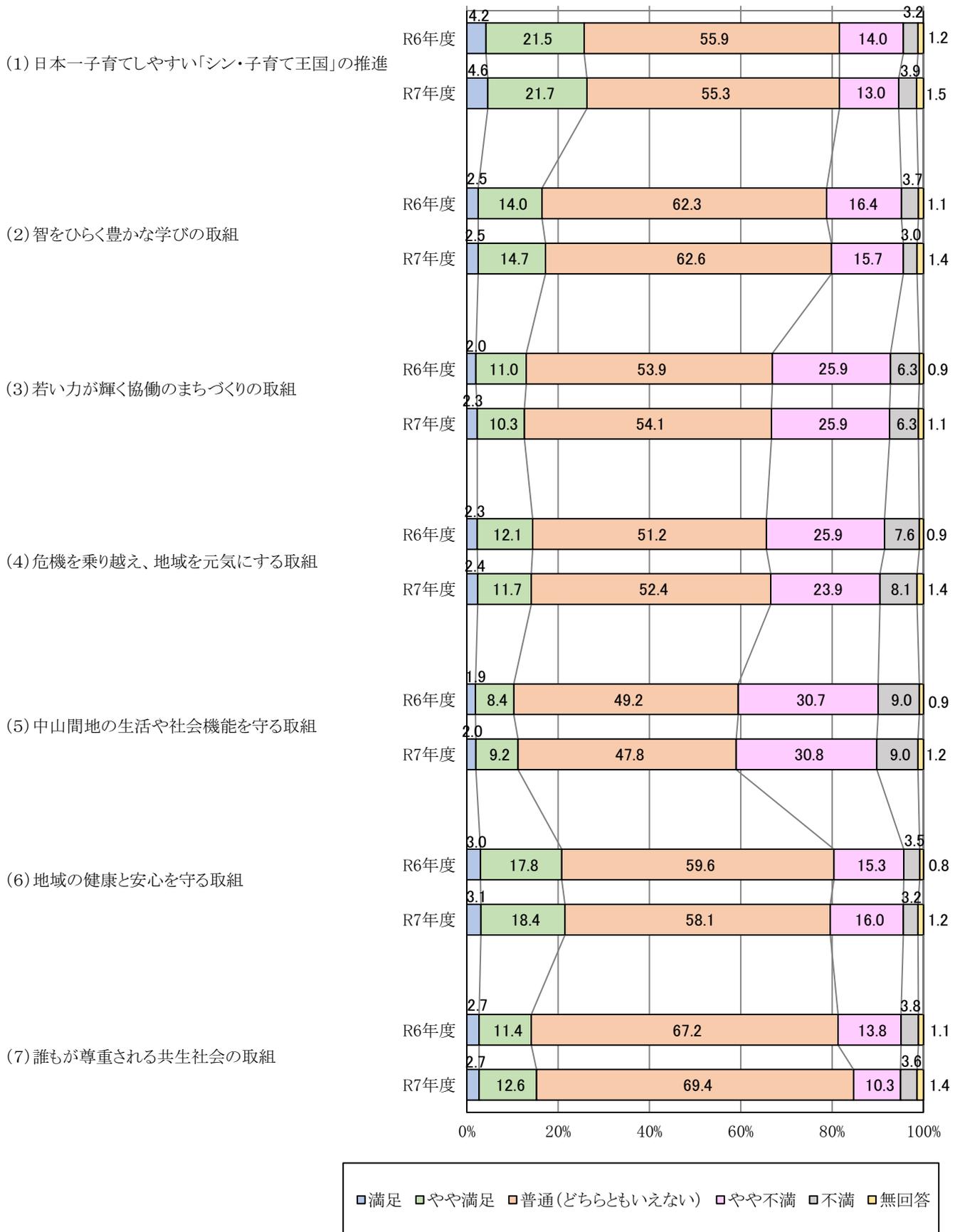


図 18 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(年次比較)



●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

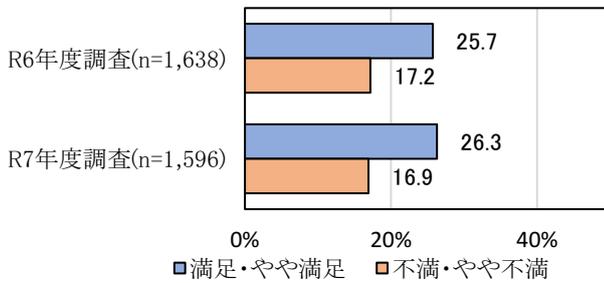
(7) 誰もが尊重される共生社会の取組	【+1.2】
(5) 中山間地の生活や社会機能を守る取組	【+0.9】
(2) 智をひらく豊かな学びの取組	【+0.7】
(6) 地域の健康と安心を守る取組	【+0.7】
(1) 日本一子育てしやすい「シン・子育て王国」の推進	【+0.6】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

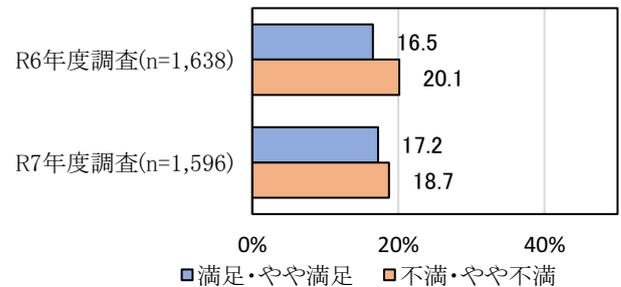
(6) 地域の健康と安心を守る取組	【+0.4】
(5) 中山間地の生活や社会機能を守る取組	【+0.1】

●満足度・不満足度の比較

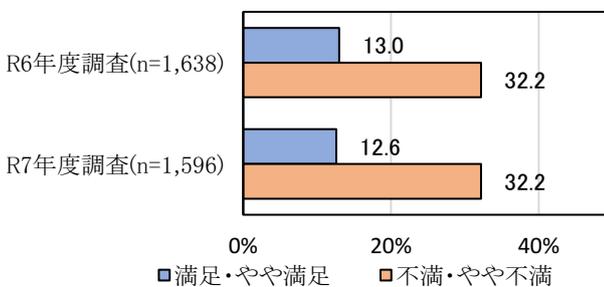
(1) 日本一子育てしやすい「シン・子育て王国」の推進



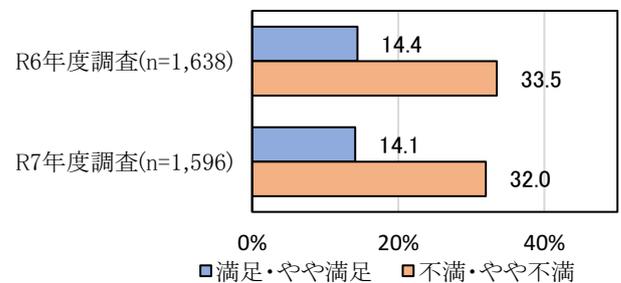
(2) 智をひらく豊かな学びの取組



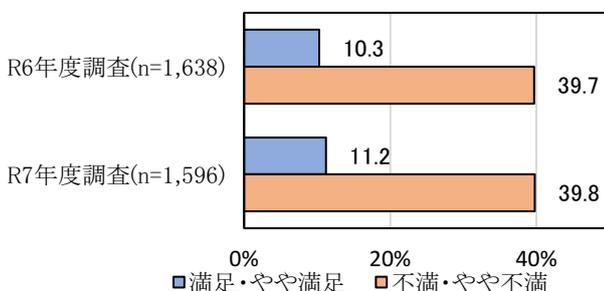
(3) 若い力が輝く協働のまちづくりの取組



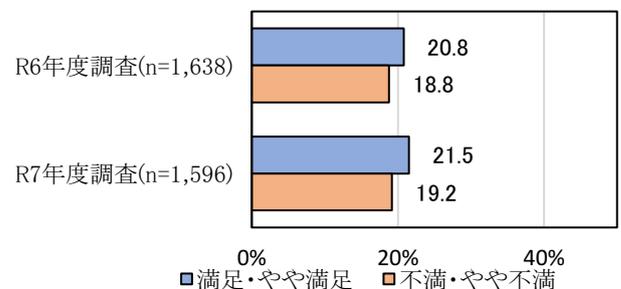
(4) 危機を乗り越え、地域を元気にする取組



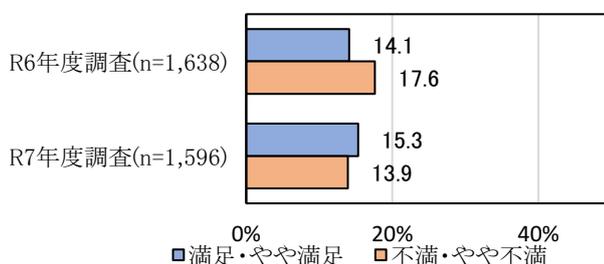
(5) 中山間地の生活や社会機能を守る取組



(6) 地域の健康と安心を守る取組



(7) 誰もが尊重される共生社会の取組



問 6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」の施策のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「若い力が輝く協働のまちづくり」「『シン・子育て王国』の推進」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「若い力が輝く協働のまちづくりの取組」が62.0%と最も高く、次いで「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」が55.1%、「地域の健康と安心を守る取組」が47.3%となっている。

前回調査と比較してみると、「智をひらく豊かな学びの取組」「危機を乗り越え、地域を元気にする取組」「地域の健康と安心を守る取組」が僅かに増加している。

年代別でみると、「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」は20～30歳代、「智をひらく豊かな学びの取組」は30～40歳代、「中山間地の生活や社会機能を守る取組」「地域の健康と安心を守る取組」は60歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」は女性の20～30歳代、「危機を乗り越え、地域を元気にする取組」は女性の30歳代、50～60歳代、「中山間地の生活や社会機能を守る取組」は男性の60歳代以上で高くなっている。

図19 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」項目のうち今後優先すべき(重要度の高い)項目 (年次比較)

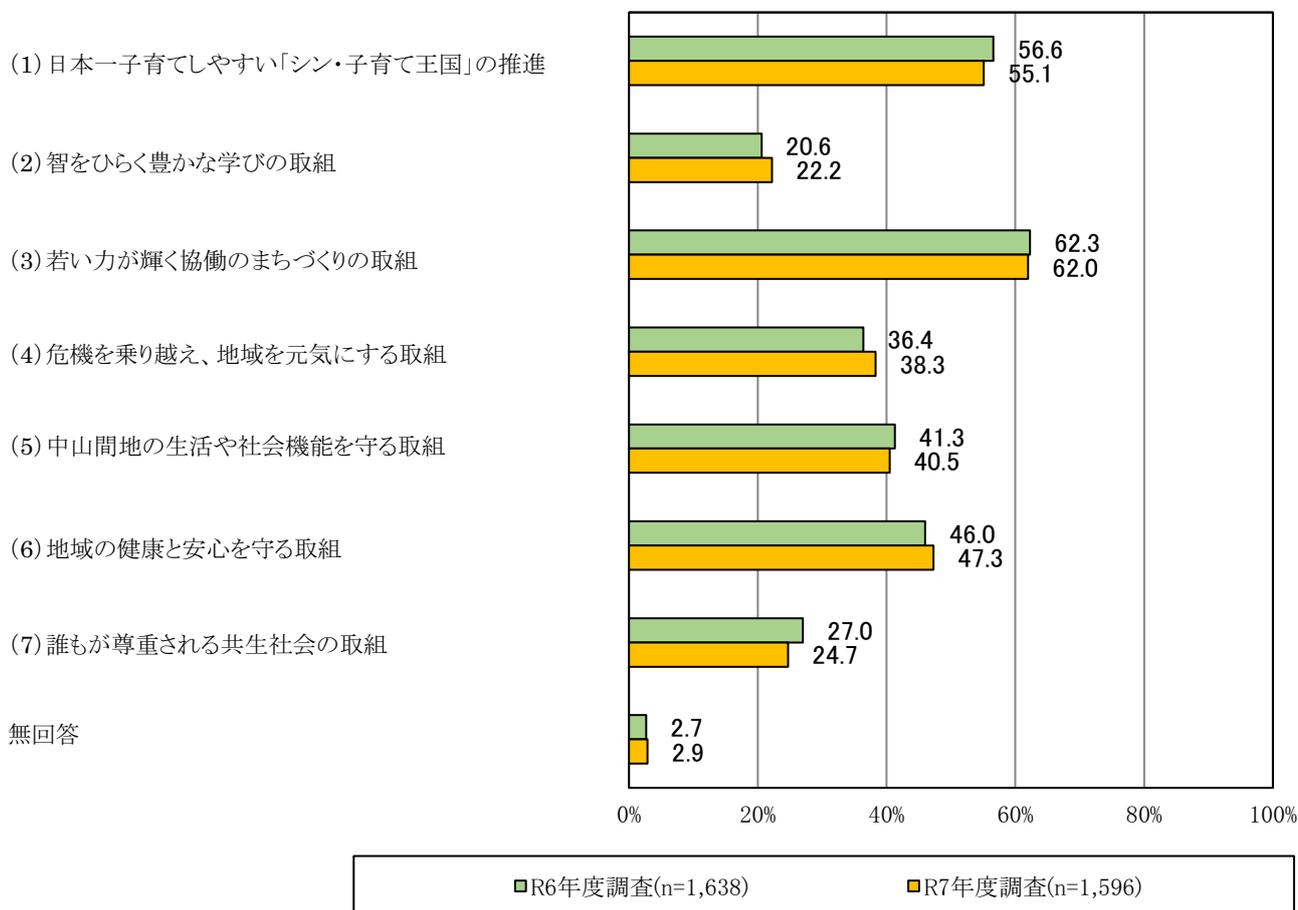
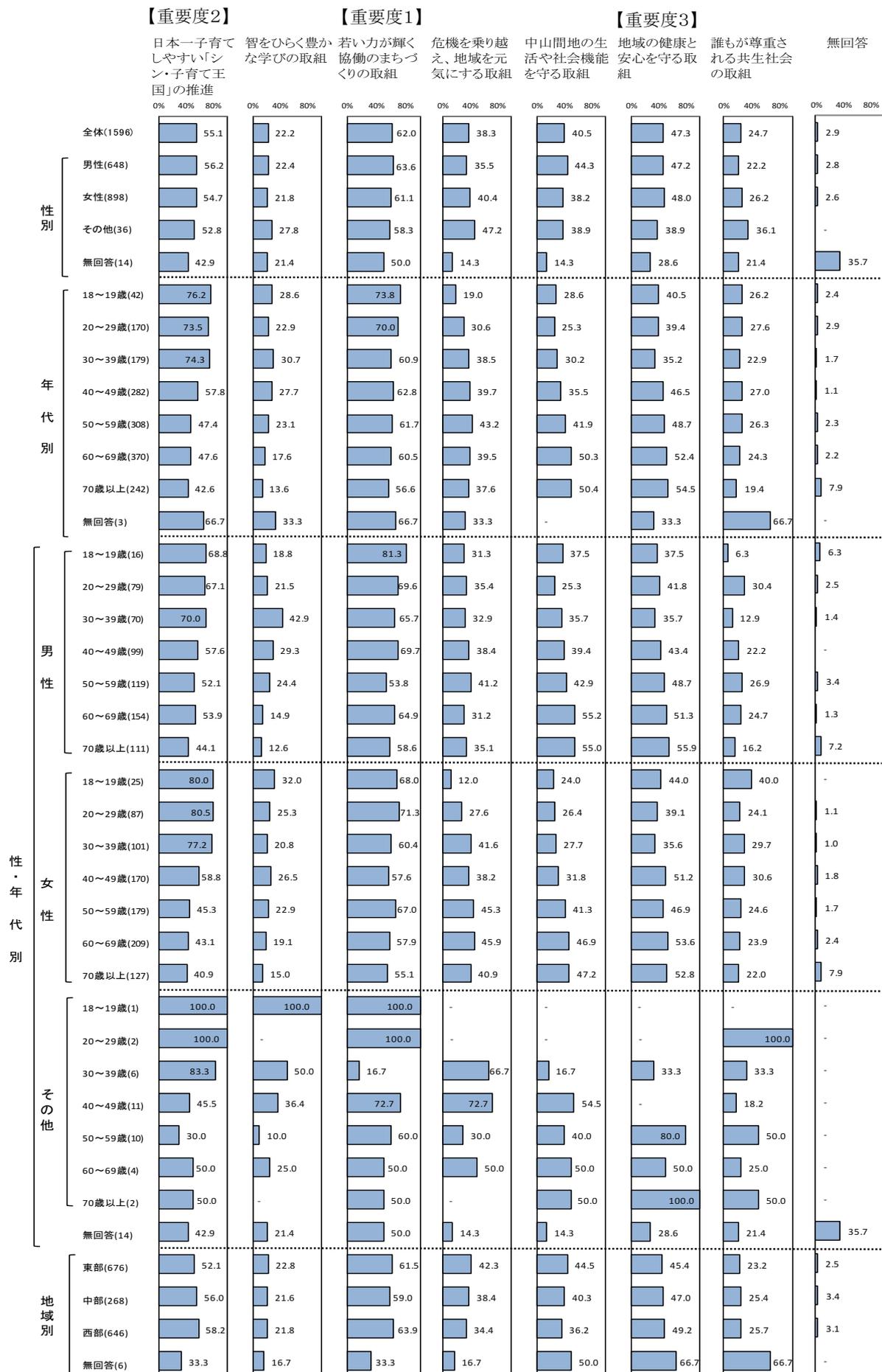


図 20 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

問 6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

～「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「防災・減災対策の強化」の満足度が高い～

「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が18.9%と最も高く、次いで「防災・減災対策の強化」が18.4%、「移住定住の促進」が14.0%となっている。

前回調査と比較してみると、満足度は「移住定住の促進」「防災・減災対策の強化」を除く項目で横ばいとなっており、「移住定住の促進」「防災・減災対策の強化」では2ポイント程度減少している。また、不満(不満・やや不満の計)については、「県内産業の持続的発展をめざす取組」が2.9ポイント増加している。

図21 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度 (n=1,596)

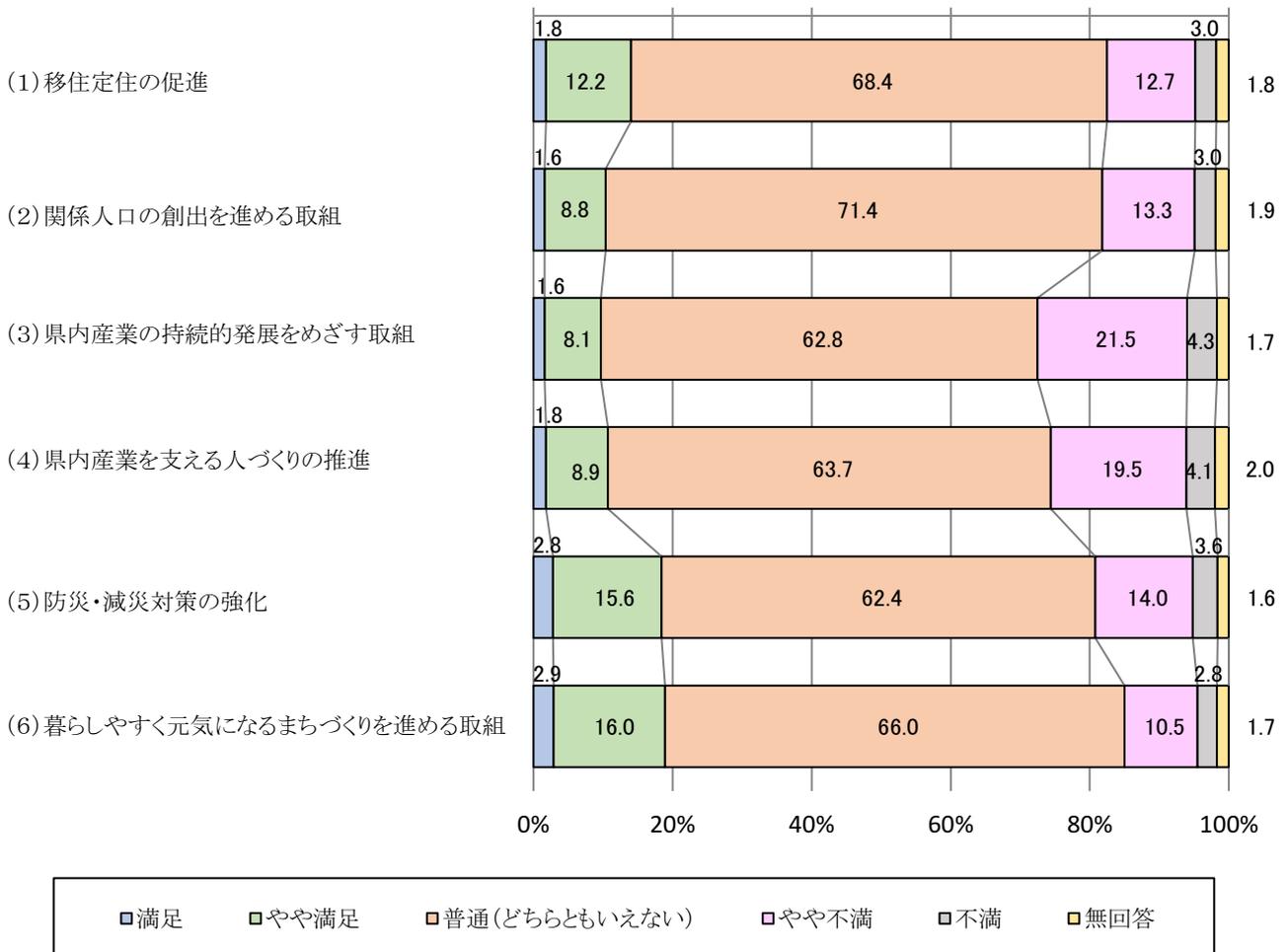
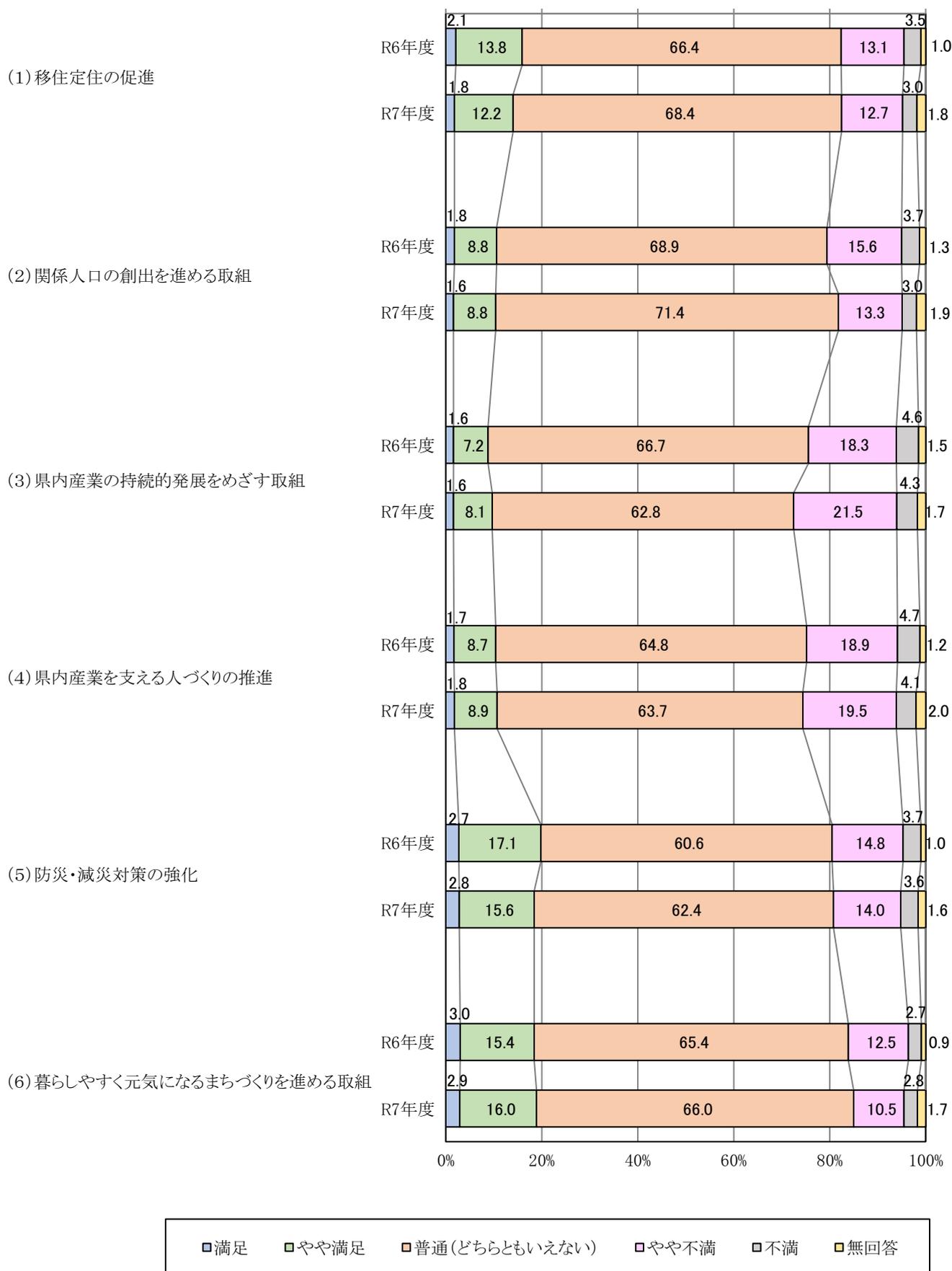


図 22 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(年次比較)



●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

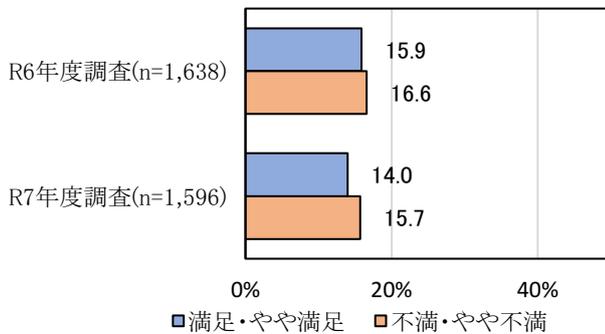
- (3) 県内産業の持続的発展をめざす取組 【+0.9】
- (6) 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組 【+0.5】
- (4) 県内産業を支える人づくりの推進 【+0.3】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

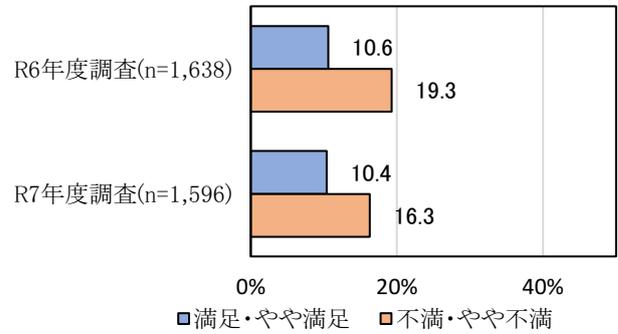
- (3) 県内産業の持続的発展をめざす取組 【+2.9】

●満足度・不満足度の比較

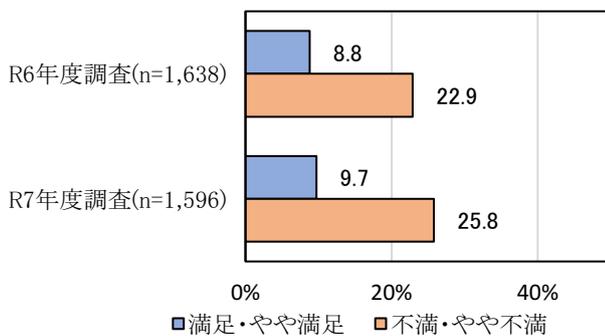
(1) 移住定住の促進



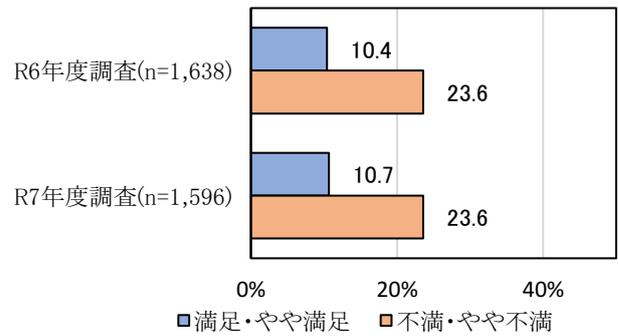
(2) 関係人口の創出を進める取組



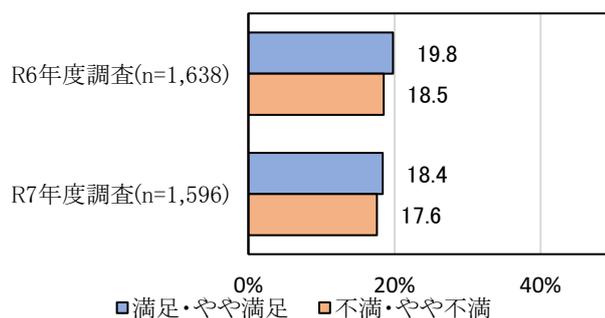
(3) 県内産業の持続的発展をめざす取組



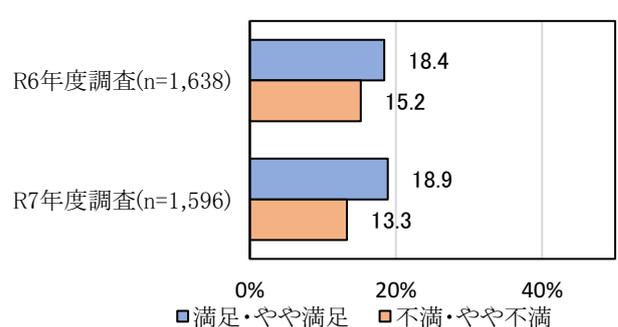
(4) 県内産業を支える人づくりの推進



(5) 防災・減災対策の強化



(6) 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組



問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」の施策等のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「県内産業の持続的発展をめざす取組」、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」、「県内産業を支える人づくりの推進」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「県内産業の持続的発展をめざす取組」が56.5%と最も高く、次いで「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が56.2%、「県内産業を支える人づくりの推進」が54.8%となっている。

前回調査と比較してみると、「県内産業の持続的発展をめざす取組」を除く項目で横ばいとなっており、「県内産業の持続的発展をめざす取組」は1.5ポイント減少している。

年代別でみると、「県内産業の持続的発展をめざす取組」は30歳代、50歳代で高く、「移住定住の促進」は20歳代が他の年代と比べて10ポイント程度高くなっている。

性・年代別でみると、「県内産業の持続的発展をめざす取組」は男性の30～50歳代で、「移住定住の促進」は男性の30～40歳代、女性の20歳代で、「防災・減災対策の強化」は女性の40～60歳代で高くなっている。

図23 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」項目のうち今後優先すべき(重要度の高い)項目(年次比較)

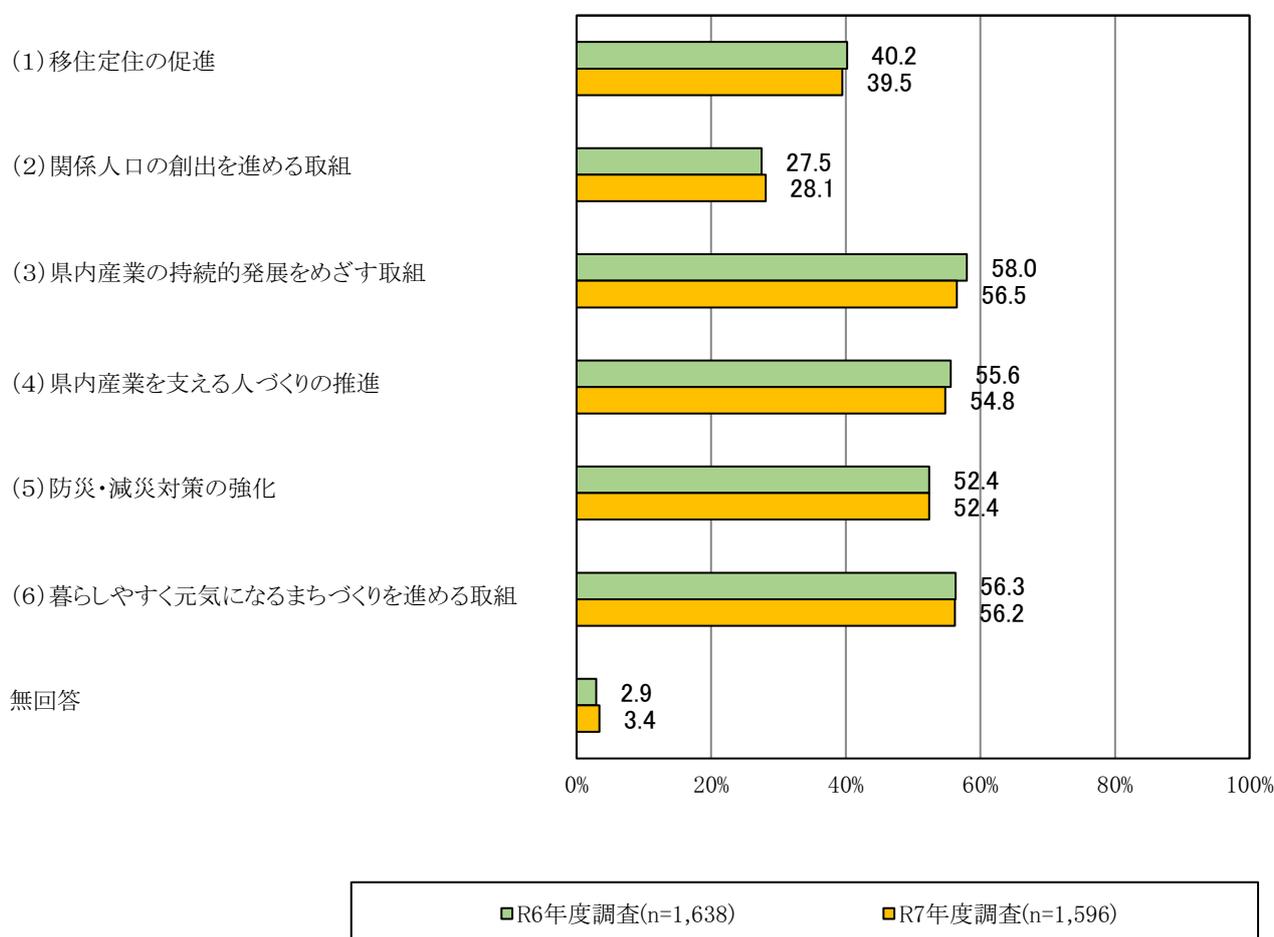
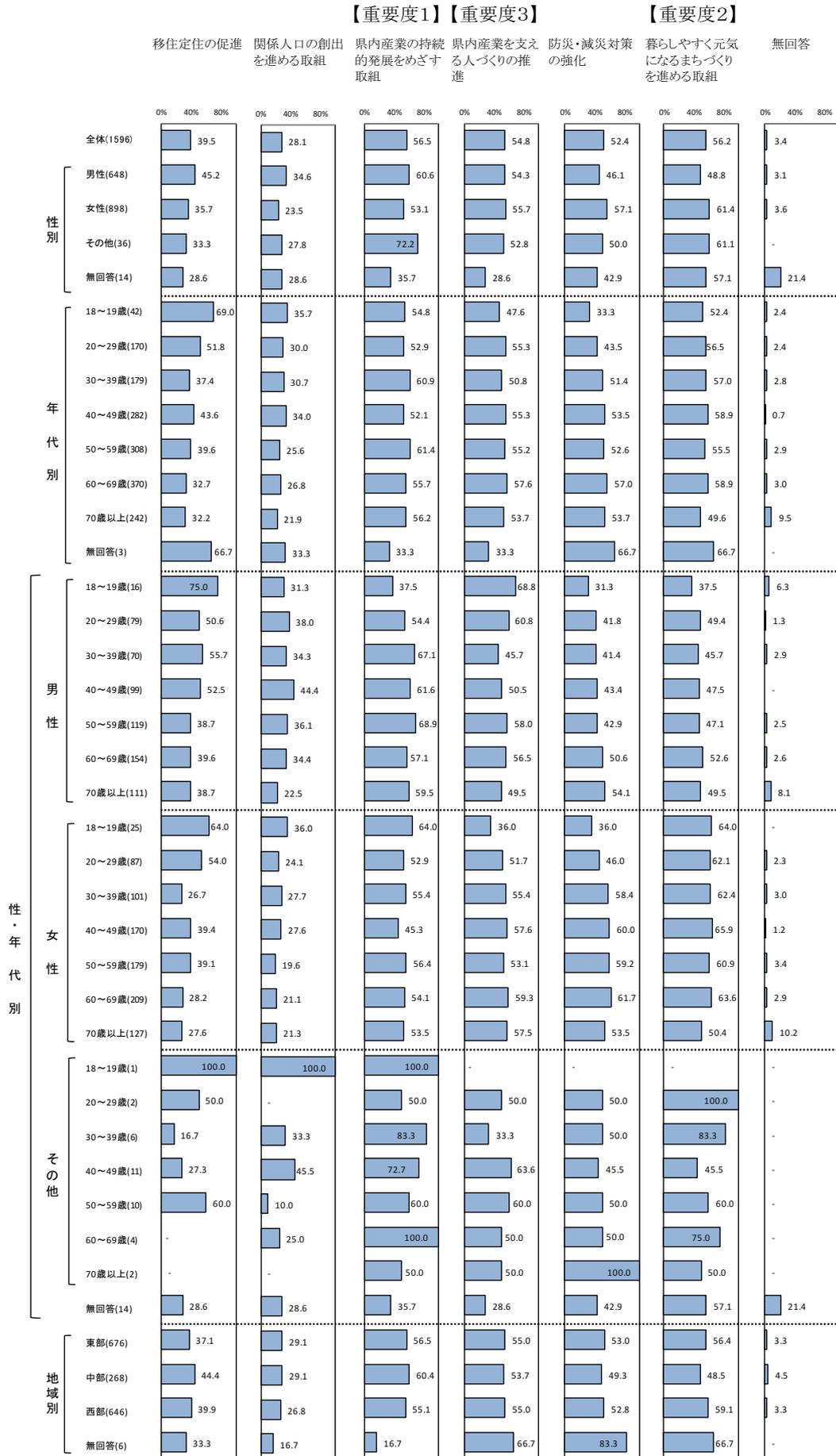


図 24「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



4 男女共同参画社会づくり

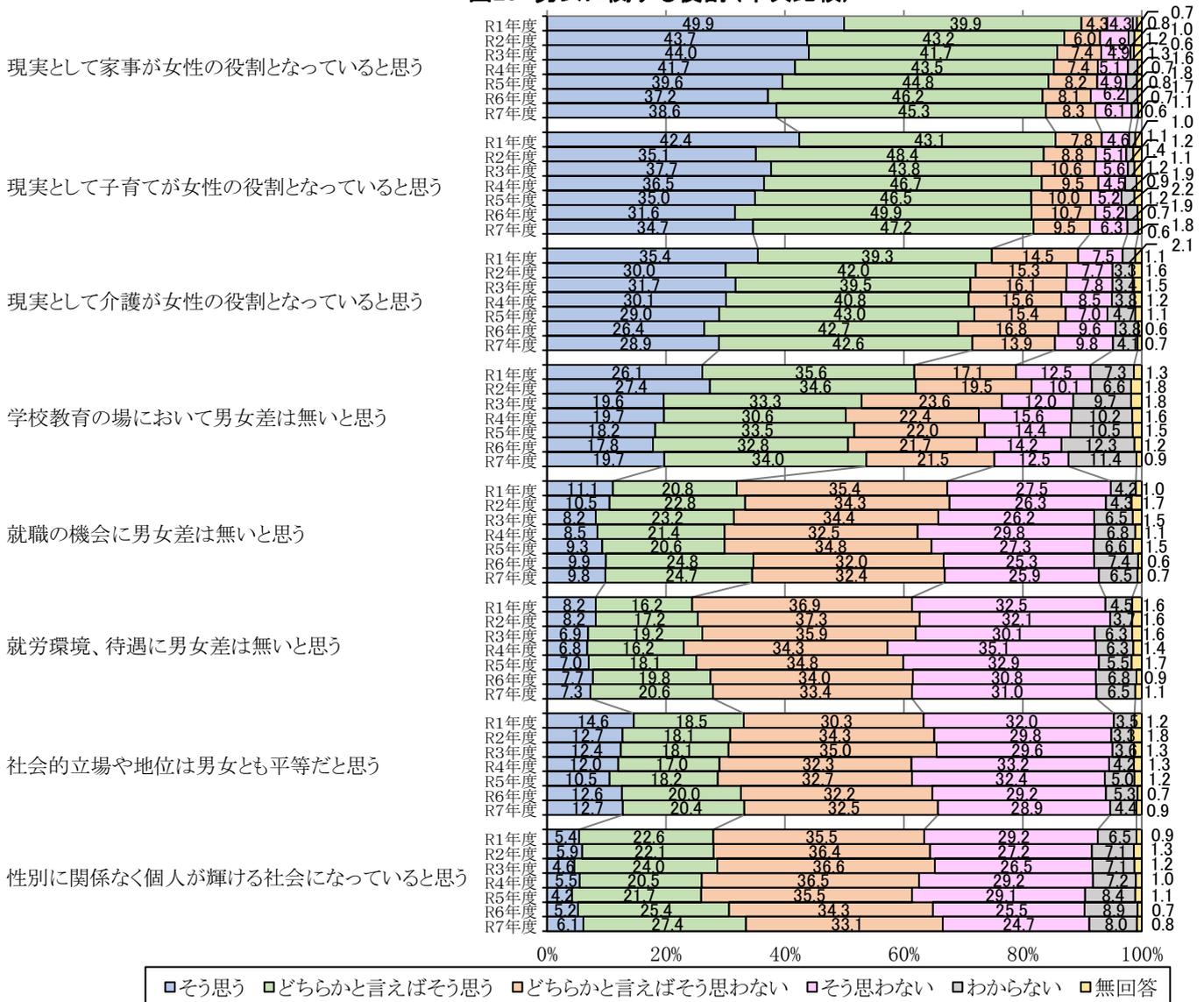
問7 男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目(設問)についてどう思われますか。項目ごとにいずれかに○を記入してください。

～現実として「家事、子育て、介護が女性の役割となっている」と思う人が多数～

男女に関する役割などについて、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせると、「現実として家事が女性の役割となっていると思う」が83.9%と最も高く、次いで「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」が81.9%、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」が71.5%となっている。

前回調査と比較してみると、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」「学校教育の場において男女差はないと思う」「性別に関係なく個人が輝ける社会になっていると思う」は「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計の割合が3ポイント程度増加している。

図25 男女に関する役割(年次比較)



問8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思えますか。(〇は3つまで)

～「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が上位～

男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が 60.4%と最も高く、次いで「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」が 50.4%、「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」が 40.5%となっている。

令和元年度-7年度を比較してみると、上位3項は常に上位を占めており、前年度からは横ばいとなっている。

性・年代別でみると、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」は男性の 60 歳代、女性の 20 歳代、40 歳代で高くなっている。「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」は男性の 20～50 歳代で高く、「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」は女性の 70 歳代以上で高くなっている。また、「男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発」は男性の 30～40 歳代で高くなっている。

図26 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思えますか(年次比較)

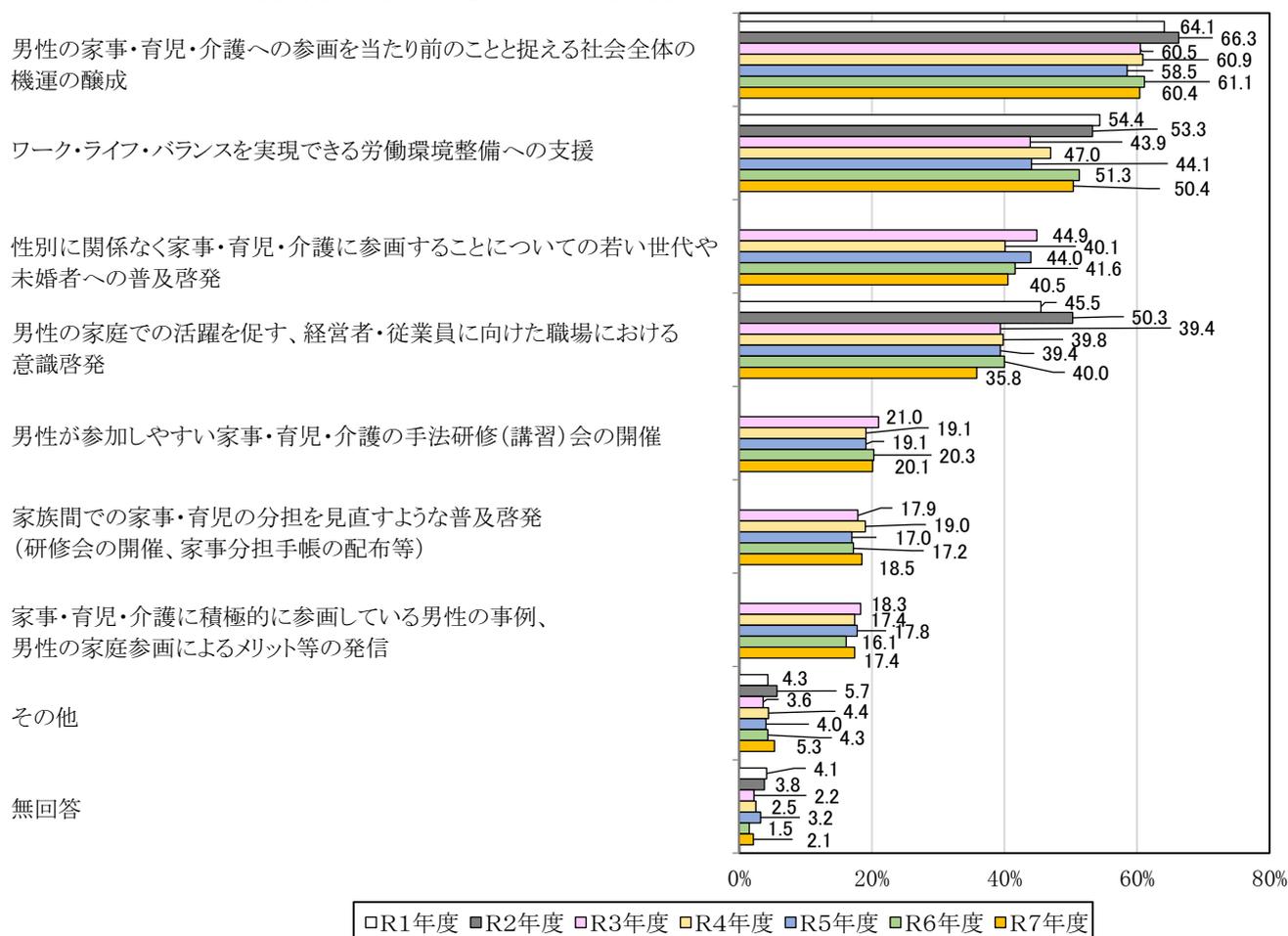
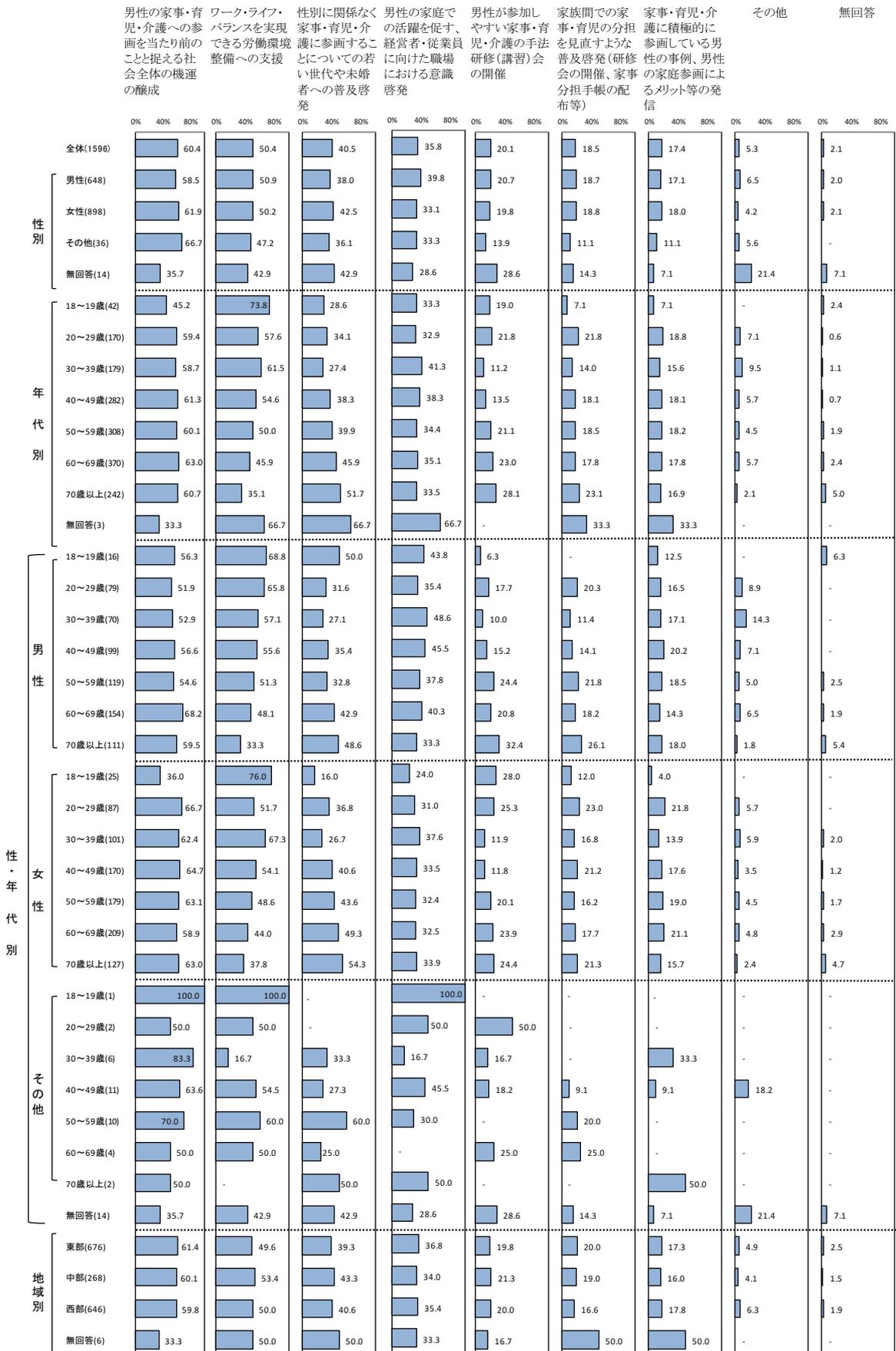


図 27 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策
(性別・年代別・地域別)

【上位1】 【上位2】 【上位3】



問9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いませんか。(〇は3つまで)

～「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境整備」や「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が上位～

男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは、「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備」が59.8%と最も高く、次いで「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が53.1%、「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」が40.3%となっている。

令和2年度～7年度を比較してみると、上記の3項目は常に上位を占めており、「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」は前年度から約3ポイント増加している。

性・年代別でみると、「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備」は全ての年代で男性より女性が高く、「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」は男性の30歳代、60歳代以上で高くなっている。

図28 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いませんか(年次比較)

- 保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備
- 性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援
- 子育てや介護等で離職した人の再就職支援
- 長時間労働の縮減やテレワーク制度の普及など、働き方の見直しの啓発
- 固定的性別役割分担意識の解消など男女共同参画の視点に立った教育や学習機会等の充実
- 民間企業・団体などにおいて管理職への女性の登用が進むような取組支援、登用の事例やメリットの発信
- 男女共同参画に関する相談の場の拡充及び周知
- 配偶者や交際相手等からの暴力を根絶するための取組推進(R2～R6:女性に対する暴力を根絶するための取組推進)
- 県の審議会委員や管理職など、政策決定の場への女性の積極的な登用
- その他
- 無回答

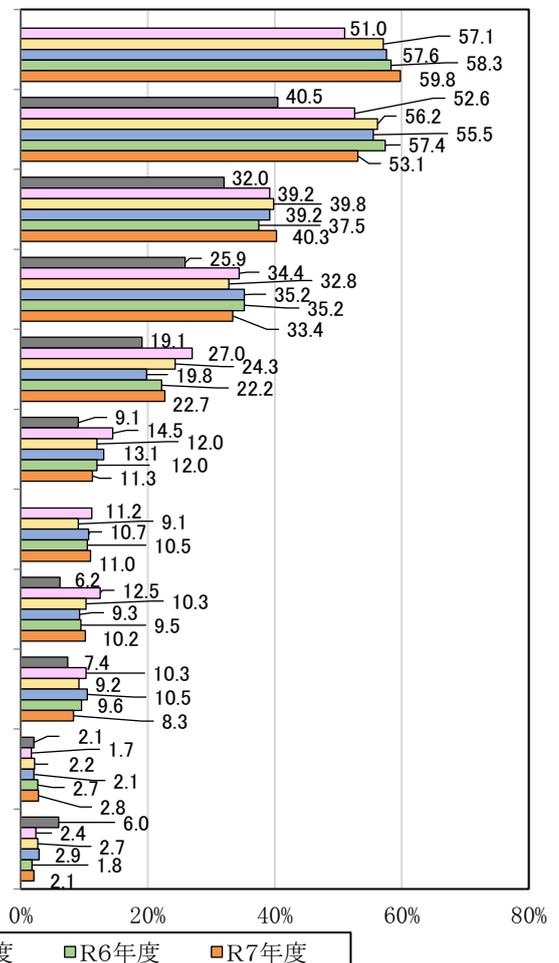
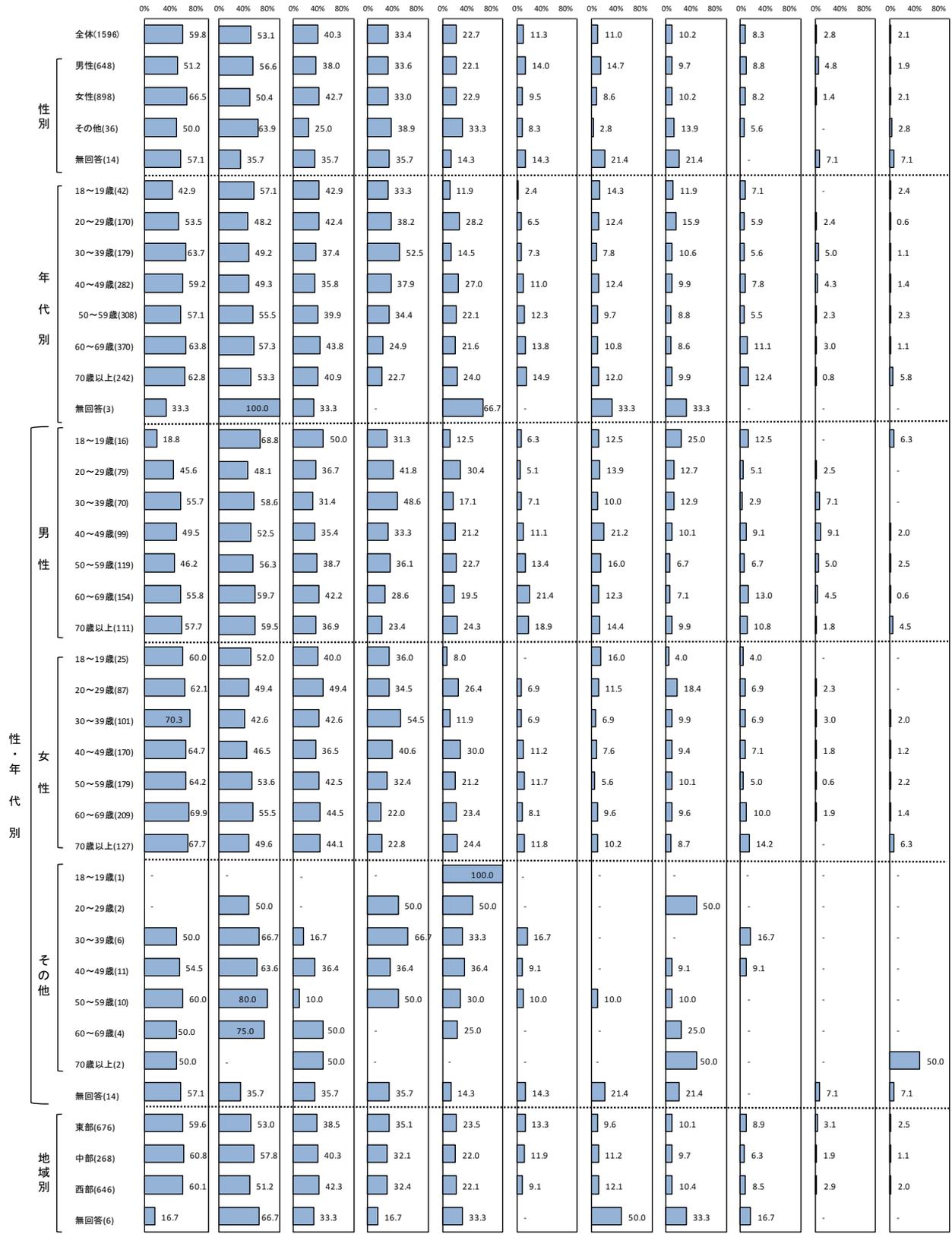


図 29 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきこと(性別・年代別・地域別)

【上位1】 【上位2】 【上位3】

保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備
 性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境を整備を進める企業の取組支援
 子育てや介護等で離職した人の再就職支援
 長時間労働の縮減やテレワーク制度の普及など、働き方の見直しの啓発
 固定的性別役割分担意識の解消など男女共同参画の視点に立った教育や学習機会等の充実
 民間企業・団体などにおいて管理職への女性の登用が進むような取組支援、登用の事例やメリットの発信
 男女共同参画に関する相談の場の拡充及び周知
 配偶者や交際相手等からの暴力を根絶するための取組推進
 県の審議会委員や管理職など、政策決定の場への女性の積極的な登用
 その他
 無回答



Ⅲ 重点施策への関心・認識

<性別に関するアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)について>

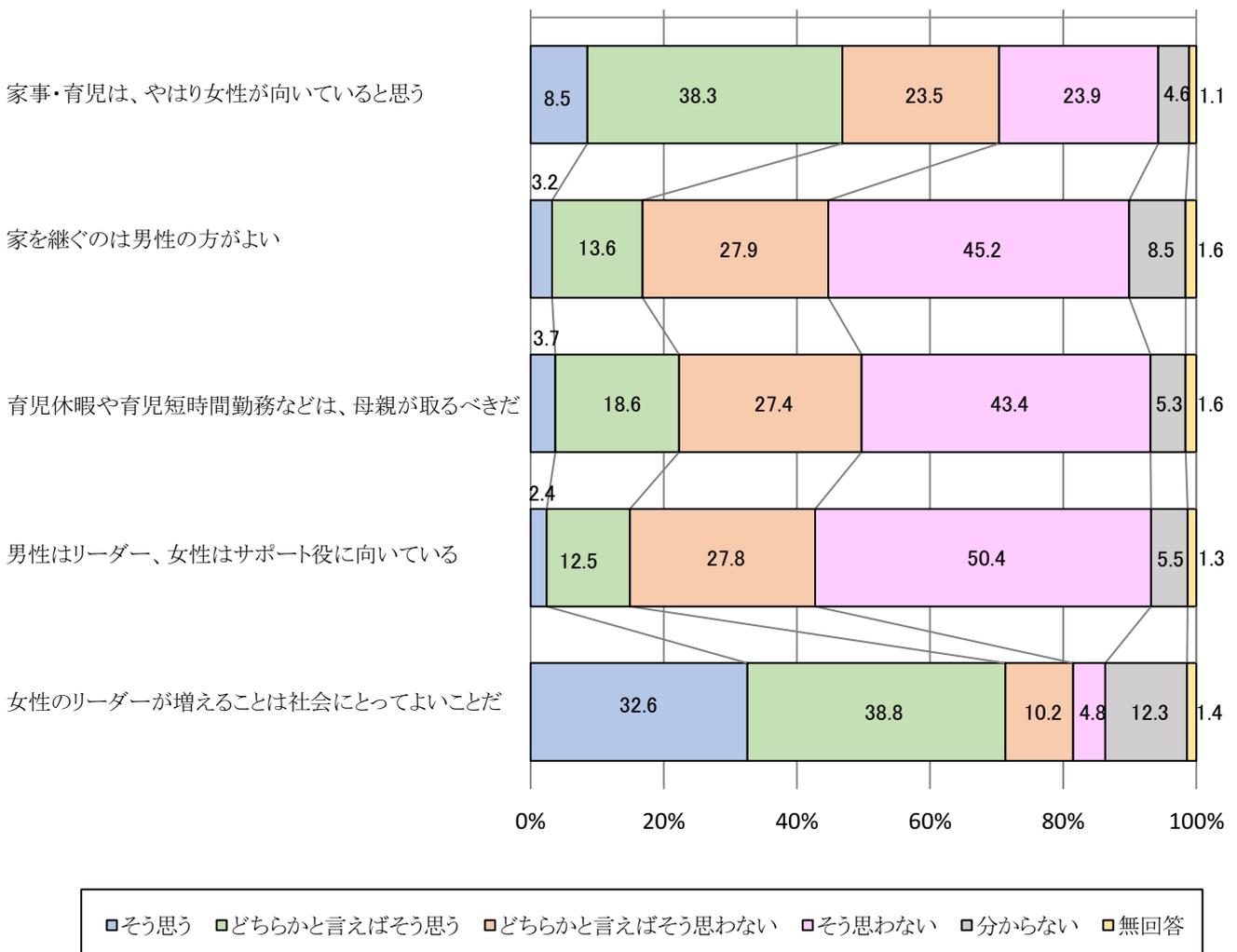
問 10 次の項目(設問)についてどう思いますか。(〇は1つだけ)

～「女性のリーダーが増えることは社会にとってよいことだ」への共感が約7割～

性別に関するアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)について、「そう思う」は「女性のリーダーが増えることは社会にとってよいことだ」が 32.6%と最も高くなっている。また、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計は、「女性のリーダーが増えることは社会にとってよいことだ」が 71.4%、「家事・育児は、やはり女性が向いていると思う」が 46.8%となっている。

一方、「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」の合計は、「男性はリーダー、女性はサポート役に向いている」が 78.2%と最も高く、「家を継ぐのは男性の方がよい」が 73.1%、「育児休暇や育児短時間勤務などは、母親が取るべきだ」が 70.8%となっている。

図30 性別に関するアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)について (n=1,596)



問 11 ご自身の中に、「男だから」「女だから」といった性別による役割分担意識があると思いますか。(○は1つだけ)

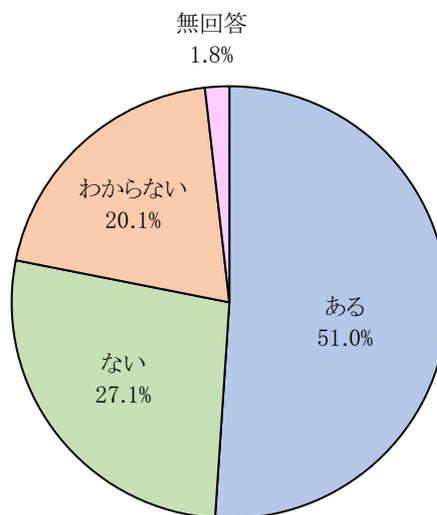
～性別による役割分担意識について、「ある」が約半数～

性別による役割分担意識について、「ある」が51.0%となっている。また、「ない」は27.1%となっている。

年代別で見ると、「ある」は40歳代、60歳代以上が高くなっている。

性・年代別で見ると、「ある」は女性の40歳代、60歳代以上で高く、「ない」は男性の20歳代で高くなっている。

図31 性別役割分担意識 (n=1,596)



問 12 (「ある」と回答された方へ)ご自身の中にある性別役割分担意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたものだと思いますか。(〇はいくつでも)

～「家族(親、きょうだい、パートナー)や友人・知人」が約8割～

性別役割分担意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたものかについて、「家族(親、きょうだい、パートナー)や友人・知人」が 76.7%と最も高く、次いで「職場」が 33.6%、「学校」が 17.7%となっている。

年代別でみると、「家族(親、きょうだい、パートナー)や友人・知人」は全ての年代で高く、「職場」は 20 歳代で高くなっている。

性・年代別でみると、「家族(親、きょうだい、パートナー)や友人・知人」は男性の 40 歳代、60 歳代以上、女性は全ての年代で高く、「職場」は男性の 20 歳代、40 歳代、女性の 20 歳代、70 歳代で高く、「学校」は男性の 20 歳代で高くなっている。

図33 性別役割分担意識は誰からまたは何からの影響か(n=815)

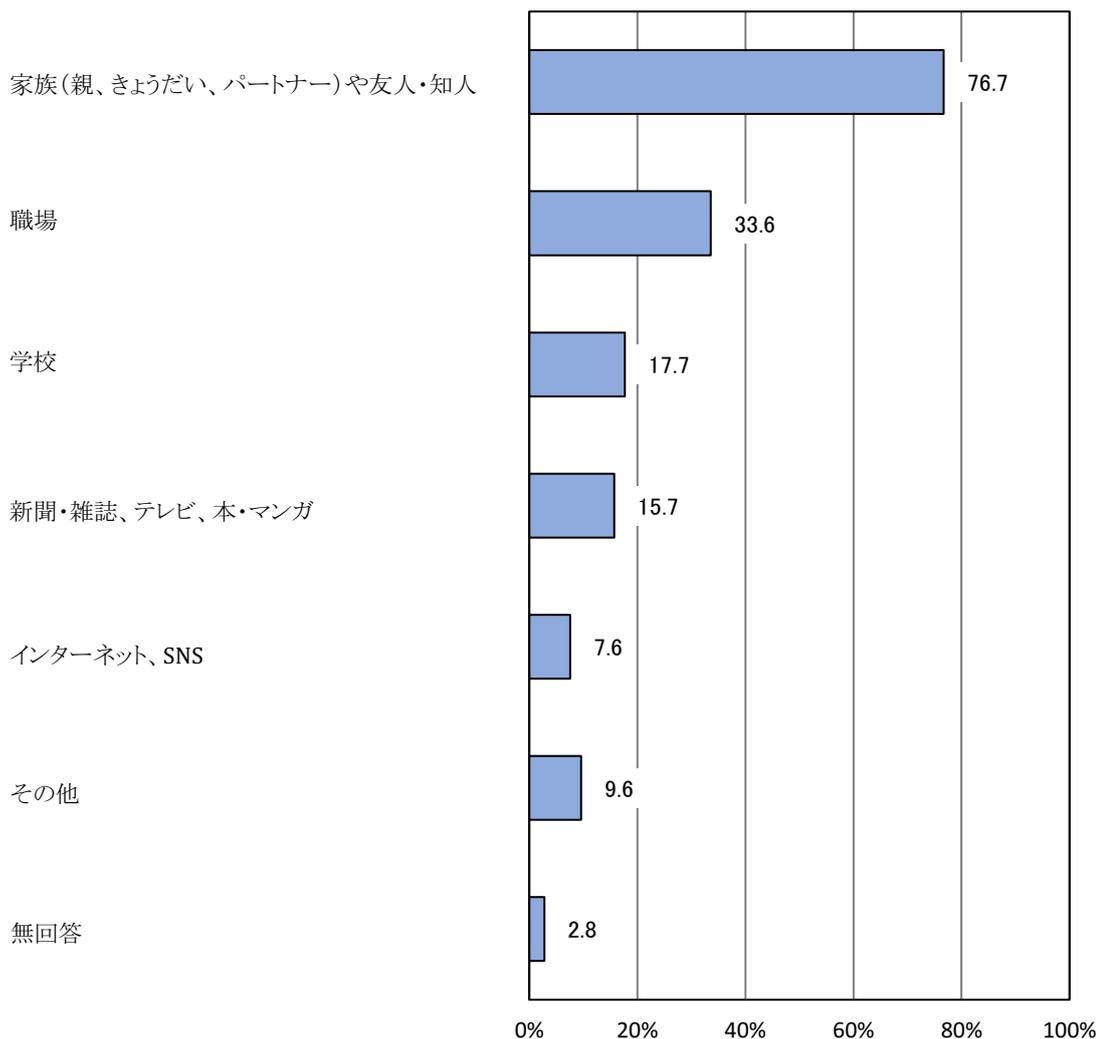
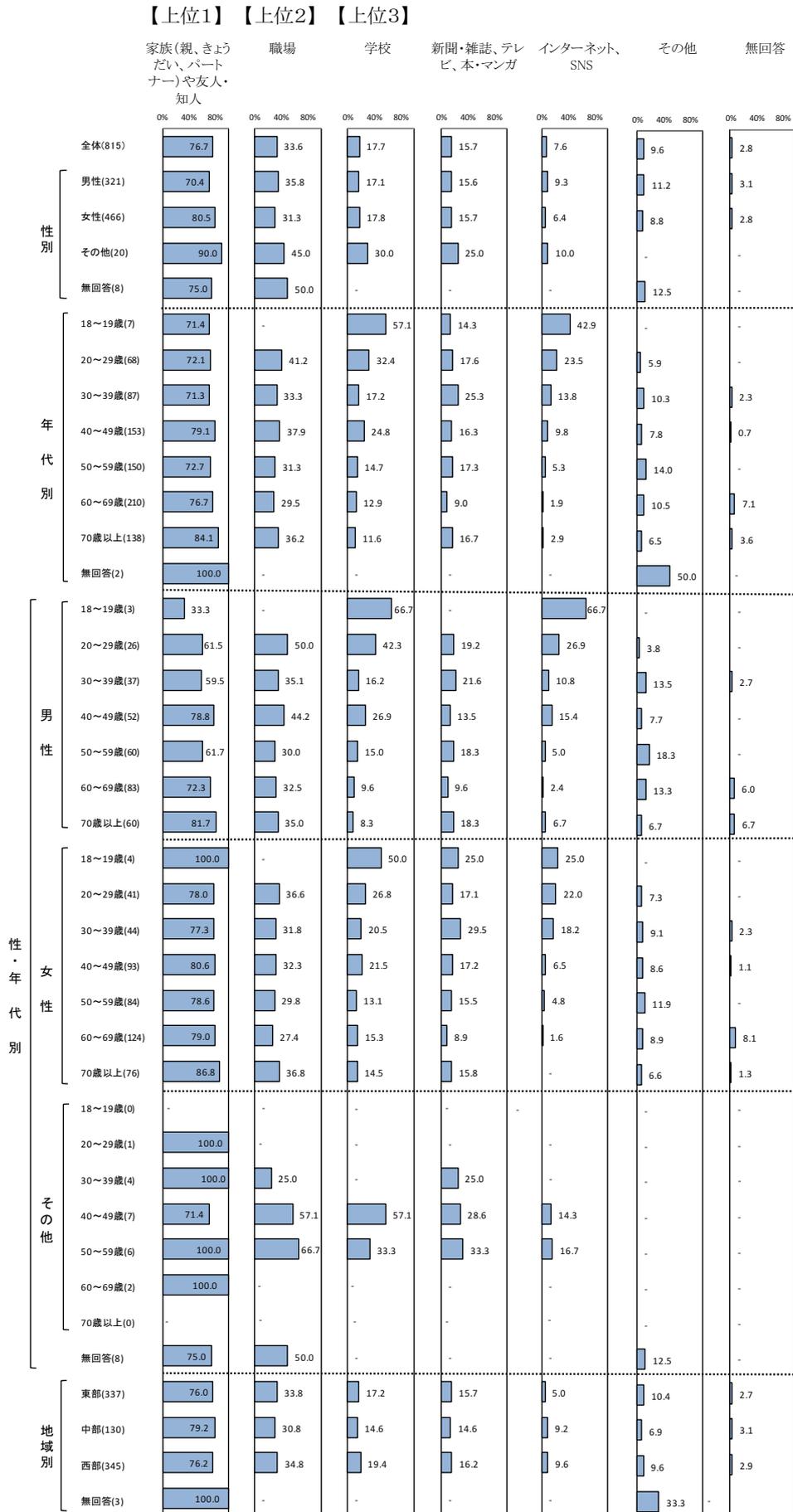


図 34 性別役割分担意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたか(性別・年代別・地域別)



問 13 「男だから」「女だから」といった性別による生きづらさ(「暮らしづらさ」、「働きづらさ」、「仕事と家庭の両立しづらさ」など)を感じたことがありますか。(○は1つだけ)

～性別による生きづらさを感じたことが「ある」が約3割～

性別による生きづらさを感じたことがあるかについて、「ある」が 27.2%、「ない」が 45.0%となっている。

年代別でみると、「ある」が 40 歳代で高く、「ない」が 20 歳代で高くなっている。

性・年代別でみると、「ある」は女性の 40～60 歳代で高く、「ない」は男性の 40 歳代を除く年代、女性の 20 歳代で高くなっている。

図35 性別による生きづらさ (n=1,596)

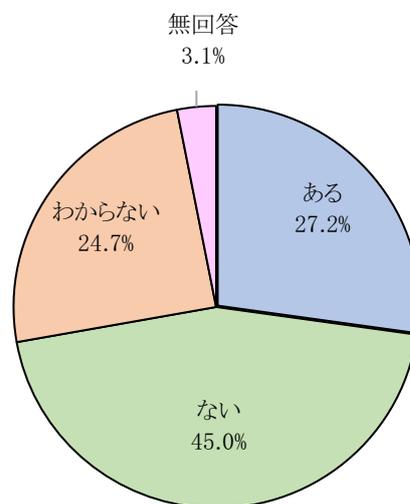
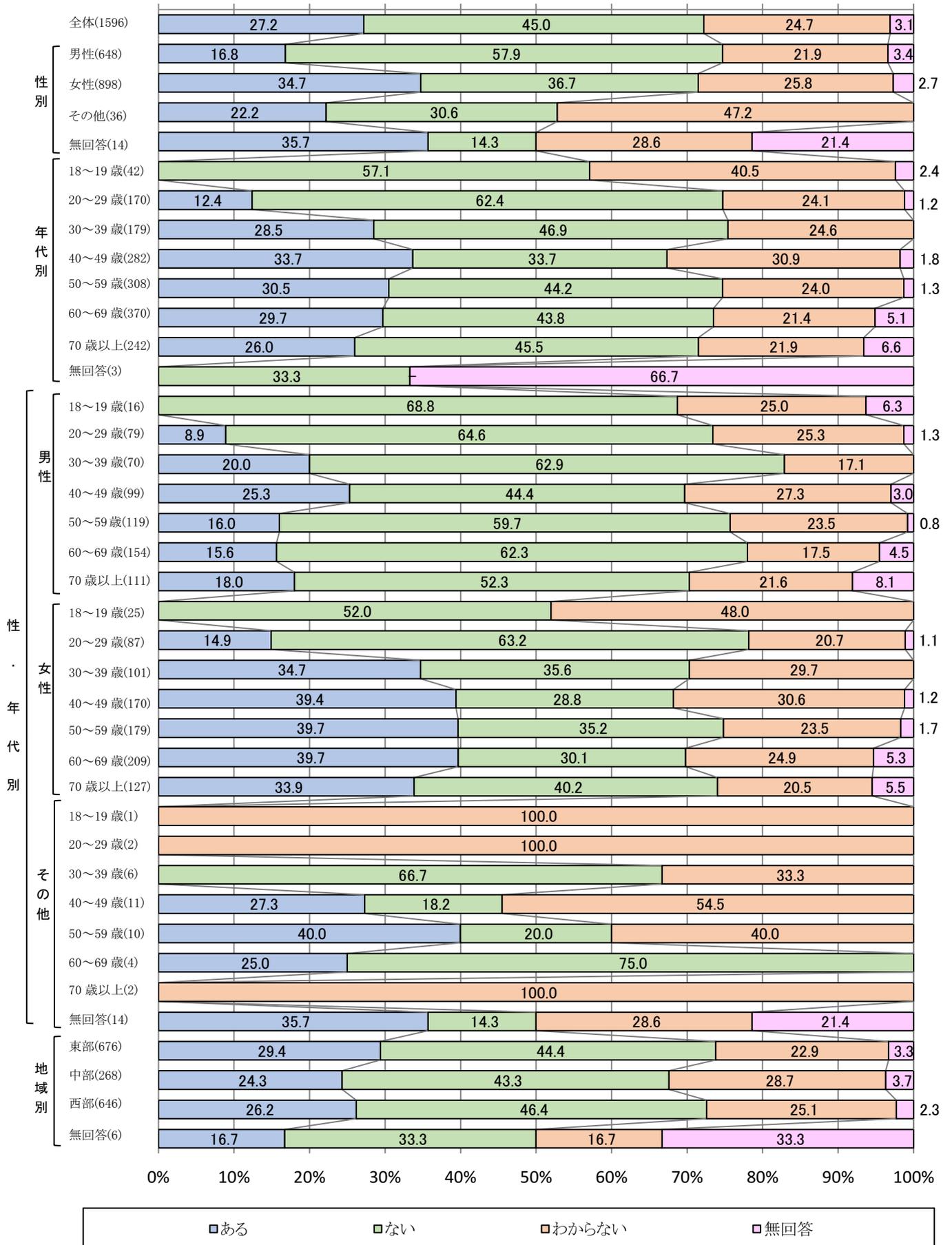


図36 「男だから」「女だから」といった性別による生きづらさを感じたことがあるか
(性別・年代別・地域別)



問 14 (「ある」と回答された方へ)それはどんなできごとでしたか。
自由記載ページ(P49)にて抜粋して紹介しています。

問 15 どうすれば性別役割分担意識による生きづらさ(「暮らしづらさ」、「働きづらさ」、「仕事と家庭の両立しづらさ」など)が解消されると思いますか。(〇はいくつでも)

～「家庭と仕事を両立しやすい環境」が約6割～

どうすれば性別役割分担意識による生きづらさが解消されるかについて、「家庭と仕事を両立しやすい環境」が61.9%と最も高く、次いで「性別に関係なく、自分の能力や個性を最大限に発揮できる社会を目指す意識づくり」が57.5%、「男性がすべき、女性がすべき」といった性別役割分担意識に基づく慣習やしきたりの見直し」が53.2%となっている。

年代別でみると、「家庭と仕事を両立しやすい環境」は30歳代以下で高く、「性別に関係なく、自分の能力や個性を最大限に発揮できる社会を目指す意識づくり」は60歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「家庭と仕事を両立しやすい環境」は、男性の30歳代、女性の20～30歳代で高く、「性別に関係なく、自分の能力や個性を最大限に発揮できる社会を目指す意識づくり」は男性の60歳代、女性の20歳代、70歳代以上で高く、「男性がすべき、女性がすべき」といった性別役割分担意識に基づく慣習やしきたりの見直し」「家事や育児を家庭内で分担し、役割分担を固定化しないこと」は女性の60歳代以上で高くなっている。

図37 性別役割分担意識による生きづらさの解消 (n=1,596)

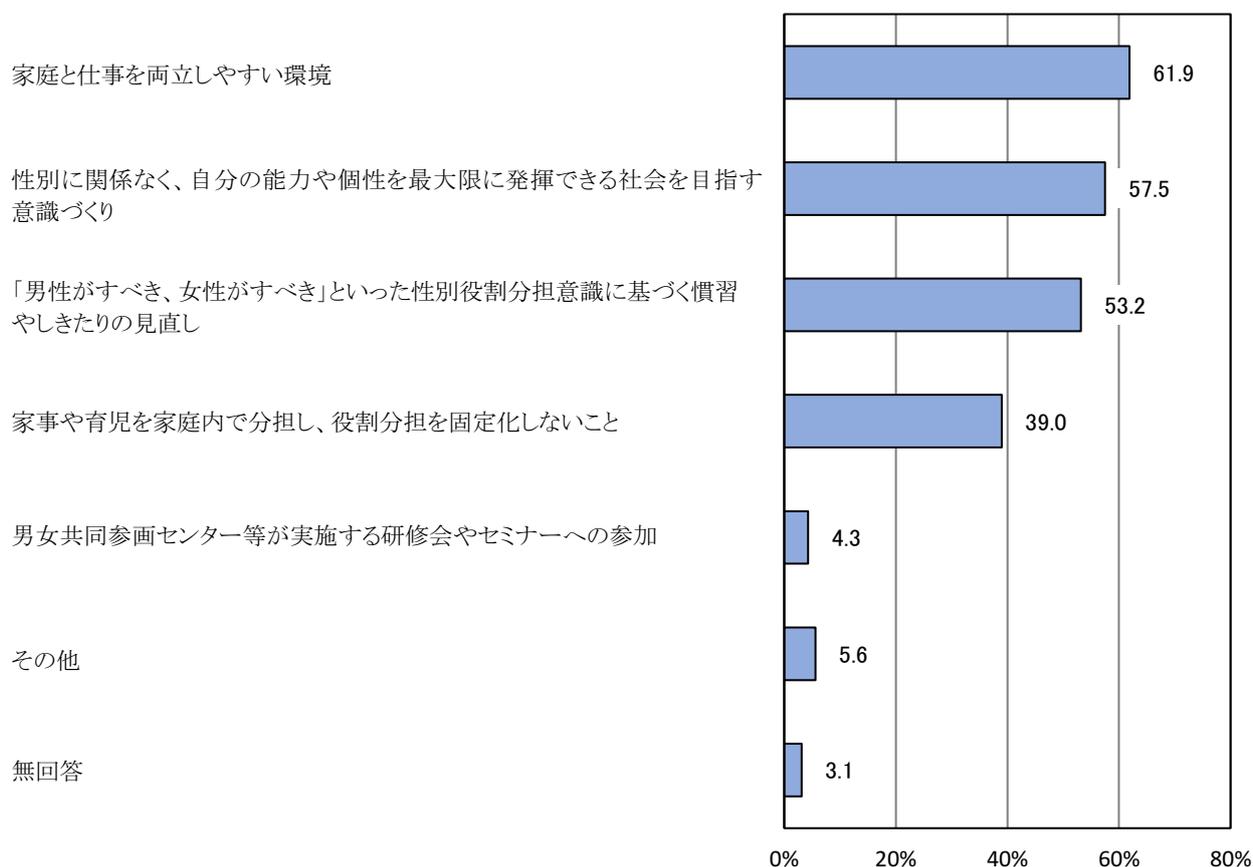
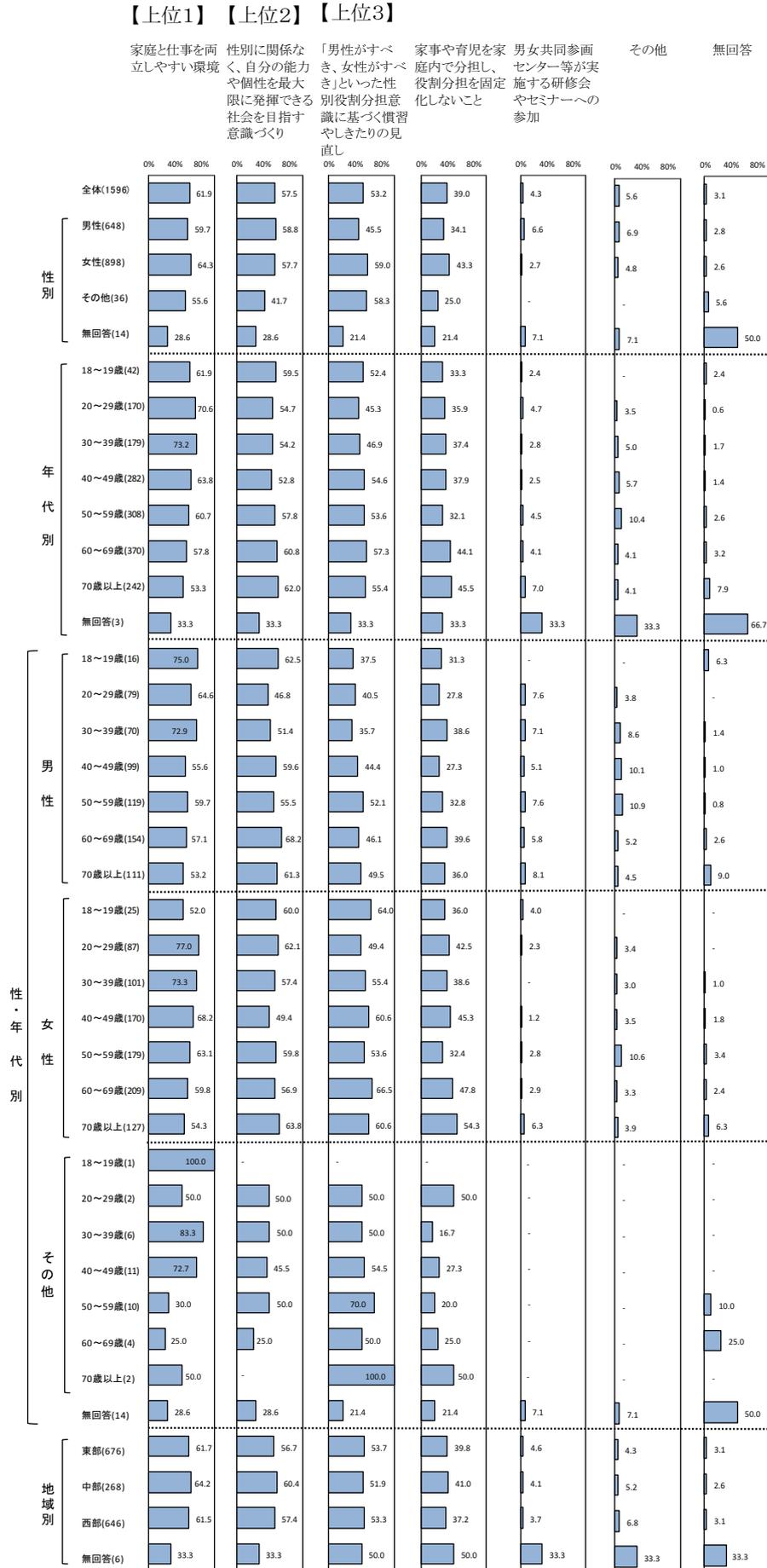


図 38 性別役割分担意識による生きづらさの解消(性別・年代別・地域別)



【自由記載】

多くの方々からたくさんのご意見をいただきましたので、一部を紹介いたします。

問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(選択肢 13「その他」への記載)

家族の健康・物価 ◆(70 歳以上 男性 中部)
商店の充実、交通機関の充実、エンタメイベントの充実 ◆(40～49 歳 その他・回答したくない 東部)
県外とのアクセス ◆(50～59 歳 男性 東部)
災害がひどくならない ◆(50～59 歳 女性 中部)
文化芸術が充実しているか ◆(60～69 歳 女性 東部)
家事育児の状況 ◆(50～59 歳 女性 西部)

問8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思えますか。
(選択肢8「その他」への記載)

小中学校など低年齢時からの教育 ◆(30～39 歳 男性 東部)
退職後の男性の家事や介護への積極的参画を促す取り組み ◆(60～69 歳 女性 東部)
家事や育児、介護のための休暇をとった場合の人員の補充 ◆(30～39 歳 男性 西部)
育休や介護休暇を取得しても、給与や手当が変わらないこと。また、昇任が遅れないこと。 ◆(30～39 歳 女性 東部)
ワークライフバランスを可能にするだけの給与 ◆(30～39 歳 女性 中部)

問9 男女参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。
(選択肢 10「その他」への記載)

女性が経済的に自立できるための教育機会の充実、支援 ◆(60～69 歳 女性 東部)
社会的立場や地位において、男女間に差があることはおかしいことであるということが、当たり前の認識になるような啓発活動等 ◆(30～39 歳 女性 西部)

給与の補填(そのような体制をしている企業への金銭的補助→職員への金銭的サポート) ◆(50～59 歳 男性 西部)
夫婦の収入差異の是正(どちらが休んでも育児、介護等にかかる費用をまかなえる状態) ◆(30～39 歳 - 西部)
育休産休取得者がいる職場への支援 ◆(40～49 歳 女性 西部)
既に十分実現できている。必要以上の行政介入は不要。 ◆(60～69 歳 男性 西部)

問 12 ご自身の中にある性別役割分担意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたものだと思いますか。
(選択肢6「その他」への記載)

親類 ◆(50～59 歳 女性 東部)
自治会役員 ◆(50～59 歳 男性 西部)
育った環境と自身の経験 ◆(50～59 歳 女性 中部)
日本の社会的伝統 ◆(50～59 歳 男性 東部)
地域社会 ◆(50～59 歳 男性 東部)

問 14 性別役割分担意識による生きづらさの内容

家庭内、職場内における待遇の差、男女差があけすけな業務分担 ◆(20～29 歳 女性 東部)
女の子だから、家事ができないといけない、手伝いをしなさいなどと幼少期に言われていた。当時幼いながら、なぜ兄・弟はしなくてもいいのに、自分ばかり?とっていた。その意識を改めないといけないと思う。 ◆(30～39 歳 女性 西部)
妊娠、出産で仕事をやめないといけなくなった。正社員として働きたいが育児・介護等考えると非正規の働き方になる。 ◆(50～59 歳 女性 西部)
男性で育休をとりづらい。(家計的にも、職場の雰囲気的にも) ◆(40～49 歳 男性 東部)
男性がリーダーシップをとるべきであるという考え方がありそれによって悩まされた。 ◆(70 歳以上 男性 西部)

問 15 どうすれば性別役割分担意識による生きづらさ(「暮らしづらさ」、「働きづらさ」、「仕事と家庭の両立しづらさ」など)が解消されると思いますか。(選択肢6「その他」への記載)

<p>家庭・学校(子供の時から)での教育方針で、時間をかけて実施するしかないと思われます。</p> <p>◆(70歳以上 男性 中部)</p>
<p>営業だから、帰宅が遅くなるなど、職種によっての通勤時間の違い、子供がいる家庭、看護が必要な家庭など様々なので、家庭と仕事が両立できるようなバランスが取れるよう、企業側の配慮があるとよい。</p> <p>◆(30～39歳 女性 西部)</p>
<p>キャリアが一時中断されても、復職しやすい環境。</p> <p>◆(20～29歳 女性 西部)</p>
<p>学校教育から、男性もあたり前に家事・育児をすることの教育推進。</p> <p>◆(50～59歳 女性 東部)</p>
<p>親の姿を見て子は育つので、夫婦で家事や育児をする姿を見せておけば、子供は自然にそれが当たり前で育つ。どちらがメインで働くにしても、家事は共同で行うことが大事だと思う。</p> <p>◆(50～59歳 女性 西部)</p>

自由記載欄(「ご意見・ご要望があれば自由にお聞かせください」への記載)

<p>一般の人に、県のセミナーに来てくださいといっても、そもそも情報が、必要な人のところに届かない。認識を変えてほしい人に限って、自分には必要ないと思っている…ということも多いと思う。もっとハードルが低い、もしくは参加するメリットがある(QUOカードあげますとか)じゃないと、なかなか啓発にならないのでは？</p> <p>◆(30～39歳 女性 東部)</p>
<p>政策を実施されるにあたり、具体的な目標値(短・中・長期)が分からない。そのため検証する際に判断材料がない。</p> <p>◆(60～69歳 男性 東部)</p>
<p>これから、少子化やDX化で窓口や電話での対応がますます少なくなる。頼りはホームページになる。県のホームページの検索のしにくさ、リンク先の質量不足、イベント告知内容の貧弱さ、施策の噛み砕いた説明不足を解消してほしい。</p> <p>◆(50～59歳 女性 西部)</p>
<p>私は平日残業が多く帰宅が遅くなります。夫はシフト制の勤務のため平日家に居ることが多いです。そのため小学生の子供の世話や家事は夫がやっています。土日は私がやります。夫も私もそれが普通の事としています。男女共同参画という言葉をわざわざ使わなくてもそれが普通の世の中になればよいと思います。</p> <p>◆(40～49歳 女性 東部)</p>
<p>性別による線引き(管理職女性何割等)とかを無くしてほしい。県や市でも訴えているが、反対に固定的性別役割分担意識になっている。単純にマネジメント能力で判断すれば良い。県民や市民の為になっておらず、損をする職員も増えていると感じる。</p> <p>◆(30～39歳 男性 東部)</p>

必要な能力や経験を有する人間の中から選ばれるべきであり、そこに男女の差を作るべきではないと思います。管理職や政策決定の場に女性が少ないのは、女性だから登用率を意図的に引き下げられているわけではなく女性が家事や育児に時間を割かれ、仕事に注力できる環境ではないからだと感じます。対処療法のように「女性を管理職に！」ではなく、管理職を担える人材の育成や、環境を構築して、段階を踏んで男女の比率を縮めていくべき。

◆(40～49歳 男性 東部)

医療・福祉の仕事をしています。一般サラリーマンと比較すると給料が少ないです。有給休暇も取りづらく、志が揺らいでしまいます。診療報酬、介護報酬に縛られて、職員の賃上げすらできない状況です。処遇改善などの施策はありますが、その場しのぎ感が否めません。結局ボーナスカットで収入はマイナスです。こんな状況で介護分野など、人材が確保できるのでしょうか…？

◆(30～39歳 男性 西部)

住みやすい、働きやすい環境であってほしいです。物価高の中で、給料が安く、生活に困難を感じている(皆がそう感じていると思います)。他の県では米の支給(サービス)だったり、何かしら県でされているので鳥取県もしてもらえるとありがたい。後、子育て支援に力を入れるだけでなく、国民みんなが安心して気もちよく生活できるように力を入れて取り組んでほしい。

◆(40～49歳 女性 東部)

無職や引きこもりの社会復帰に対する取り組みを強化してもらいたい。

◆(30～39歳 女性 中部)

出産の数を増やすには女性の社会復帰や働き方、社会全体の子育てに対する意識以上の形が必要だと思います。社会へお金を回すための政策や、住んでいる人が鳥取で良かった、少しでも豊かな思いが生まれるような取り組みをしてほしいです。外からどう人を呼ぶかより、内の人をどう豊かにするかと考えて、その先にある魅力を人に国民に伝わってほしいと思います。

◆(20～29歳 男性 東部)

県全体で保育士不足が極めて重要な問題だと思っています。自治体は保育士募集をしていますけれどもそもそも応募がないということが多々あると聞きます。処遇改善について県全体でもっと取り組み待機児童の解消に努めていただきたいです。

◆(30～39歳 女性 中部)

産後ケアの宿泊型は2泊3日しか使えず、2泊3日で産後の体は回復しない。核家族も増えている中、時代に遅れている。身近に頼れる人は当たり前にはいない。産後ケア施設が限られており、市町村で利用の取り合いになっており、利用したい時に利用出来ない。

◆(20～29歳 女性 中部)

子育ては親がするものという考え方から、親が抱え込まず支援を活用して子育てするに変わってきている事は、良いと思いますが、根っこには、親が責任を持って子どもと向き合うということが大切だと思っています。子育ては大変なこともあります、楽しく幸せな事がたくさんあります。でも、子育ては大変なものだから、保育園にお任せしたら良いという考えも広がってきてしまっているのを感じ、果たして、子どもにとってどうなのか疑問に思っています。男女の差というより、親が子どもと一緒に過ごす時間ももっと取れ、子どもたちの心が満たされる世の中になると良いと思っています。

◆(40～49歳 女性 東部)

<p>学生なので県内の学校に通っているのですが電車で 1 時間ほどかかります。時刻表を見る度しみじみ鳥取県は交通インフラの整備がなっていないと思うことは多々あります。ですが人口が少ない上、山陰線は赤字続きで簡単に増便するのが苦しい状態なのもわかっています。でも県自体は子育て支援や育児環境の整備等、人口対策に力を注いでいるのも学生ながら伝わってきます。県立美術館も建てられ中部もこれから賑やかになってくれたら変わってくるかもしれません。いつになるかわからないですがもう少し発展した鳥取で暮らしたいと思っています。</p> <p>◆(18～19 歳 女性 中部)</p>
<p>20 代前半に仕事で鳥取県に赴任した後、主要都市で生活し、定年前に帰って来ましたが、子供達の教育及び就職等については、都会の都市圏の方が充実していました。鳥取の良い点は、自然が豊かで、食べ物が豊富で水道水が美味しいことです。コンビニ、スーパー等が充実して、昔と比べると、とても良い環境になったと思います。ただ、移動手段については、車がないと困り、人数分の自動車を取得しなければならず、ガソリン代、維持費、税金等の負担が大きく、何らかの対策を願います。</p> <p>◆(60～69 歳 男性 西部)</p>
<p>年配者が多い割に、買い物も通院も歩いて通う事が出来にくい。例えば、地元のバスが無くなった事で移動手段を無くして困っている人がたくさんいる。タクシーもなかなかつかまらない。免許を返納した後でも安心して出かけられる社会が望ましい。</p> <p>◆(60～69 歳 女性 西部)</p>
<p>空き家、空き地、耕作放棄地が増えつつあり、竹ヤブや山林化した地が近隣に多く、害虫の発生など環境悪化を日々感じている。対策や相談が出来たらと思います。所有している方や、やむなく相続されて困っておられる方も多いと思います。環境、景観も損なう問題に私自身も非常に困っている状況です。解決できる道筋が欲しいです。</p> <p>◆(50～59 歳 男性 西部)</p>
<p>鳥取県は田舎で人口の少ない県ですが、まだまだ知られていない魅力はあると思います。県民が思っているも、それを広げたり、実行する力は足りません。そこは行政の方の力が重要だと思います。もっと鳥取県を盛り上げて下さい。このままでは、さらに人口が減ってしまうことになるかもしれません。</p> <p>◆(30～39 歳 男性 西部)</p>
<p>年収 400 万以上かせげる事務系(文系女子が憧れる仕事)企業が誘致できないと、若年女性が都会から帰ってこないと思う。</p> <p>◆(40～49 歳 女性 東部)</p>
<p>鳥取駅から県庁に続く商店街が閉まっていて活用されていないのが残念でなりません。(閉まった店の上に、人が住んでいるから活用できないんですか?)飲食街化するとか、やはり若い人がもっと集える映画館(老朽化の為)カフェなどの整備を早急に進めていって欲しいです。映画を見る為、日吉津のイオンまで行っているのが現状です。(中・高生の子供も達が見たい映画が鳥取にはほとんどないと言っている)</p> <p>◆(50～59 歳 女性 東部)</p>
<p>若者が鳥取県を出て戻ってこない理由の一つとして、若者が遊べるところが少ないと思います。遊べるところをもう少し増やして欲しいです。あとは、洋服を買うところもなく私自身も県外行った時とかに買ったりするので若者が好きなブランドがあるといいなと思います。また、流行りの食べ物だったりそういったものが早くはいつてくると嬉しいなと思います。</p> <p>◆(20～29 歳 女性 西部)</p>

同じ年に入社しても 給与にパートナーとの差がある。能力と言われれば、男で力仕事も出来るという点での差か？必然的に家計での主たる収入は男性に傾き女性は家庭内へと追いこまれるような気がする。収入で男女の差が無ければいいのに。

◆(40～49 歳 男性 西部)

これから、もっと農業する人や野外で働く人が減ると思う。若い人が働きたいと思う取り組みや支援があれば良いと思います。

◆(40～49 歳 女性 東部)

小中高生向けの交通安全指導、交通ルール啓発を充実して欲しいです。未だに携帯をいじりながら自転車を運転する姿を見るし、どんなに車が交通ルールを守って運転していても、事故が起これば車が悪くなる。歩行者、自転車、車お互いがルールを守った上で成り立つ安全だと思います。警察の方々にはぜひ頑張って頂きたいです。あと若者が鳥取県に帰って来たくなるような遊戯施設が無いし、交通も車に頼るしかない。バスなどの交通インフラ、お年寄りが免許返納しても困らないような対策を考えて頂きたいです。

◆(50～59 歳 女性 中部)

観光客を呼び込む材料はあるので、もっと積極的にアピールしていくべきだと思う。アニメの聖地にもなっているため、アピールが少ないのは勿体ない。もっとイベントなどを開催し、旅行先に選んで貰えるようにすればいいと思う。SNS が普及しているため、どのようなイベントが盛り上がるのか、何をしたら魅力がアピールできるのか参考にし SNS で発信していけば若い層に来てもらえそうだと思う。また、交通機関があまりにも少なく不便に感じている。高齢者も免許を返納した後移動手段に困ると思うので発展させていくべき(観光客も移動手段に困るのでは) ◆(20～29 歳 女性 西部)

「鳥取県の政策に関する県民意識調査」に ご協力をお願いします

県では、都会にはない鳥取県の強みを活かし、県民の皆様とともに様々な地方創生の取組を進めています。

これからも、県民の皆様が住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう、本県の状況などについて、皆様の率直なご意見をお伺いし、今後の県政に活かしていきたいと思っております。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますようよろしくお願いいたします。

令和7年6月26日

- この調査は鳥取県が行う「鳥取県の政策に関する県民意識調査」（今年で10回目）です。
- この調査は、本調査票にご記入のうえ郵送いただくか、パソコンやスマートフォンでインターネットにより回答していただくことも可能です。

インターネットによる回答方法については、調査票の9ページをご覧ください。

- 調査をお願いする方の選定にあたりましては、住民基本台帳法に基づき各市町村へ閲覧を依頼したうえ、県内在住の18歳以上の方から3,000人を各市町村の住民基本台帳より無作為に抽出させていただきました。抽出した個人情報、個人情報保護法に基づき適正に管理します。
- 調査票は無記名になっていますので、お名前の記入は不要です。
- ご回答いただいた内容は、そのまま統計的に集計・分析するため、個人が特定されたり、個々の回答内容が公表されることはありません。
- 調査票は、封筒のあて名の方ご本人がお答えください。ただし、ご本人の回答が難しい場合は、ご家族の方など代わりの方（18歳以上）がお答えいただいて差し支えありません。
- ご記入いただいた調査票は、**同封の返信封筒に入れて 令和7年7月16日（水）までに投函（切手不要）**してください。

この調査についてご不明な点がございましたら、下記問合せ先までご連絡ください。

【問合せ先】

鳥取県地域社会振興部 県民課
〒680-8570 鳥取市東町一丁目 220
電話：0857-26-7025、7026
ファクシミリ：0857-26-8112
電子メール：kenmin@pref.tottori.lg.jp



目 次

	ページ
I 鳥取県の住みやすさについて（問1～5）	1
II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について（問6）	2
1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる	2
2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む	3
3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ	4
4 男女共同参画社会づくり（問7～9）	5
III 重点施策への関心・認識 性別に関するアンコンシャス・バイアスについて （問10～15）	6
IV 回答者の情報（問16～19）	8
V 自由記載欄	8
～パソコン、スマートフォンでインターネット回答をされる方へ～ インターネット回答のご案内	9

Ⅱ 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

【問6】鳥取県が実施している施策等について、あなたの満足度をお聞きしますので、【評価の基準】を参考にそれぞれ5段階で回答をお願いします（各項目の1～5のいずれかの数字に○をしてください。）
また、テーマごとに今後の優先度（重要度）が高いと思われる施策等について3つずつお選びください。

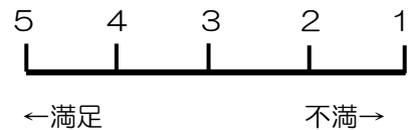
【評価の基準】



1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

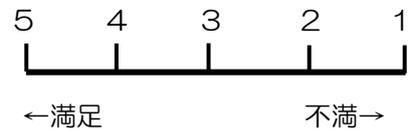
① **豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組**

豊かな自然、鉄道、まんが、温泉地等の魅力あるコンテンツを活かしたキャンペーンの展開、観光地を結ぶ交通環境の充実など



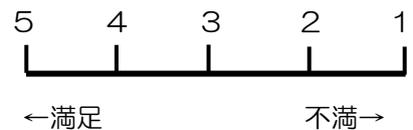
② **外国人観光客や国際交流を拡大する取組**

国際航空便・航路の運航促進、海外メディアやSNS等を通じた魅力発信、海外の友好地域との国際交流の推進など



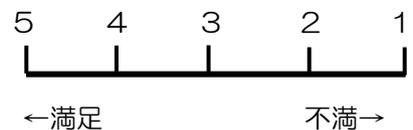
③ **文化・アートのまちづくりの取組**

地域の伝統芸能の継承や文化芸術に親しむ機会の提供、アートを活用した地域づくりや交流、県立美術館の整備など



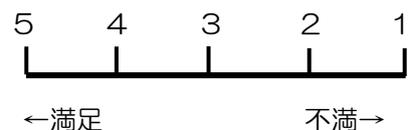
④ **スポーツ活動の振興や交流を拓げる取組**

大規模スポーツ大会・国際大会のキャンプ誘致やホストタウン交流の推進、障がい者スポーツや生涯スポーツ推進など



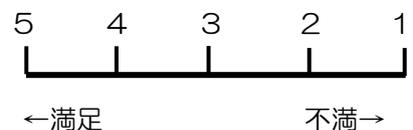
⑤ **強い農林水産業で食の魅力を発信する取組**

デジタル技術による生産力強化、担い手育成の推進、県産食材のブランド化の推進、国内外への情報発信など



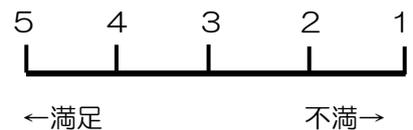
⑥ **地球規模での環境課題への対応**

省エネ住宅の普及啓発促進、省エネ・再エネ推進、プラスチックごみの削減、食品ロスの削減、リサイクルの推進など



⑦ **生物多様性・自然環境保全の取組**

希少野生動物の保全や外来種防除、緑化活動の推進、美しい星空環境の維持、里山整備や森林体験・保全活動等への支援など



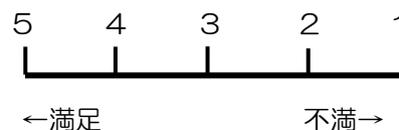
上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

【 】【 】【 】

2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

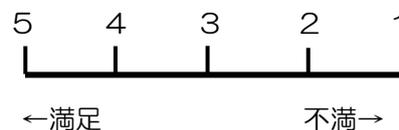
① 日本一子育てしやすい「シン・子育て王国」の推進

出会い・結婚支援、産後ケアの充実、不妊治療への支援、子どもの医療費無償化、保育環境・放課後児童クラブ等の充実、SNS等を活用した子どもの意見募集、男性の育児休業取得促進、医療的ケア児等のサポートの充実、ヤングケアラー相談支援など



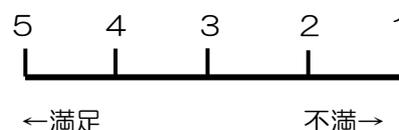
② 智をひらく豊かな学びの取組

情報社会・グローバル社会に対応した教育、キャリア教育の推進、特別支援教育や不登校への支援、特色ある学校づくり、図書館・博物館機能の充実など



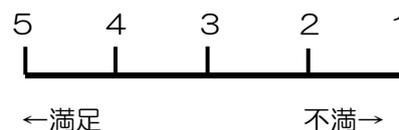
③ 若い力が輝く協働のまちづくりの取組

IJUターン（注1）・定住の促進、若者の県内就職支援、SNSを活用した地域づくり情報発信、若者の意見を県政に届ける仕組みの強化など



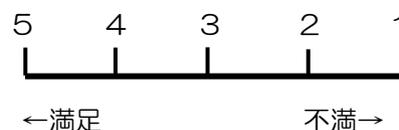
④ 危機を乗り越え、地域を元気にする取組

物価高騰に係る負担軽減支援、賃金上げを行う事業者に対する支援、令和5年台風第7号による被災地の復旧や住民生活・事業活動の再建支援など



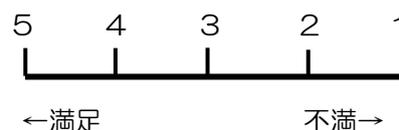
⑤ 中山間地の生活や社会機能を守る取組

買い物環境や医療環境等の維持、持続可能な地域交通インフラの確立、空き家対策、地域コミュニティの活性化など



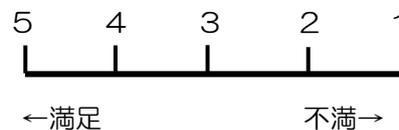
⑥ 地域の健康と安心を守る取組

がん・生活習慣病・更年期障がいへの対応、遠隔医療の普及、効率的な医療提供体制の確立、医療・介護人材の確保と育成、自死対策の推進、フレイル対策（注2）等による健康寿命延伸など



⑦ 誰もが尊重される共生社会の取組

様々な困難を抱える人に向けた相談体制の充実、障がい者支援、ジェンダー平等、性的少数者・外国人支援、犯罪被害者支援、情報モラル教育・啓発の強化、人権相談支援体制の充実など



上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

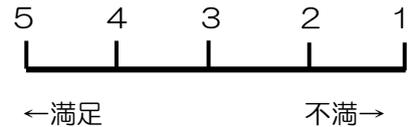
【 】【 】【 】

注1：IJUターンのうち、Iターンとは生まれ育った場所で働いたのち出身地ではない場所へ移住して働くこと、Jターンとは地方出身者が一度都会で就職し他の地方に移住・転職すること、Uターンとは生まれ育った場所以外で働いたのち再び生まれた故郷に戻り働くこと。
注2：フレイルとは、年齢とともに心身の機能が衰え始めている状態のこと。

3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

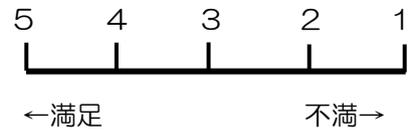
① 移住定住の促進

「とっとり暮らし」の情報発信や市町村支援の拡充、リモートワーク（注3）など新しい働き方に対応した移住等の推進、移住者の地域定着支援など



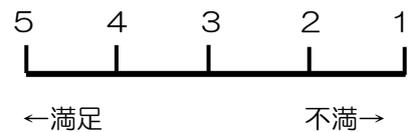
② 関係人口の創出を進める取組

家族向けのワーケーション（注4）の推進や都市部の親子を対象とした幼稚園等留学の受け入れ、鳥取県のファンを開拓するメンバーシップの登録者数増など



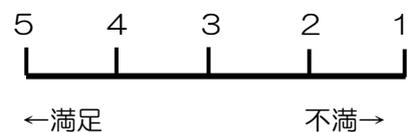
③ 県内産業の持続的発展をめざす取組

生産性向上や付加価値の拡大に対する支援、海外展開支援対策の強化、新産業の創出、事業承継の促進、建設・運輸業界の労働環境改善・人材確保など



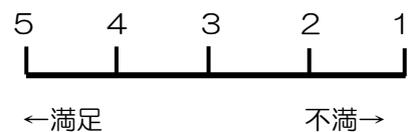
④ 県内産業を支える人づくりの推進

企業の持続的な発展や経営課題を解決する優れた産業人材の育成、就職支援の充実や企業とのマッチング、外国人や障がい者を含む多様な人材の活用など



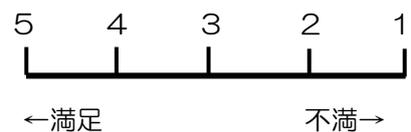
⑤ 防災・減災対策の強化

的確な避難行動の推進、デジタルを活用した災害情報の収集・伝達体制強化、治水対策の強化や危険木の計画的な事前伐採、耐震化の働きかけ、避難所環境の整備、原子力防災など



⑥ 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組

防犯・交通事故防止に係る意識の向上や安全対策の推進、消費者被害の防止、地域と連携した動物愛護・管理の取組推進など



上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

【 】【 】【 】



注3：情報通信技術を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のこと（在宅勤務、サテライトオフィス勤務等）。

注4：「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」から作られた造語。普段働いている職場を離れて、リゾート地などで休暇を取りながら遠隔勤務を行うこと。

4 男女共同参画社会づくり

【問7】男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目（設問）についてどう思われますか。
1～8の設問ごとに表中の「選択」の中から1つ選んで○を記入してください。

設 問	選 択				
	そう 思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	そう思 わない	わから ない
1 現実として家事が女性の役割となっていると思う					
2 現実として子育てが女性の役割となっていると思う					
3 現実として介護が女性の役割となっていると思う					
4 学校教育の場において男女差は無いと思う					
5 就職の機会に男女差は無いと思う					
6 就労環境、待遇に男女差は無いと思う					
7 社会的立場や地位は男女とも平等だと思う					
8 性別に関係なく個人が輝ける社会になっていると思う					

【問8】男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思えますか。該当する数字に○をしてください。（○は3つまで）

- 1 男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成
- 2 男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発
- 3 ワーク・ライフ・バランス(注5)を実現できる労働環境整備への支援
- 4 家族間での家事・育児の分担を見直すような普及啓発（研修会の開催、家事分担手帳の配布等）
- 5 男性が参加しやすい家事・育児・介護の手法研修（講習）会の開催
- 6 家事・育児・介護に積極的に参画している男性の事例、男性の家庭参画によるメリット等の発信
- 7 性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発
- 8 その他（下記に具体的にお書きください）

{ }

【問9】男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。該当する数字に○をしてください。（○は3つまで）

- 1 固定的性別役割分担意識(注6)の解消など男女共同参画の視点に立った教育や学習機会等の充実
- 2 男女共同参画に関する相談の場の拡充及び周知
- 3 性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援
- 4 保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備
- 5 長時間労働の縮減やテレワーク制度の普及など、働き方の見直しの啓発
- 6 子育てや介護等で離職した人の再就職支援
- 7 県の審議会委員や管理職など、政策決定の場への女性の積極的な登用
- 8 民間企業・団体などにおいて管理職への女性の登用が進むような取組支援、登用の事例やメリットの発信
- 9 配偶者や交際相手等からの暴力を根絶するための取組推進
- 10 その他（下記に具体的にお書きください）

{ }

注5：ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは、だれもが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、さまざまな活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のこと。

注6：「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」というような性別に基づく固定的な役割分担意識のこと。

Ⅲ 重点施策への関心・認識



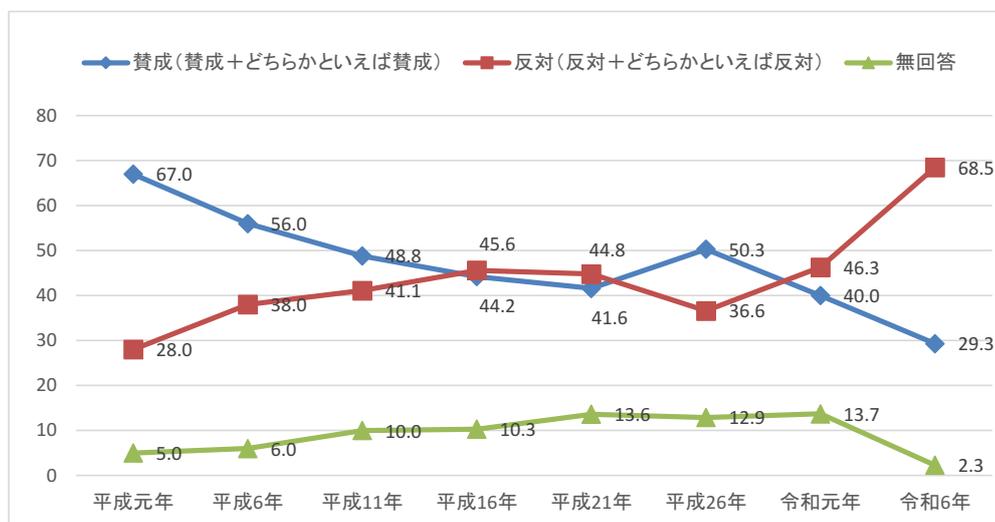
<性別に関するアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）について>

性別に関するアンコンシャス・バイアスや固定的な性別役割分担意識は、「働きづらさ」や「住みづらさ・暮らしづらさ」に繋がるなど、様々な弊害や影響を生み出すことがあります。

鳥取県では、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けて官民一体で取り組んできた結果、都道府県版ジェンダー・ギャップ指数での上位評価や女性管理職登用率の向上、男女共同参画に係る県民意識の変化などで一定の成果を上げてきたものの、家庭や地域、職場などでは性別役割分担意識がまだまだ残っているのが実情です。

誰もが働きやすく暮らしやすい社会づくりを進めていくため、令和7年4月1日に「男女協働未来創造本部」を設置し、男女協働による未来創造に向けて、アンコンシャス・バイアスへの気づきや性別役割分担意識の解消に向けた県民運動を展開していきます。地域や企業に出かけ、草の根的な対話や意見交換を行い、県民の皆様と一緒に運動を広げていきたいと考えていますので、ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

鳥取県における「男性は外で働き、女性は家庭を守る」という考え方に対する認識の経年比較



賛成・反対が長年きつ抗していましたが、今回の調査では「賛成」29.3%で過去最低を更新（前回40.0%）、「反対」68.5%で過去最高を大きく更新（前回46.3%）

【出典】
令和6年度男女共同参画県民意識調査

【問10】 次の項目（設問）についてどう思われますか。

1～5の設問ごとに表中の「選択」の中から1つ選んで○を記入してください。

設 問	選 択				
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない
1 家事・育児は、やはり女性が向いていると思う					
2 家を継ぐのは男性の方がよい					
3 育児休暇や育児短時間勤務などは、母親が取るべきだ					
4 男性はリーダー、女性はサポート役に向いている					
5 女性のリーダーが増えることは社会にとってよいことだ					

【性別役割分担意識について】

【問11】 ご自身の中に、「男だから」「女だから」といった性別による役割分担意識があると思いますか。

該当する数字に○をしてください。

（○は1つまで）

- 1 ある → 【問12】【問13】へお進みください
- 2 ない → 【問13】へお進みください
- 3 わからない → 【問13】へお進みください

【問12】(問11で「ある」と回答された方にお尋ねします)

ご自身の中にある性別役割分担意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたものだと思いますか。

該当する数字に○をしてください。

(○はいくつでも)

- 1 家族(親、きょうだい、パートナー)や友人・知人
- 2 学校
- 3 職場
- 4 新聞・雑誌、テレビ、本・マンガ
- 5 インターネット、SNS
- 6 その他(以下に具体的にお書きください)

()

【性別役割分担意識による生きづらさについて】

【問13】「男だから」「女だから」といった性別による生きづらさ(「暮らしづらさ」、「働きづらさ」、「仕事と家庭の両立しづらさ」など)を感じたことがありますか。

該当する数字に○をしてください。

(○は1つまで)

- 1 ある →【問14】【問15】へお進みください
- 2 ない →【問15】へお進みください
- 3 わからない →【問15】へお進みください

【問14】(問13で「ある」と回答された方にお尋ねします)

それはどんなできごとでしたか。以下に具体的にお書きください。

()

【問15】どうすれば性別役割分担意識による生きづらさ(「暮らしづらさ」、「働きづらさ」、「仕事と家庭の両立しづらさ」など)が解消されると思いますか。

該当する数字に○をしてください。

(○はいくつでも)

- 1 男女共同参画センター等が実施する研修会やセミナーへの参加
- 2 性別に関係なく、自分の能力や個性を最大限に発揮できる社会を目指す意識づくり
- 3 家庭と仕事を両立しやすい環境
- 4 家事や育児を家庭内で分担し、役割分担を固定化しないこと
- 5 「男性がすべき、女性がすべき」といった性別役割分担意識に基づく慣習やしきたりの見直し
- 6 その他(以下に具体的にお書きください)

()

IV 回答者の情報

あなたの年代や性別などをお答えください。該当する項目に○印をお願いします。
なお、この情報はアンケート集計以外には利用いたしません。

【問16】年代

- 1 18～19歳 2 20～29歳 3 30～39歳 4 40～49歳
5 50～59歳 6 60～69歳 7 70歳以上

【問17】性別

- 1 男性 2 女性 3 その他・回答したくない

【問18】お住まいの住所

- 1 鳥取市 2 米子市 3 倉吉市 4 境港市 5 岩美町
6 若桜町 7 智頭町 8 八頭町 9 三朝町 10 湯梨浜町
11 琴浦町 12 北栄町 13 日吉津村 14 大山町 15 南部町
16 伯耆町 17 日南町 18 日野町 19 江府町

【問19】職業

- 1 会社員（含 公務員） 2 自営業（含 家族従業者） 3 パート・アルバイト
4 学生 5 専業主婦・主夫 6 無職

V 自由記載欄

ご意見・ご要望があれば自由にお聞かせください。

以上で質問は終わりです。ご協力誠にありがとうございました。

◆記入もれがないか再度ご確認ください、同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函（切手不要）してください。なお、本調査の結果は10月中旬頃に鳥取県公式ウェブサイト「とりネット」に掲載予定です。

◆既にパソコン・スマートフォンによりインターネット回答をされた方は、この調査票へのご記入や郵便ポストへの投函は不要です。

この調査票を使用されず、インターネット回答をされる方は、次のページの案内をご覧ください。

～パソコン、スマートフォンでインターネット回答をされる方へ～

インターネット回答のご案内

このページは、パソコン、スマートフォンでインターネット回答をされる方へのご案内を掲載しています。

調査票にご記入いただき郵便ポストに投函される方は、インターネット回答は不要です。

<インターネット回答の手順>

インターネット回答ページは、鳥取県版電子申請システム(とっとり電子申請サービス)に設けています。
7月16日(水)までに回答していただきますようお願いします。

(1) インターネットで回答される方は、次のいずれかの方法でインターネット回答ページにアクセスしてください。

- 直接、次の URL を入力してアクセスする。

https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=16772

または

- 右の2次元コードを読み込んでアクセスする。



(2) 回答ページ(はじめに)の「調査票番号」入力欄に、以下の**6けたの数字**を入力してください。
※御回答いただいた方に再度回答依頼を送付しないために入力いただくもので、個人の回答内容と結びつけることはありません。

(3) 設問に沿って回答してください。

(4) 回答を途中で保存したい場合は、画面の一番下の「入力中のデータを保存する」ボタンをクリックして、データを一時保存してください。

(5) 回答が完了したら、「確認へ進む」ボタンをクリックし、内容を確認後に、「申込む」ボタンをクリックしてください。以上で回答の手続きは終了です。

～ご協力いただき誠にありがとうございました～

性別	I-1問「鳥取県に対して愛着や誇りを感じるか」				I-2問「今暮らしている地域の住みやすさ」					
	感じている	少し感じて いる	普通(どちら もいえない)	あまり感じて ない	感じている	少し感じて いる	普通(どちら もいえない)	あまり感じて ない		
全体(1586)	44.8	33.4	25.4	4.3	1.8	0.4	25.1	8.7	2.4	0.6
男性(846)	46.1	34.1	25.6	3.3	1.9	0.3	25.9	8.6	2.3	0.9
女性(740)	43.5	32.7	25.2	5.6	3.7	0.5	24.3	8.8	2.5	0.7
その他(14)	25.0	22.2	41.7	5.6	5.6	0.4	33.3	41.7	13.9	5.6
18～19歳(4)	35.7	7.1	35.7	7.1	7.1	7.1	21.4	14.3	14.3	7.1
18～19歳(42)	33.3	31.0	28.6	7.1	4.8	4.8	26.6	31.0	21.4	4.8
20～29歳(170)	40.6	29.4	23.5	4.1	2.4	2.4	28.8	35.9	22.4	10.0
30～39歳(179)	34.6	26.5	28.5	6.7	3.9	3.9	13.4	40.2	34.6	8.9
40～49歳(282)	45.7	25.5	22.7	3.9	2.1	2.1	17.4	44.7	24.1	10.6
50～59歳(308)	47.7	19.2	26.0	5.2	0.3	0.3	20.8	44.9	25.9	6.2
60～69歳(370)	48.1	19.5	27.6	3.8	0.8	0.8	18.2	47.1	23.1	8.3
70歳以上(242)	47.5	24.8	22.7	2.1	1.2	1.2	18.2	47.1	23.1	8.3
無回答(3)	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
18～19歳(16)	43.8	25.0	31.3	3.3	4.8	3.1	34.2	31.3	12.5	12.5
20～29歳(79)	41.8	31.6	21.5	5.1	2.1	2.1	28.1	34.2	24.1	10.1
30～39歳(70)	37.1	27.1	15.7	12.9	7.1	7.1	15.7	37.1	28.6	12.9
40～49歳(99)	42.4	26.3	24.2	5.1	2.0	2.0	17.2	34.3	27.3	3.0
50～59歳(118)	51.3	19.3	22.7	5.9	0.8	0.8	21.0	43.7	18.5	13.4
60～69歳(154)	52.6	20.8	20.1	4.5	1.3	1.3	22.1	46.1	25.3	5.8
70歳以上(111)	44.1	24.3	26.1	2.7	1.8	1.8	19.8	49.5	20.7	8.1
無回答(26)	28.0	36.0	24.0	12.0	4.6	4.6	20.0	32.0	24.0	16.0
20～29歳(87)	39.1	28.7	24.1	3.4	4.6	4.6	28.7	36.8	20.7	10.3
30～39歳(101)	34.7	25.7	35.6	2.0	2.0	2.0	11.9	44.8	36.6	5.9
40～49歳(170)	48.2	23.9	20.6	2.9	2.4	2.4	16.2	51.2	22.4	5.9
50～59歳(178)	46.4	19.6	27.3	4.5	0.6	1.1	16.8	50.3	24.6	5.0
60～69歳(238)	45.3	17.7	33.0	3.3	0.8	0.8	20.1	44.9	25.8	9.7
70歳以上(77)	52.0	23.2	100.0	1.6	1.6	1.6	17.3	43.7	25.6	7.9
18～19歳(2)	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0
20～29歳(6)	16.7	33.3	50.0	50.0	50.0	50.0	16.7	16.7	66.7	66.7
30～39歳(6)	36.4	9.1	45.5	9.1	9.1	9.1	27.3	27.3	27.3	27.3
40～49歳(11)	30.0	10.0	30.0	10.0	20.0	20.0	30.0	40.0	20.0	10.0
50～59歳(10)	30.0	10.0	30.0	10.0	20.0	20.0	30.0	40.0	20.0	10.0
60～69歳(4)	75.0	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
70歳以上(2)	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
無回答(4)	35.7	7.1	35.7	7.1	7.1	7.1	21.4	14.3	14.3	7.1
東部(676)	40.7	24.9	26.9	5.0	2.1	2.1	15.4	44.5	27.5	9.5
中部(288)	45.8	20.5	27.2	4.9	1.5	1.5	15.3	42.5	29.1	10.1
西部(646)	48.9	23.2	22.9	3.1	1.2	1.2	25.5	43.5	20.9	7.1
無回答(6)	16.7	16.7	33.3	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7

性別	I-1問「鳥取県内暮らしについて自然環境に満足しているか」				I-2問「鳥取県内暮らしについて生活するにあたり、公共設備に満足しているか」															
	満足している	少し満足している	普通(どちら もいえない)	満足していない	満足している	少し満足している	普通(どちら もいえない)	満足していない												
全体(1586)	90.4	8.2	1.2	0.3	56.8	38.8	3.9	0.6	50.1	40.8	8.3	0.8	9.8	28.1	20.8	62.3	16.1	0.8		
男性(846)	89.4	8.3	1.7	0.6	55.9	39.3	4.8	1.1	52.6	39.6	7.9	0.8	9.8	27.6	22.2	14.4	20.5	61.9	16.4	1.2
女性(740)	91.2	8.0	0.8	0.8	58.7	38.1	3.0	0.2	49.2	42.2	8.0	0.6	10.5	29.5	11.2	62.8	15.6	15.6	0.4	
その他(14)	82.9	13.3	7.1	2.9	26.6	64.3	7.1	2.9	50.1	40.8	8.3	0.8	14.3	28.6	50.0	7.1	28.6	50.0	21.4	2.9
18～19歳(4)	92.9	7.1	24.1	2.4	66.7	31.0	2.4	2.4	66.7	31.0	2.4	2.4	4.8	9.5	85.7	7.1	33.3	59.5	7.1	7.1
18～19歳(42)	90.6	7.6	1.8	0.8	63.5	34.1	2.4	2.4	51.8	40.0	8.2	8.2	10.0	28.8	61.2	23.5	65.9	10.6	10.6	10.6
20～29歳(170)	90.5	8.4	1.1	0.3	52.5	40.2	7.3	0.4	45.0	44.7	12.3	0.4	7.8	24.0	69.2	20.7	62.6	16.8	16.8	16.8
30～39歳(179)	91.5	7.4	1.1	0.3	52.1	42.9	4.6	0.4	44.3	46.1	9.2	0.4	7.8	24.5	67.4	0.4	16.3	64.9	18.8	18.8
40～49歳(282)	90.9	7.4	1.1	0.3	52.1	42.9	4.6	0.4	44.3	46.1	9.2	0.4	7.8	24.5	67.4	0.4	16.3	64.9	18.8	18.8
50～59歳(308)	89.7	8.6	1.4	0.3	57.6	39.2	2.7	0.3	54.1	38.6	6.2	1.1	11.1	28.6	59.7	0.5	21.1	61.4	16.8	16.8
60～69歳(370)	88.8	9.5	0.8	0.8	59.3	37.2	2.9	1.7	55.7	35.5	9.1	1.7	14.9	35.5	47.5	2.1	21.5	58.3	18.2	2.1
70歳以上(242)	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3
無回答(3)	100.0	0.0	0.0	0.0	66.8	31.3	0.0	0.0	66.8	31.3	0.0	0.0	6.3	6.3	87.5	43.8	50.0	6.3	6.3	6.3
18～19歳(16)	87.3	10.1	2.5	0.1	60.8	35.4	3.8	0.6	54.4	40.5	5.1	1.2	12.7	25.3	52.0	24.1	69.6	6.3	6.3	6.3
20～29歳(79)	87.3	10.1	2.5	0.1	60.8	35.4	3.8	0.6	54.4	40.5	5.1	1.2	12.7	25.3	52.0	24.1	69.6	6.3	6.3	6.3
30～39歳(70)	88.9	9.1	1.4	0.6	47.5	45.5	7.1	0.6	43.4	48.5	8.1	0.6	6.4	23.2	70.4	8.7	15.7	62.6	22.2	22.2
40～49歳(99)	91.6	5.9	1.7	0.8	57.1	34.5	6.7	1.7	57.1	31.1	10.1	1.7	8.1	23.5	66.4	1.7	18.5	63.9	16.0	1.7
50～59歳(118)	88.3	8.4	2.6	0.6	57.8	39.0	2.6	0.6	56.4	35.7	5.2	0.6	9.1	31.8	57.8	1.3	20.1	62.3	16.2	1.3
60～69歳(154)	87.4	9.9	0.9	1.8	56.8	36.9	2.7	3.6	52.3	33.3	11.7	2.7	9.9	38.7	46.8	4.5	20.7	55.9	19.8	3.6
70歳以上(111)	90.0	8.0	0.8	0.8	69.0	29.0	4.0	0.0	66.0	29.0	4.0	0.0	4.0	8.0	88.0	28.0	64.0	8.0	8.0	8.0
18～19歳(2)	90.0	8.0	0.8	0.8	69.0	29.0	4.0	0.0	66.0	29.0	4.0	0.0	4.0	8.0	88.0	28.0	64.0	8.0	8.0	8.0
20～29歳(6)	90.0	8.0	0.8	0.8	69.0	29.0	4.0	0.0	66.0	29.0	4.0	0.0	4.0	8.0	88.0	28.0	64.0	8.0	8.0	8.0
30～39歳(6)	90.0	8.0	0.8	0.8	69.0	29.0	4.0	0.0	66.0	29.0	4.0	0.0	4.0	8.0	88.0	28.0	64.0	8.0	8.0	8.0
40～49歳(11)	94.1	4.7	1.2	0.0	56.5	41.0	2.9	0.6	45.3	44.1	10.0	0.6	8.8	26.5	64.7	16.2	66.5	15.3	15.3	15.3
50～59歳(179)	89.4	9.5	1.1	0.5	55.9	41.3	2.2	0.6	44.7	48.6	6.1	0.6	7.3	33.5	58.7	0.6	22.3	62.6	13.4	1.7
60～69歳(209)	90.4	9.1	0.5	0.5	59.4	39.2	2.4	2.4	51.2	40.7	6.7	1.4	12.9	26.3	60.8	21.5	61.2	61.2	17.3	0.5
70歳以上(77)	90.6	8.7	0.8	0.8	60.6	36.2	3.1	0.6	36.6	6.3	19.7	32.3	46.0	22.0	60.6	22.0	60.6	17.3	17.3	17.3
18～19歳(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
20～29歳(6)	100.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3
30～39歳(6)	100.0	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
40～49歳(11)	72.7	27.3	0.0	0.0	27.3	63.6	9.1	0.0	36.4	54.5	9.1	9.1	9.1	81.8	81.8	81.8	63.6	36.4	36.4	36.4
50～59歳(10)	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	40.0	10.0	0.0	30.0	60.0	10.0	10.0	10.0	40.0	50.0	20.0	20.0	50.0	30.0	30.0
60～69歳(4)	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	100.0	100.0	100.0	75.0	75.0	25.0	25.0	
70歳以上(2)	50.0	50.0	7.1	0.0	50.0	50.0	35.7	28.6	50.0	35.7	28.6	50.0	14.3	50.0	50.0	7.1	28.6	50.0	35.7	50.0
無回答(4)	91.3	7.4	0.9	0.4	53.8	40.8	4.1	0.9	47.0	42.5	9.5	1.2	9.3	25.6	64					

性別	1-1問3.無職期間の暮らしについて(自給自足の治安が良いと感じている)		1-1問3.無職期間の暮らしについて(子育て支援が充実している)		1-1問3.無職期間の暮らしについて(8階層や介護の体制が充実している)		1-1問3.無職期間の暮らしについて(子どもと教育環境が充実している)		1-1問3.無職期間の暮らしについて(近所やコミュニティが充実している)		1-1問3.無職期間の暮らしについて(近所やコミュニティが充実している)	
	そう思う	どちらとも言えない	そう思う	どちらとも言えない	そう思う	どちらとも言えない	そう思う	どちらとも言えない	そう思う	どちらとも言えない	そう思う	どちらとも言えない
全体(1990)	65.1	30.2	3.6	1.1	29.5	58.4	11.1	1.0	28.4	54.0	16.6	0.9
男性(948)	69.4	26.4	1.5	0.6	26.7	59.6	12.5	1.2	29.0	53.1	16.7	0.7
女性(80)	62.8	32.7	3.9	0.6	32.2	57.5	9.5	0.9	28.5	54.1	16.7	0.7
その他(38)	55.6	33.3	8.3	2.8	16.7	63.9	19.6	2.8	25.0	58.3	13.9	2.8
無回答(14)	35.7	35.7	21.4	7.1	21.4	50.0	28.6	-	7.1	78.6	14.3	-
18~19歳(42)	81.0	14.3	4.8	-	54.8	28.6	16.7	-	38.1	47.6	14.3	-
20~29歳(170)	70.0	28.3	1.2	-	30.6	59.4	10.0	0.6	31.2	57.6	11.2	-
30~39歳(170)	63.1	31.8	5.0	-	27.4	59.8	21.2	0.6	19.4	60.3	20.7	0.6
40~49歳(170)	62.8	31.8	4.6	-	31.6	55.3	12.9	0.4	20.7	57.0	22.3	0.4
50~59歳(170)	66.2	26.8	3.6	-	31.6	55.3	12.9	0.4	20.7	57.0	22.3	0.4
60~69歳(170)	65.4	30.5	2.4	1.6	30.0	61.4	7.6	1.1	20.0	63.4	13.2	1.4
70歳以上(242)	60.0	31.0	4.5	2.5	23.6	65.3	8.3	2.9	33.5	53.3	10.7	2.5
無回答(3)	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3	-	-	100.0	0.0	-	-
18~19歳(16)	81.3	12.5	6.3	-	56.3	31.3	12.5	6.3	56.3	31.3	12.5	6.3
20~29歳(78)	70.9	29.1	-	-	29.1	63.3	7.6	-	27.8	62.0	10.1	-
30~39歳(70)	66.7	28.6	5.7	-	24.3	48.6	25.7	1.4	21.4	54.3	24.3	1.4
40~49歳(99)	71.7	26.3	2.0	-	29.3	55.6	15.2	-	16.2	60.6	23.2	-
50~59歳(119)	69.7	27.7	0.8	1.7	26.9	60.5	10.9	1.7	26.1	47.9	24.4	1.7
60~69歳(144)	71.4	24.0	1.9	2.6	26.0	63.0	9.7	1.3	19.8	68.8	10.4	1.9
70歳以上(111)	64.0	31.6	4.0	3.6	20.7	63.8	10.8	2.7	34.2	31.4	34.8	3.6
無回答(3)	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3	-	-	100.0	0.0	-	-
20~29歳(63)	72.4	26.4	1.0	-	33.3	55.2	11.5	-	33.3	55.2	11.5	-
30~39歳(101)	59.4	36.6	4.0	-	30.7	51.5	17.8	-	18.8	59.4	21.8	-
40~49歳(170)	59.2	35.9	5.9	-	32.9	55.9	10.6	0.6	27.6	54.1	18.2	0.6
50~59歳(170)	64.2	28.5	5.6	1.7	31.8	59.2	8.4	0.6	21.2	61.5	15.1	2.2
60~69歳(209)	61.2	35.9	2.4	0.5	32.5	60.8	5.7	1.0	21.5	62.2	14.4	1.0
70歳以上(127)	61.4	34.6	3.1	0.8	26.8	64.6	5.5	3.1	33.9	54.3	10.2	1.6
18~19歳(1)	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-
20~29歳(2)	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0	-	-
30~39歳(6)	83.3	16.7	-	-	83.3	16.7	-	-	16.7	83.3	-	-
40~49歳(11)	63.8	36.4	-	-	27.3	45.5	27.3	-	27.3	45.5	27.3	-
50~59歳(10)	50.0	50.0	10.0	-	10.0	50.0	20.0	10.0	10.0	50.0	20.0	10.0
60~69歳(4)	75.0	25.0	-	-	75.0	25.0	-	-	75.0	25.0	-	-
70歳以上(2)	50.0	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-
無回答(14)	35.7	35.7	21.4	7.1	21.4	50.0	28.6	-	7.1	78.6	14.3	-
東区(76)	64.1	30.3	4.1	1.5	28.3	58.4	11.8	1.5	22.6	55.6	20.3	1.5
中央区(88)	68.4	29.5	4.1	-	34.0	55.2	10.8	0.4	25.0	59.7	14.6	0.7
南区(46)	65.8	30.2	2.9	1.1	29.1	59.6	10.4	0.9	34.4	53.9	11.1	0.6
無回答(6)	50.0	50.0	-	-	16.7	65.7	16.7	-	50.0	50.0	-	-

性別	1-1問4.無職期間の暮らしについて(自給自足の治安が良いと感じている)		1-1問4.無職期間の暮らしについて(子育て支援が充実している)		1-1問4.無職期間の暮らしについて(8階層や介護の体制が充実している)		1-1問4.無職期間の暮らしについて(子どもと教育環境が充実している)		1-1問4.無職期間の暮らしについて(近所やコミュニティが充実している)		1-1問4.無職期間の暮らしについて(近所やコミュニティが充実している)	
	そう思う	どちらとも言えない	そう思う	どちらとも言えない	そう思う	どちらとも言えない	そう思う	どちらとも言えない	そう思う	どちらとも言えない	そう思う	どちらとも言えない
全体(1990)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
男性(948)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
女性(80)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
その他(38)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
無回答(14)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
18~19歳(42)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
20~29歳(170)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
30~39歳(170)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
40~49歳(170)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
50~59歳(170)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
60~69歳(170)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
70歳以上(242)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
無回答(3)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
18~19歳(16)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
20~29歳(78)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
30~39歳(70)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
40~49歳(99)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
50~59歳(119)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
60~69歳(144)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
70歳以上(111)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
無回答(3)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
20~29歳(63)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
30~39歳(101)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
40~49歳(170)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
50~59歳(170)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
60~69歳(209)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
70歳以上(127)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
18~19歳(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~29歳(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30~39歳(6)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40~49歳(11)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50~59歳(10)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60~69歳(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
70歳以上(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答(14)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東区(76)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
中央区(88)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
南区(46)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9
無回答(6)	64.4	0.5	0.8	3.4	4.3	27.3	11.6	19.2	20.9	4.9	5.5	0.9

性年代別	II-間8-1 豊かな自然での釣りを楽しむ今年後半先ずは(重要度が高い)項目(3つまで)		II-間8-2 人々の絆がけられた釣りの楽しさ(重要度が高い)項目(3つまで)		II-間8-3 幸せを感じながら釣る楽しさ(重要度が高い)項目(3つまで)		II-間8-4 釣り仲間や家族と(重要度が高い)項目(3つまで)																					
	取得	無回答	取得	無回答	取得	無回答	取得	無回答																				
全体(1896)	624	175	320	260	643	420	457	28	2.8	55.1	222	620	383	405	473	247	2.9	395	281	565	548	524	562	3.4				
男性(948)	651	192	338	300	660	439	423	2.5	54.2	224	636	405	443	472	282	2.8	452	346	606	543	481	488	511	614	3.6			
女性(948)	607	165	308	213	644	482	432	2.7	54.7	218	611	404	342	480	262	2.6	357	235	531	557	571	614	611	571	614	3.6		
その他(30)	611	250	306	222	500	556	556		528	278	583	472	389	389	361		333	278	528	500	611	500	611	571	614	3.6		
年齢別																												
18~19歳(42)	785	351	429	190	524	310	353	1.1	782	286	405	282	24	690	357	2.4	690	286	357	286	429	571	214	214	214	214	214	
20~29歳(70)	624	182	324	273	624	419	443	1.1	723	369	419	443	1.1	723	369	419	443	1.1	723	369	419	443	1.1	723	369	419	443	1.1
30~39歳(14)	656	177	316	337	621	383	457	1.1	628	337	355	485	270	511	436	340	501	436	340	501	535	535	535	535	535	535	535	535
40~49歳(282)	633	185	331	247	621	422	438	1.1	474	231	419	487	263	333	366	256	614	419	487	263	333	333	333	333	333	333	333	333
50~59歳(308)	568	119	308	219	654	486	527	3.2	476	176	605	395	503	524	243	322	327	268	567	576	576	576	576	576	576	576	576	576
60~69歳(242)	582	124	248	211	661	483	463	7.0	426	136	566	376	504	194	7.9	322	219	562	537	537	537	537	537	537	537	537	537	537
70歳以上(242)	1000	667	333	-	333	667	-	-	668	188	813	313	313	375	63	6.3	750	313	375	688	688	688	688	688	688	688	688	688
18~19歳(16)	750	375	438	198	500	250	375	-	688	188	813	313	313	375	63	6.3	750	313	375	688	688	688	688	688	688	688	688	688
20~29歳(79)	671	278	468	257	203	329	414	-	700	429	686	354	354	418	304	2.5	506	380	544	608	418	484	418	484	418	484	418	
30~39歳(70)	643	200	357	343	700	343	414	-	700	429	686	354	354	418	304	2.5	506	380	544	608	418	484	418	484	418	484	418	
40~49歳(11)	605	102	305	361	664	419	443	2.5	664	419	443	419	443	419	443	2.5	664	419	443	419	443	419	443	419	443	419	443	419
50~59歳(154)	604	136	286	253	708	306	313	3.2	559	149	649	312	552	513	247	3.1	396	344	571	585	506	526	526	526	526	526	526	526
60~69歳(111)	640	135	252	252	500	360	441	7.2	441	126	586	162	440	440	440	7.2	387	225	565	545	545	545	545	545	545	545	545	
70歳以上(22)	800	360	400	200	560	360	320	4.0	800	360	400	200	560	360	320	4.0	800	360	400	200	560	360	320	4.0	800	360	400	200
その他	545	273	273	273	545	545	545	-	455	384	727	727	727	727	727	-	273	455	727	636	636	636	636	636	636	636	636	636
性別																												
男性(648)	600	200	300	100	500	600	600	-	600	100	600	300	400	600	600	-	600	100	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600
女性(648)	500	250	250	250	500	500	500	-	500	250	500	250	500	500	500	-	250	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
その他(30)	500	250	250	250	500	500	500	-	500	250	500	250	500	500	500	-	250	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
地域別																												
東京都(6)	607	266	214	143	500	100	100	-	429	214	500	143	143	143	143	-	286	286	357	286	429	571	214	214	214	214	214	214
千葉県(76)	600	161	333	246	661	438	475	3.3	521	228	615	423	445	454	232	2.5	371	281	559	530	564	530	564	530	564	530	564	530
埼玉県(26)	624	182	324	273	624	419	443	1.1	723	369	419	443	1.1	723	369	419	443	1.1	723	369	419	443	1.1	723	369	419	443	1.1
東京都(6)	667	500	500	500	667	500	333	333	167	500	667	500	667	500	667	-	1000	167	500	500	667	167	500	667	500	667	500	667

性年代別	II-4間7 釣りに関する役割: ① 家族としての役割が女性の役割となっていると思う		II-4間7 釣りに関する役割: ② 家族として子育てが女性の役割となっていると思う		II-4間7 釣りに関する役割: ③ 家族として介護が女性の役割となっていると思う		II-4間7 釣りに関する役割: ④ 学校教育の場において男女差はないと思う																			
	そう思う	そう思わない	そう思う	そう思わない	そう思う	そう思わない	そう思う	そう思わない																		
全体(1896)	366	453	63	61	1.1	0.6	347	472	0.6	289	428	139	98	4.1	0.7	197	340	215	125	114	11.4	0.9				
男性(948)	371	466	17	93	1.2	0.9	239	484	1.3	168	215	179	4.3	1.2	256	312	218	123	79	1.2	0.4					
女性(948)	361	447	33	111	0.9	0.6	317	461	0.9	171	213	117	3.0	0.6	191	194	135	27.8	0.4	0.4	0.4					
年齢別																										
18~19歳(42)	266	405	167	95	2.4	2.4	286	500	2.4	190	143	143	14.3	7.1	14.3	7.1	214	143	14.3	7.1	214	214	214	214	214	
20~29歳(70)	324	453	106	82	2.9	0.6	312	459	10.6	100	117	117	11.7	11.7	11.7	11.7	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117
30~39歳(14)	397	380	95	117	1.1	0.6	419	368	10.1	368	162	173	6.1	5.7	0.4	17.0	33.7	22.7	12.4	13.5	0.7	-	-	-	-	
40~49歳(282)	379	481	89	71	-	-	382	475	8.2	57	2.1	0.4	0.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3
50~59歳(308)	380	471	84	49	1.3	0.3	387	468	9.4	45	1.9	0.6	31.5	45.1	10.7	8.8	3.2	0.6	15.6	32.5	22.4	15.3	13.6	0.6	0.6	
60~69歳(242)	411	459	62	51	1.1	0.5	343	487	3.6	57	1.4	0.3	30.8	47.0	12.7	7.3	1.6	0.5	21.4	40.5	20.0	8.1	8.6	1.4	1.4	
70歳以上(242)	417	475	62	21	0.8	1.7	293	521	11.8	3.3	2.5	1.2	29.3	52.1	12.8	3.3	1.2	2.4	24.0	28.9	23.6	9.9	12.0	1.7	1.7	
性別																										
男性(648)	333	430	39	125	1.3	0.3	198	597	6.3	135	125	125	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	
女性(648)	333	430	39	125	1.3	0.3	198	597	6.3	135	125	125	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	
地域別																										
東京都(6)	456	449	39	16	-	-	386	488	7.9	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	
千葉県(76)	455	182	91	273	-	-	333	667	50.0	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-	50.0	
埼玉県(26)	500	100	100	100	-	-	455	273	273	182	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	
東京都(6)	667	500	500	500	-	-	500	500	500	500	500	500	500	500	500	-	500	-	500	-	500	-	500	-	500	
性別																										
男性(648)	401	447	4.4	6.2	0.9	0.7	371	476	7.1	6.5	1.2	0.4	29.7	41.												

性別	Ⅱ-4-1 男女共同参画社会を推進する観点に、行政が特に力を入れるべきこと(3-2)で				Ⅱ-4-2 男女共同参画社会を推進する観点に、行政が行うべき施策(3-2)で				Ⅱ-4-3 男女共同参画社会を推進する観点に、行政が特に力を入れるべきこと(3-2)で				Ⅱ-4-4 男女共同参画社会を推進する観点に、行政が特に力を入れるべきこと(3-2)で								
	そらう	どちらかと思えばそらう	どちらかと思えばそらう	無回答	そらう	どちらかと思えばそらう	どちらかと思えばそらう	無回答	そらう	どちらかと思えばそらう	どちらかと思えばそらう	無回答	そらう	どちらかと思えばそらう	どちらかと思えばそらう	無回答					
性別	9.8	24.7	32.4	25.9	6.5	31.0	20.6	33.4	11.1	12.7	20.4	32.5	28.9	4.4	0.9	6.1	27.4	33.1	24.7	8.0	0.8
年代別	13.9	25.5	30.1	24.1	10.5	21.0	34.0	28.4	4.5	17.8	22.1	31.6	33.8	3.2	1.1	9.7	28.4	32.9	22.8	4.8	1.2
男性	7.1	25.2	33.9	26.8	6.8	32.2	34.3	32.2	7.8	18.2	23.1	32.2	33.2	5.1	0.7	3.7	27.4	33.4	25.6	9.7	0.2
女性	5.6	5.6	38.9	36.1	13.9	41.7	33.3	36.1	11.1	16.7	27.8	33.3	36.1	11.1	14.3	11.1	36.1	33.3	27.8	25.0	14.3
地域別	14.3	28.6	35.3	28.6	14.3	31.0	20.6	33.4	11.1	12.7	20.4	32.5	28.9	4.4	0.9	6.1	27.4	33.1	24.7	8.0	0.8
北海道	7.1	14.3	28.6	21.4	14.3	31.0	20.6	33.4	11.1	12.7	20.4	32.5	28.9	4.4	0.9	6.1	27.4	33.1	24.7	8.0	0.8
東北	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
関東	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
中部	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
関西	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
中国	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
四国	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
九州	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
北海道	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
東北	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
関東	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
中部	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
関西	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
中国	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
四国	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
九州	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
北海道	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
東北	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
関東	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
中部	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
関西	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
中国	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
四国	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
九州	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
北海道	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
東北	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
関東	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
中部	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
関西	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
中国	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
四国	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2
九州	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2	25.4	32.1	25.7	11.2

性別	Ⅱ-4-1 男女共同参画社会を推進する観点に、行政が特に力を入れるべきこと(3-2)で				Ⅱ-4-2 男女共同参画社会を推進する観点に、行政が行うべき施策(3-2)で				Ⅱ-4-3 男女共同参画社会を推進する観点に、行政が特に力を入れるべきこと(3-2)で				Ⅱ-4-4 男女共同参画社会を推進する観点に、行政が特に力を入れるべきこと(3-2)で							
	そらう	どちらかと思えばそらう	どちらかと思えばそらう	無回答	そらう	どちらかと思えばそらう	どちらかと思えばそらう	無回答	そらう	どちらかと思えばそらう	どちらかと思えばそらう	無回答	そらう	どちらかと思えばそらう	どちらかと思えばそらう	無回答				
性別	6.04	35.8	50.4	18.5	20.1	17.4	40.5	5.3	2.1	22.7	11.0	53.1	59.8	33.4	40.3	8.3	11.3	10.2	2.8	2.1
年代別	5.5	35.1	50.9	18.7	20.1	17.4	40.5	5.3	2.1	22.7	11.0	53.1	59.8	33.4	40.3	8.3	11.3	10.2	2.8	2.1
男性	6.19	33.1	50.2	18.8	19.8	17.1	40.5	6.5	2.0	22.9	8.6	50.4	66.5	33.0	42.7	8.2	9.5	10.2	1.4	2.1
女性	6.67	35.7	47.2	11.1	13.9	11.1	36.1	5.6	7.1	13.3	2.8	63.9	50.0	39.9	25.0	5.6	8.3	13.9	2.9	2.8
北海道	35.7	28.9	42.9	14.3	26.6	7.1	42.9	7.1	14.3	35.7	21.4	35.7	57.1	35.7	21.4	14.3	35.7	21.4	7.1	14.3
東北	35.7	28.9	42.9	14.3	26.6	7.1	42.9	7.1	14.3	35.7	21.4	35.7	57.1	35.7	21.4	14.3	35.7	21.4	7.1	14.3
関東	35.7	28.9	42.9	14.3	26.6	7.1	42.9	7.1	14.3	35.7	21.4	35.7	57.1	35.7	21.4	14.3	35.7	21.4	7.1	14.3
中部	35.7	28.9	42.9	14.3	26.6	7.1	42.9	7.1	14.3	35.7	21.4	35.7	57.1	35.7	21.4	14.3	35.7	21.4	7.1	14.3
関西	35.7	28.9	42.9	14.3	26.6	7.1	42.9	7.1	14.3	35.7	21.4	35.7	57.1	35.7	21.4	14.3	35.7	21.4	7.1	14.3
中国	35.7	28.9	42.9	14.3	26.6	7.1	42.9	7.1	14.3	35.7	21.4	35.7	57.1	35.7	21.4	14.3	35.7	21.4	7.1	14.3
四国	35.7	28.9	42.9	14.3	26.6	7.1	42.9	7.1	14.3	35.7	21.4	35.7	57.1	35.7	21.4	14.3	35.7	21.4	7.1	14.3
九州	35.7	28.9	42.9	14.3	26.6	7.1	42.9	7.1	14.3	35.7	21.4	35.7	57.1	35.7	21.4	14.3	35.7	21.4	7.1	14.3
北海道	35.7	28.9	42.9	14.3	26.6	7.1	42.9	7.1	14.3	35.7	21.4	35.7	57.1	35.7	21.4	14.3	35.7	21.4	7.1	14.3
東北	35.7	28.9	42.9	14.3	26.6	7.1	42.9	7.1	14.3	35.7	21.4	35.7	57.1	35.7	21.4	14.3	35.7	21.4	7.1	14.3
関東	35.7	28.9	42.9	14.3	26.6	7.1	42.9	7.1	14.3	35.7	21.4	35.7	57.1	35.7	21.4	14.3	35.7	21.4	7.1	14.3
中部	35.7	28.9	42.9	14.3	26.6	7.1	42.9	7.1	14.3	35.7	21.4	35.7	57.1	35.7	21.4	1				

性 別	Ⅱ-間10.性別に関するアンケート(1)家事・育児は、やはり女性が行っていると思う										Ⅱ-間11.性別に関するアンケート(2)家を建てるのは男性の方がよいと思う										Ⅱ-間12.性別に関するアンケート(3)育児休暇や育児時間勤務などは、母親が取るべきだ									
	その思う	どちらかと思えばその思う	どちらかと思えばその思わない	その思わない	わからない	無回答	その思う	どちらかと思えばその思う	どちらかと思えばその思わない	その思わない	わからない	無回答	その思う	どちらかと思えばその思う	どちらかと思えばその思わない	その思わない	わからない	無回答												
全体(1398)	8.5	38.3	23.5	23.9	4.6	1.1	3.2	13.6	27.9	45.2	8.5	1.6	3.7	18.6	27.4	43.4	6.3	1.6												
男性(648)	11.7	41.2	21.9	19.6	4.3	1.2	4.8	16.8	28.5	41.5	6.6	1.7	4.8	19.9	28.9	39.7	4.9	1.9												
女性(698)	5.9	37.4	24.7	26.9	4.2	0.8	2.1	11.5	27.8	48.0	9.4	1.2	3.1	17.4	27.1	46.2	5.0	1.2												
その他(38)	11.1	19.4	19.4	27.8	19.4	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	16.7	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8												
年齢別	14.3	14.3	28.6	21.4	7.1	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	2.4	23.8	21.4	38.1	11.9	2.4												
18～19歳(42)	2.4	40.5	21.4	28.6	4.8	2.4	2.9	14.1	28.6	35.7	21.4	0.6	4.7	15.3	25.4	45.3	5.3	4.7												
20～29歳(170)	7.6	32.4	27.6	22.4	9.4	0.6	3.2	14.1	28.6	37.6	12.4	0.6	4.7	15.3	25.4	45.3	5.3	4.7												
30～39歳(170)	3.1	11.6	14.6	30.7	5.6	0.7	3.1	11.6	14.6	30.7	5.6	0.7	3.1	11.6	14.6	30.7	5.6	0.7												
40～49歳(170)	8.0	37.7	21.8	23.4	4.9	0.3	4.5	11.7	30.8	42.2	10.1	0.6	4.5	16.6	29.2	40.3	8.4	1.0												
50～59歳(308)	5.4	45.9	23.2	22.4	2.7	0.3	2.7	13.8	30.5	46.8	5.1	1.9	1.9	19.2	30.5	44.3	3.2	0.8												
60～69歳(370)	8.5	41.7	28.1	14.0	1.7	5.0	4.1	18.2	26.0	40.9	4.5	6.2	5.8	22.3	29.3	33.9	2.9	5.8												
70歳以上(242)	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	66.7	-	-	-	33.3	-												
18～19歳(10)	6.3	37.5	12.5	37.5	-	-	6.3	37.5	12.5	37.5	-	-	6.3	37.5	12.5	37.5	-	-												
20～29歳(7)	11.4	30.4	26.6	22.8	8.9	11.4	30.4	26.6	22.8	8.9	11.4	30.4	26.6	22.8	8.9	11.4	30.4	26.6												
30～39歳(70)	8.6	38.6	20.0	25.7	7.1	1.4	2.9	15.7	38.0	34.2	12.7	10.0	5.1	13.9	30.4	44.3	6.3	6.3												
40～49歳(90)	14.1	33.3	19.2	26.3	7.1	1.4	2.9	15.7	38.0	34.2	12.7	10.0	5.1	13.9	30.4	44.3	6.3	6.3												
50～59歳(119)	18.5	37.8	20.2	17.6	5.0	0.8	7.6	16.0	31.9	37.0	5.9	1.7	6.7	16.5	28.8	37.8	6.7	1.7												
60～69歳(146)	6.3	30.6	25.1	18.2	1.9	0.6	3.9	24.1	38.2	34.2	4.2	3.3	3.8	27.9	35.9	21.3	0.6	3.3												
70歳以上(127)	12.0	44.0	24.0	24.0	8.0	4.3	7.2	8.0	32.0	28.0	32.0	5.4	4.0	20.0	24.0	36.0	18.0	5.4												
18～19歳(2)	4.6	35.8	27.6	23.0	9.2	1.1	1.1	18.4	27.6	40.2	12.6	4.6	4.6	17.2	28.7	44.8	4.6	4.6												
20～29歳(87)	5.9	27.7	26.7	34.7	5.0	1.0	1.0	11.9	22.8	54.5	9.9	9.9	2.0	16.8	23.8	55.4	2.0	2.0												
30～39歳(101)	5.9	35.3	18.8	33.5	5.3	1.2	3.5	10.0	22.4	53.5	9.4	1.2	2.9	17.1	20.6	52.4	5.3	1.8												
40～49歳(170)	8.4	38.5	24.0	26.3	2.8	2.8	2.8	9.5	31.3	45.3	11.2	3.4	3.4	15.6	30.7	41.9	7.8	0.6												
50～59歳(179)	4.3	43.5	23.9	25.4	2.9	1.9	1.9	11.0	30.6	48.8	6.7	1.0	1.4	16.7	29.2	45.5	4.8	0.5												
60～69歳(249)	7.1	36.2	31.5	18.9	2.4	3.9	1.6	12.6	28.1	47.2	3.9	5.5	5.5	18.1	28.1	40.9	1.6	4.7												
70歳以上(127)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												
18～19歳(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												
20～29歳(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												
30～39歳(6)	33.3	50.0	16.7	50.0	50.0	-	16.7	50.0	50.0	50.0	9.1	16.7	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0												
40～49歳(10)	27.3	20.0	9.1	40.0	40.0	-	9.1	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0												
50～59歳(4)	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0												
60～69歳(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												
70歳以上(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												
無回答(14)	14.3	14.3	28.6	21.4	7.1	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0												
東京都(6)	7.7	38.6	21.3	26.5	4.6	1.3	3.4	13.6	27.5	44.8	8.9	1.8	3.7	19.4	27.5	42.6	5.2	1.6												
千葉県(28)	9.7	35.4	24.3	20.9	5.6	0.4	3.7	11.2	27.6	46.3	10.8	4.0	3.7	17.9	27.6	44.8	5.2	0.7												
西京(46)	8.7	39.5	25.5	20.9	4.2	1.2	2.8	14.6	28.8	45.0	7.0	1.9	3.7	18.0	27.6	43.7	5.3	1.9												
無回答(6)	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	-	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	-	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7												

性 別	Ⅱ-間10.性別に関するアンケート(4)男性はリーダー、女性はサポート役に向いている										Ⅱ-間11.自身の男か女かどちらか一方が得意か										Ⅱ-間12.自身の男か女かどちらか一方が得意か(女性から見た性別による後継り意識がある)									
	その思う	どちらかと思えばその思う	どちらかと思えばその思わない	その思わない	わからない	無回答	その思う	どちらかと思えばその思う	どちらかと思えばその思わない	その思わない	わからない	無回答	その思う	どちらかと思えばその思う	どちらかと思えばその思わない	その思わない	わからない	無回答												
全体(1398)	2.4	12.5	27.8	50.4	5.5	1.3	32.6	38.8	10.2	4.8	12.3	1.4	51.1	27.1	20.1	1.8	1.8													
男性(648)	3.1	14.5	29.2	47.4	4.3	1.5	31.2	37.2	13.3	5.6	11.1	1.7	49.5	31.6	17.0	1.9	1.9													
女性(698)	2.1	11.4	27.2	52.3	5.8	1.0	33.7	40.5	8.4	3.9	12.6	0.9	51.9	24.1	22.3	1.8	1.8													
その他(38)	-	5.6	22.2	58.3	13.9	3.3	2.8	13.9	22.2	-	55.6	18.4	25.0	-	-	-	-													
年齢別	14.3	14.3	28.6	21.4	7.1	14.3	14.3	28.6	21.4	7.1	14.3	14.3	2.4	16.7	42.9	38.1	2.4	2.4												
18～19歳(42)	2.4	11.9	31.0	47.6	7.1	2.4	40.5	31.0	11.9	7.1	2.4	16.7	42.9	38.1	2.4	2.4	2.4													
20～29歳(170)	4.5	11.7	24.6	52.5	6.7	1.1	38.0	34.1	7.8	5.0	15.1	0.6	48.6	28.8	24.0	0.6	0.6													
30～39歳(170)	1.8	11.3	21.6	58.5	5.7	1.1	31.9	36.2	8.9	6.4	16.0	0.7	54.3	24.8	19.5	1.4	1.4													
40～49歳(282)	4.3	10.7	30.6	50.6	4.6	1.0	33.2	40.5	19.7	3.5	11.9	0.8	58.6	23.5	17.3	2.4	2.4													
50～59歳(370)	3.3	17.4	31.4	39.7	4.1	4.1	28.9	43.4	13.2	2.5	7.4	4.5	57.0	26.0	14.9	2.1	2.1													
70歳以上(242)	-	-	-	-	-	-	66.7	-	-	-	33.3	-	66.7	33.3	-	-	-													
無回答(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-													
18～19歳(16)	6.3	37.5	50.0	50.0	-	-	6.3	37.5	50.0	6.3	6.3	6.3	18.8	43.8	30.3	6.3	6.3													
20～29歳(79)	2.5	12.7	34.2	45.6	5.1	1.5	35.4	19.0	7.6	16.5	16.5	32.9	45.6	20.3	1.3	1.3	1.3													
30～39歳(70)	5.7	14.3	24.3	45.7	10.0	1.0	37.1	25.7	11.4	5.7	20.0	20.0	52.9	20.0	1.4	1.4	1.4													
40～49歳(99)	2.0	13.1	21.2	58.6	4.0	1.0	29.3	28.3	18.2	11.1	14.1	1.0	52.5	31.3	15.2	1.0	1.0													
50～59歳(119)	4.2	11.8	33.6	46.2	2.5	1.7	37.0	37.0	11.8	5.0	6.7	2.5	50.4	31.1	16.0	2.5	2.5													
60～69歳(194)	1.9	13.8	27.3	51.9	3.9	1.3	31.8	44.8	9.7	3.2	9.7	0.6	53.9	27.3	16.9	1.9	1.9													
70歳以上(111)	3.6	22.5	32.4	34.2	3.6	3.6	28.8	42.3	15.3	2.7	6.3	4.5	54.1	30.6	13.5	3.6	3.6													
18～19歳(2)	2.0	16.0	24.0	48.0	12.0	2.0	40.0	16.0	12.0	3.0	4.0	4.0	41.0	30.0	20.0	2.0	2.0													
20～29歳(2)	2.0	16.0	24.0	48.0	12.0	2.0	40.0	16.0	12.0	3.0	4.0	4.0	41.0	30.0	20.0	2.0	2.0													
30～39歳(2)	2.0	16.0	24.0	48.0	12.0	2.0	40.0	16.0	12.0	3.0	4.0	4.0	41.0	30.0	20.0	2.0	2.0													
40～49歳(2)	2.0	16.0	24.0	48.0	12.0	2.0	40.0	16.0	12.0	3.0	4.0	4.0	41.0	30.0	20.0	2.0	2.0													
50～59歳(1)	2.0	16.0	24.0	48.0	12.0	2.0	40.0	16.0	12.0	3.0	4.0	4.0	41.0	30.0	20.0	2.0	2.0													
60～69歳(2)	2.0	16.0	24.0	48.0	12.0	2.0	40.0	16.0	12.0	3.0	4.0	4.0	41.0	30.0	20.0	2.0	2.0													
70歳以上(1)	2.0	16.0	24.0	48.0	12.0	2.0	40.0	16.0	12.0	3.0	4.0	4.0	41.0	30.0	20.0	2.0	2.0													
無回答(14)	14.3	14.3	28.6	21.4	7.1	14																								

性別	I-1 間性性別分層意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたものか(いつでも)										I-2 間性性別分層意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたものか(いつでも)										I-3 間性性別分層意識は、生まれる前から育ちながら(いつでも)									
	家族(親、兄弟、姉妹、パートナー、友人、知人)	職場	新聞・雑誌、テレビ、インターネット、その他	無回答	ある	ない	わからない	無回答	男女共同参加型活動に参加する機会が、男性よりも多い	性別に偏った活動に参加する機会が、男性よりも多い	性別に偏った活動に参加する機会が、女性よりも多い	家事や育児を、男性よりも多く担当している	家事や育児を、女性よりも多く担当している	男性が子育て、女性がかつてない役割を担っている	その他	無回答														
全数(91)	76.7	17.7	33.6	15.7	7.6	27.2	45.0	24.7	3.1	4.3	57.6	61.9	39.0	53.2	5.6	3.1														
男性(92)	70.4	17.1	35.8	15.6	9.3	11.2	31.1	16.8	2.9	3.4	58.8	59.7	34.1	45.5	6.9	2.8														
女性(66)	80.5	17.8	31.3	15.7	6.4	8.8	34.7	36.7	2.7	2.7	57.7	64.3	43.3	59.0	4.8	2.6														
その他(20)	90.0	30.0	45.0	25.0	10.0	-	22.2	30.6	47.2	-	41.7	55.6	25.0	58.3	-	5.6														
無回答(0)	-	-	50.0	-	-	-	35.7	14.3	28.6	21.4	7.1	28.6	21.4	21.4	7.1	50.0														
18～19歳(7)	71.4	57.1	-	14.3	42.9	-	57.1	40.5	2.4	4.2	59.5	61.9	33.3	52.4	-	2.4														
20～29歳(8)	72.1	32.4	41.2	17.6	23.5	5.9	12.4	62.4	24.1	1.2	4.7	54.7	70.6	35.9	45.3	0.6														
30～39歳(9)	71.3	17.2	33.3	25.3	13.8	10.3	28.5	46.9	24.6	2.8	2.8	54.2	73.2	37.4	46.9	1.7														
40～49歳(13)	79.1	24.8	37.9	16.3	9.8	7.8	33.7	33.7	30.9	1.8	2.5	52.8	63.8	37.9	54.6	5.7														
50～59歳(19)	72.7	14.7	31.3	17.3	5.3	14.0	30.7	44.2	24.0	1.3	4.5	57.8	60.7	32.1	53.6	10.4														
60～69歳(21)	76.7	12.9	28.5	9.0	1.9	10.5	29.7	43.8	21.4	5.1	4.1	60.8	57.8	44.1	57.3	4.1														
70歳以上(13)	84.1	11.6	36.2	16.7	2.9	16.9	45.5	21.9	6.6	6.6	70.0	62.0	53.3	45.5	95.4	4.1														
無回答(3)	100.0	-	-	-	-	-	33.3	25.0	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7														
18～19歳(3)	81.5	42.3	50.0	19.2	26.9	3.8	8.9	62.6	25.1	1.3	7.6	62.6	73.0	37.8	40.5	3.8														
20～29歳(2)	59.5	16.2	35.1	21.6	10.8	13.5	20.0	62.9	17.1	1.3	2.1	51.4	72.9	38.6	35.7	8.6														
30～39歳(3)	78.8	26.9	44.2	13.5	15.4	7.7	25.3	44.4	27.3	3.0	5.1	59.6	55.6	27.3	44.4	10.1														
40～49歳(2)	61.7	15.0	30.0	18.3	5.0	18.3	16.0	59.7	23.5	0.8	7.6	55.5	59.7	32.8	52.1	10.9														
50～59歳(3)	72.3	9.6	32.5	9.6	2.4	13.3	15.6	62.3	17.5	4.5	5.8	68.2	57.1	39.6	46.1	5.2														
60～69歳(6)	81.7	8.3	35.0	18.3	6.7	6.7	18.0	52.3	21.6	8.1	8.1	61.3	53.2	36.0	49.5	4.5														
70歳以上(6)	100.0	50.0	-	25.0	25.0	-	52.0	48.0	-	4.0	60.0	52.0	36.0	64.0	-	9.0														
18～19歳(4)	78.0	26.8	36.6	17.1	22.0	7.3	14.9	63.2	20.7	1.1	2.3	62.1	77.0	42.5	49.4	3.4														
20～29歳(4)	77.3	20.5	31.8	29.5	18.2	9.1	34.7	35.6	29.7	-	1.2	49.4	73.3	38.6	55.4	3.0														
30～39歳(9)	80.6	21.5	32.3	17.2	6.5	8.6	1.1	39.4	28.8	30.6	1.2	2.8	59.8	63.1	32.4	53.6														
40～49歳(9)	78.6	13.1	29.8	15.5	4.8	11.9	39.7	35.2	23.5	1.7	2.8	59.8	63.1	32.4	53.6	3.4														
50～59歳(14)	79.0	15.3	27.4	8.9	1.6	8.9	39.7	30.1	24.9	5.3	2.9	59.8	59.8	47.8	66.5	3.3														
60～69歳(12)	88.8	14.5	36.8	15.8	6.6	1.3	33.9	40.2	20.5	5.5	6.3	63.8	54.3	54.3	60.6	3.9														
70歳以上(7)	100.0	-	-	-	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	6.3														
18～19歳(0)	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
20～29歳(1)	100.0	-	-	-	-	-	68.7	33.3	33.3	-	-	50.0	83.3	16.7	50.0	-														
30～39歳(7)	71.4	57.1	57.1	28.6	14.3	-	27.3	18.2	54.5	-	-	45.5	72.7	27.3	54.5	-														
40～49歳(7)	100.0	33.3	66.7	33.3	16.7	-	40.0	20.0	40.0	-	-	50.0	30.0	20.0	70.0	-														
50～59歳(2)	100.0	-	-	-	-	-	25.0	75.0	-	-	25.0	25.0	25.0	50.0	-	25.0														
60～69歳(0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
70歳以上(0)	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	50.0	50.0	100.0	-	-														
無回答(0)	75.0	-	50.0	-	-	-	35.7	14.3	28.6	21.4	7.1	28.6	28.6	21.4	21.4	7.1														
東部(37)	76.0	17.2	33.8	15.7	5.0	10.4	2.7	29.4	44.4	22.9	3.3	4.6	56.7	61.7	39.8	53.7														
中部(10)	79.2	14.6	30.8	14.6	3.2	9.2	3.1	24.3	43.3	28.7	3.7	4.1	60.4	64.2	41.0	51.9														
西部(45)	76.2	19.4	34.8	16.2	9.6	2.9	26.2	46.4	25.1	2.3	3.7	57.4	61.5	37.2	53.3	6.8														
無回答(3)	100.0	-	-	-	-	-	16.7	33.3	16.7	33.3	33.3	33.3	50.0	50.0	50.0	33.3														